

「こどもの居場所」に関するアンケート 調査結果 2026

下 都 賀 教 育 事 務 所

下都賀地区ふれあい学習推進会議

00 「こどもの居場所」に関するアンケートの概要

● 「こどもの居場所」とは

子ども・若者本人にとって居心地が良いと思える、安全で安心な場所・時間・人との関係性

※こども家庭庁「こどもの居場所づくりに関する指針」令和5年12月を参考に定義

● 調査の目的

全ての子どもが、多様な居場所をもちながら健やかに成長できるよう、多様な子どもを包み込むことができる公民館等のユニバーサル型施設の特色を生かし、子どもの視点に立った「結果としての居場所」づくりを推進していく上での基礎資料を得ることを目的に実施する。

● 調査対象者

下都賀管内の

- ・ 小学校又は義務教育学校前期の第3学年児童（各市町2校を抽出）
- ・ 中学校又は義務教育学校後期の第1学年生徒（各市町1校を抽出）
- ・ 各市町の教育支援センターに通う児童生徒

● 調査期間

令和8年4月17日（金）～5月13日（水）

● 調査内容

- ・ 子どもたちが求めている居場所の心理的な側面に関する調査
- ・ 子どもたちが居場所に求める具体的な「ヒト」「モノ」「コト」に関する調査

● 調査方法

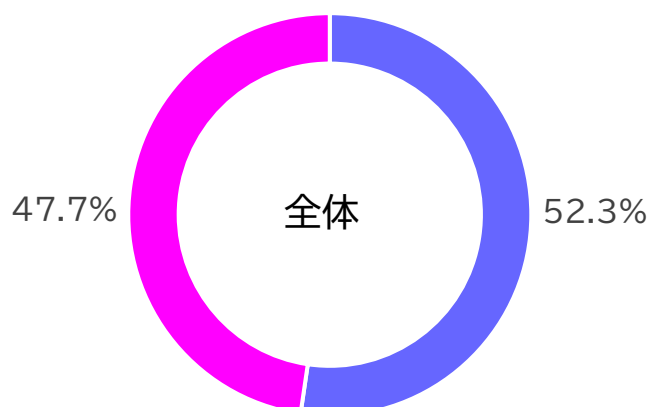
- ・ 選択回答形式による質問紙調査
- ・ 回答方法：抽出校は電子媒体（回答フォーム）にて、教育支援センターは紙媒体又は電子媒体（回答フォーム）を選択

01 アンケート回答者

Q1 小学生(義務教育学校前期課程)と中学生(義務教育学校後期課程)のどちらですか。

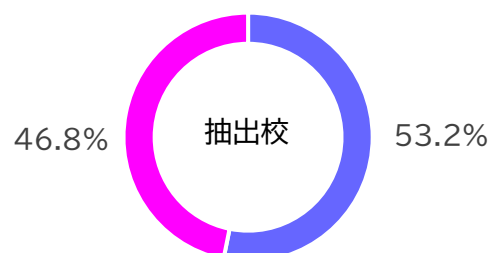
● 有効回答者数 1,076 人

■ 小学生(義務教育学校前期課程)	563 人
■ 中学生(義務教育学校後期課程)	513 人



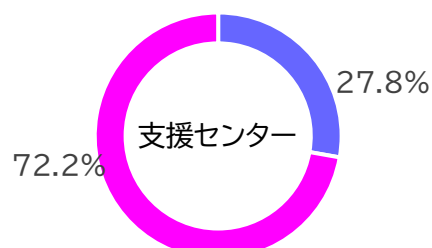
● 抽出校児童生徒の内訳 1,040 人

■ 小学生(義務教育学校前期課程)	553 人
■ 中学生(義務教育学校後期課程)	487 人



● 教育支援センター児童生徒の内訳 36人

■ 小学生(義務教育学校前期課程)	10人
■ 中学生(義務教育学校後期課程)	26人



02 「家」の居心地の良さ

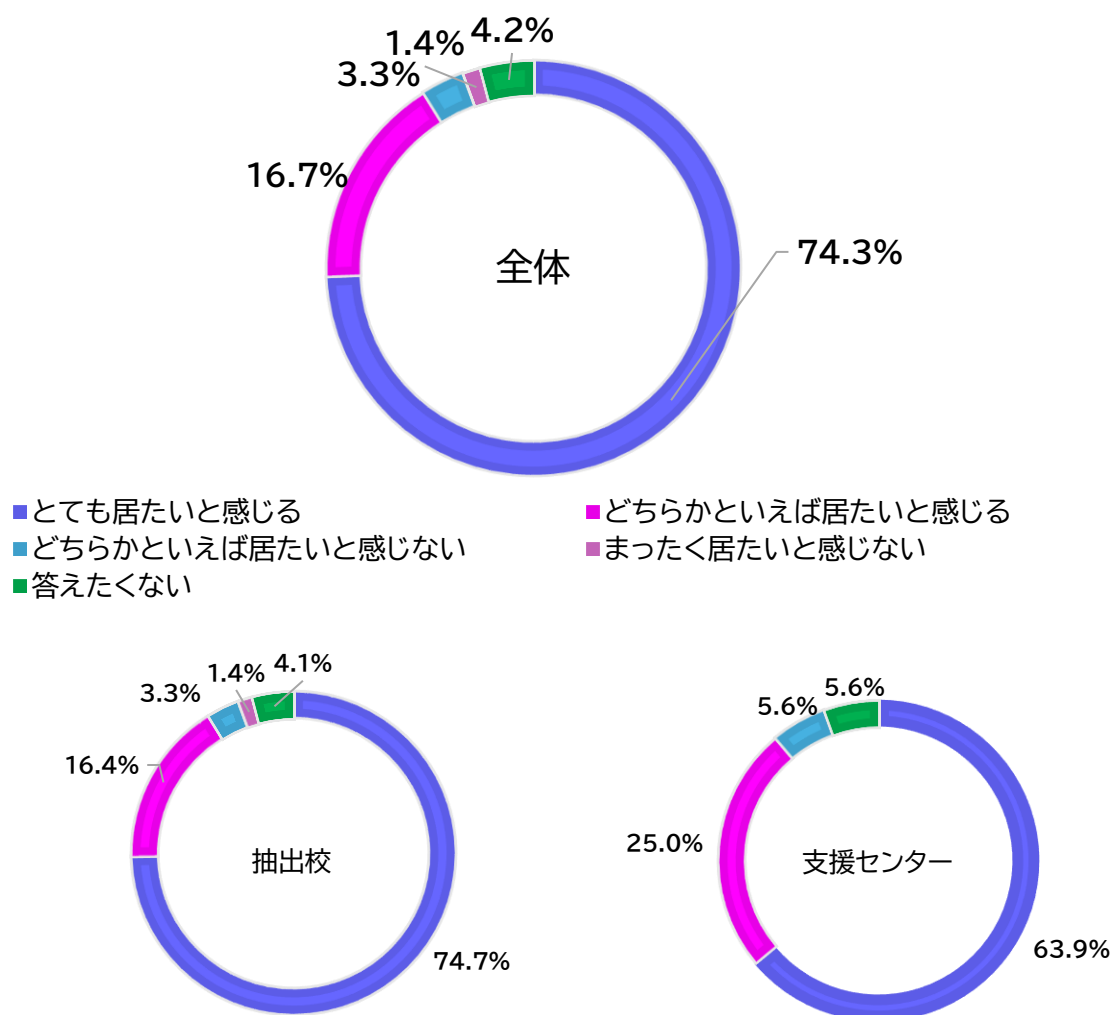
9割以上の子どもが家に居心地の良さを感じている

家に「とても居たいと感じる」と回答した子どもが74.3%と最も多く、次に「どちらかといえば居たいと感じる」と回答した子どもが16.7%であった。9割を超える子どもが家に居心地の良さを感じている。このことから、多くの子どもにとって家は、居たいと思える居場所となっていることが分かる。

「(まったく+どちらかといえば)居たいと感じない」と回答した子どもは4.7%であった。家が多くの子どもの居場所となっている一方で、少数ではあるが家が居場所となっていない子どもが存在していることも分かった。

なお、抽出校と支援センターを比較すると「とても居たいと感じる」と回答した子どもは抽出校の方が多いものの、「とても」と「どちらかといえば」を合わせるとそれほど大きな差は見られなかった。

Q2 家(普段寝起きしている場所)は、「ここに居たい」と感じますか。



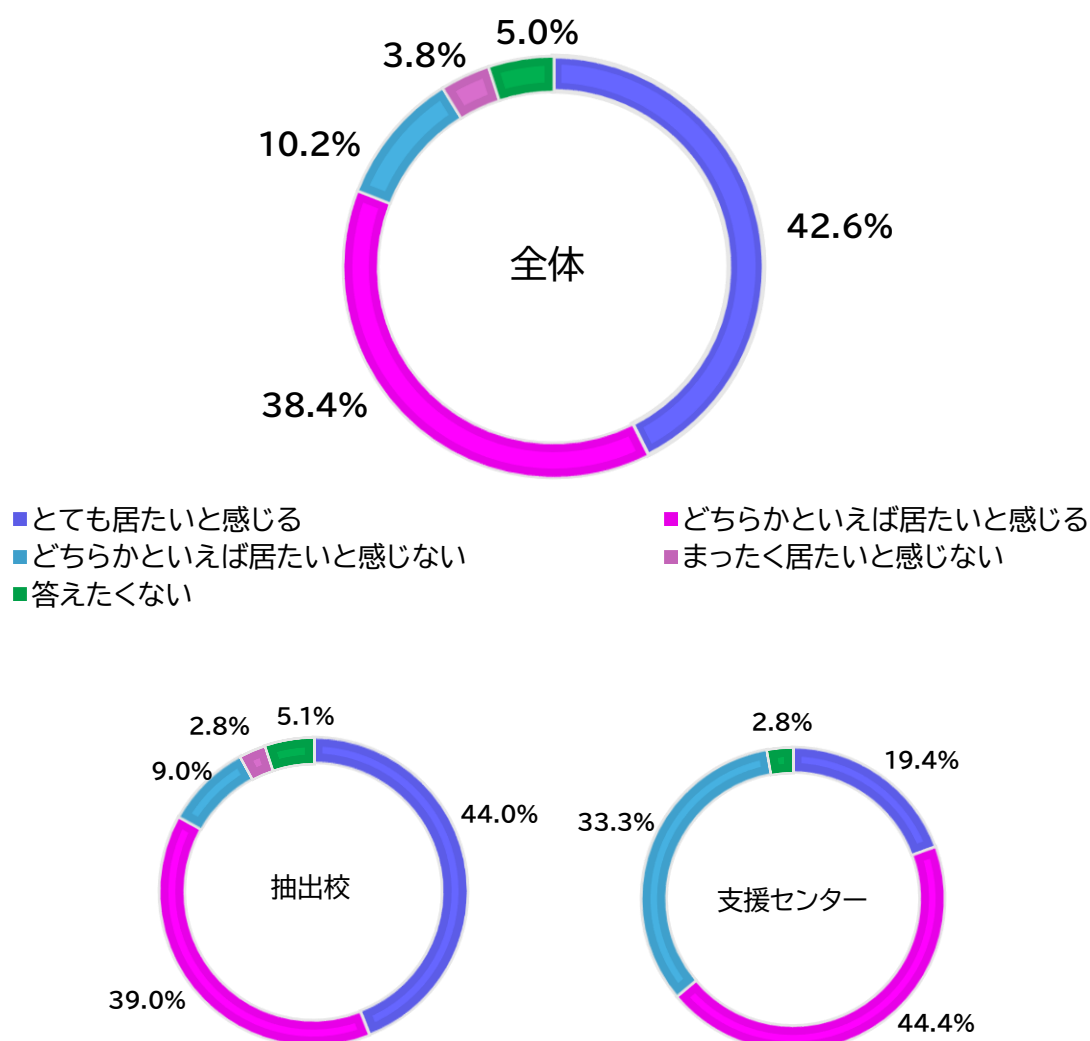
03 「学校」の居心地の良さ

学校に「とても居たい」と感じている子どもは4割
「どちらかといえば居たい」を含め肯定的回答は8割を超える

全体を見ると、学校に「とても居たい」と回答した子どもは42.6%、「どちらかといえば居たい」と回答した子どもは38.4%と、約8割の子どもが学校に居心地の良さを感じていることが分かった。家に比べると肯定的な回答は10ポイントほど低い傾向が見られるが、家と同様、学校は多くの子どもの居場所となっていることが分かる。

支援センターに通う子どもたちの回答を抽出して見てみると、学校に対して居心地の良さを感じている子どもの割合は低くなっていることが分かる。しかし、一方で、「とても居たい」「どちらかといえば居たい」と思っている、学校を居場所にできず、支援センターに通っているといった現状も見えてくる。

Q3 学校(授業や部活動、クラブ活動を含む)は、「ここに居たい」と感じますか。



04 「家」や「学校」以外の居心地の良い場所

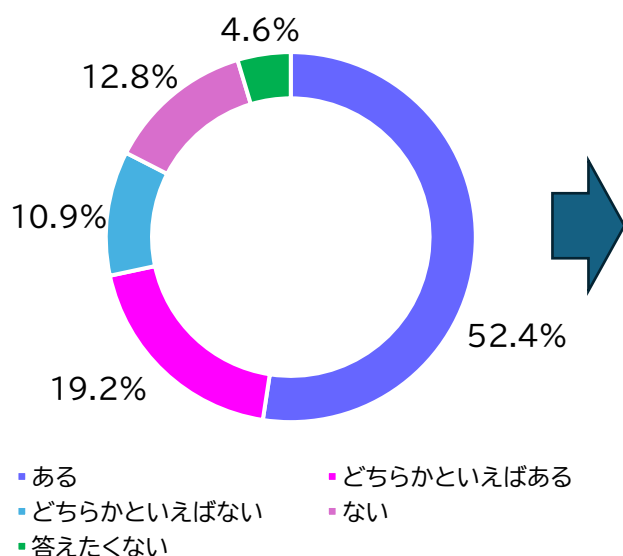
7割以上の子どもが「第三の居場所」をもっている

家や学校以外に居たいと感じる場所（「第三の居場所」）があると回答した子どもは71.6%存在する。その多くは、「友達の家（132人）」や「祖父母の家（123人）」など自分にとって身近な関係性にある人たちの場所であったり、「公園（108人）」や「習い事・塾（104人）」など日頃から利用している場所であったりしている。回答人数はそれぞれ少人数ずつであるが、興味のあることや趣味を行える様々な場所が回答されていることも分かる。

Q4	家(普段寝起きしている場所)や学校(授業や部活動、クラブ活動を含む)意外に、「ここに居たい」と感じる場所がありますか。
Q5	(Q4で「1 ある」「2 どちらかといえばある」を選んだ人に質問) それはどこですか。

[Q4]

あなたは、**家や学校以外**に「ここに居たい」と感じる居場所がありますか？



[Q5]

それはどこですか？

友達の家 132、祖父母の家 123、公園 108、習い事・塾 104、図書館 74、お店・ショッピングモール 70、児童館・学童 49、オンライン空間 32、いとこ・親戚の家 32、遊園地・テーマパーク 26、ゲームセンター 22、ホテル 19、校庭 16、サッカーグラウンド・野球場 15、水族館 10、動物園 8、本屋 8、カフェ 7、映画館 6、その他・・・(体育館、公民館、海、川、幼稚園、博物館、キャンプ場、カラオケ、ポケモンセンター、駅、車の中、自然の中、ライブ会場、サーキット場、ハワイ、新大久保、新潟県、猫のいる家、馬がいるところ、LINE 自分ノート、ChatGPT と話しているとき、一人になれる空間、スケボーパーク、東京)

05 子どもたちが居場所に求める心理的側面

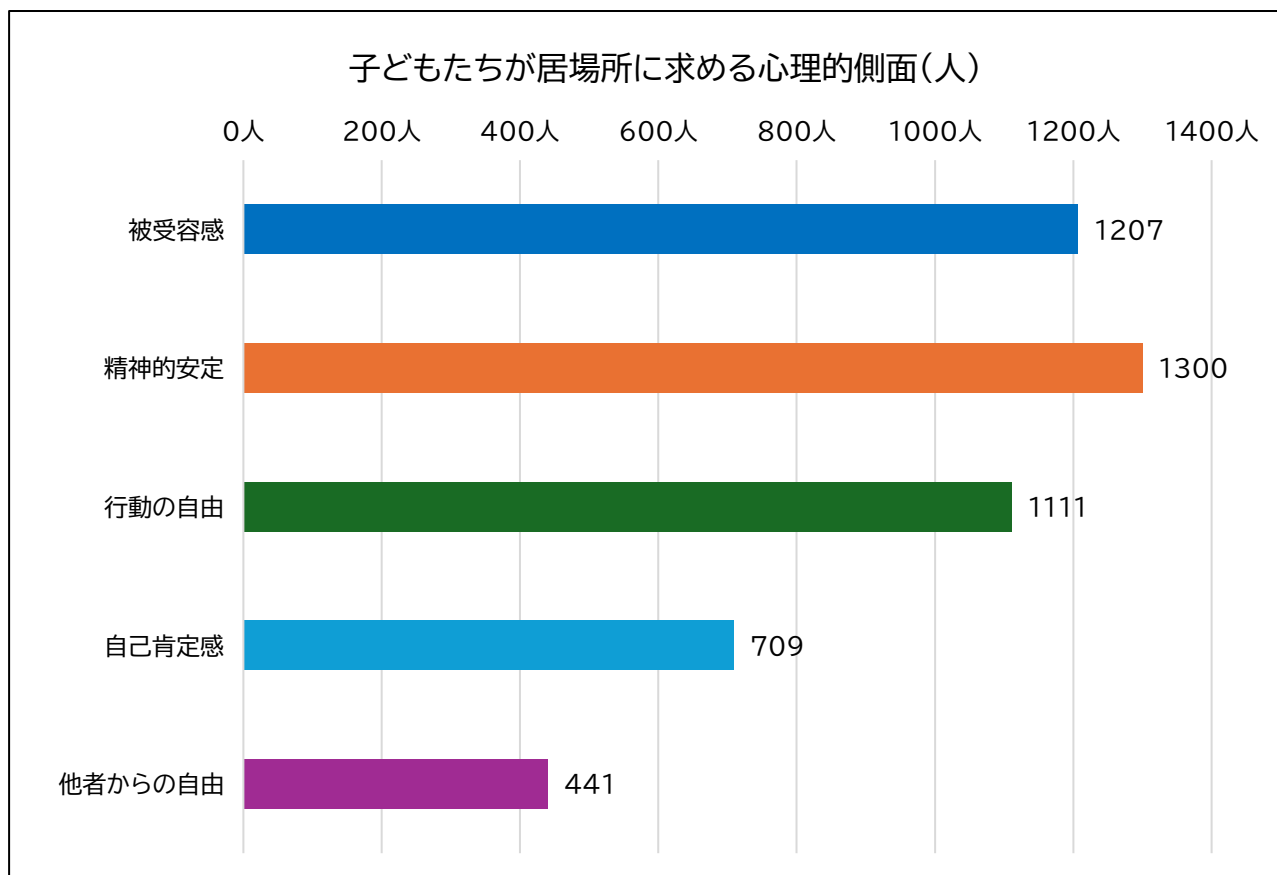
子どもは、「精神的安定」、「被受容感」、「行動の自由」を居場所に求めている

どのような場所にいたいと感じているかの質問に対する回答を、「居場所の心理的機能の因子※」別に集計した結果、安全・安心で自分らしくいられるといった「精神的安定」、自分を受け入れてもらえるといった「被受容感」、自分の好きなことができるといった「行動の自由」の順で多いことが分かった。

Q6-1

あなたは、どんな場所に、「居たい」と感じますか？
(回答を「居場所の心理的機能の因子」に振り分けて集計)

居場所の心理的機能の因子別回答人数（5つまで選択）



※「居場所の心理的機能の因子」について

質問6の選択肢は、「『居場所』の心理的機能の構造とその発達的变化（2006 杉本、庄司）」の「心理的機能の6因子」を参考に、「被受容感」「精神的安定」「行動の自由」「自己肯定感」「他者からの自由」のカテゴリーに分かれるよう作成している。「被受容感」（自分を受け入れてもらえる、話や悩みを聞いてもらえる、いろいろな人と一緒に居られる）、「精神的安定」（安全で安心して過ごせる、自分らしくいられる、環境が快適である）、「行動の自由」（自分の好きなことができる、自分のペースで過ごせる、自分の必要なものがある）、「自己肯定感」（やってみることができる、何かに夢中になれる、自分に自信がもてる）、「他者からの自由」（プライバシーが守られている、人を気にしなくてよい、静かさがちょうどよい）の5観点で集計した。

06 「居たい」と感じる場所

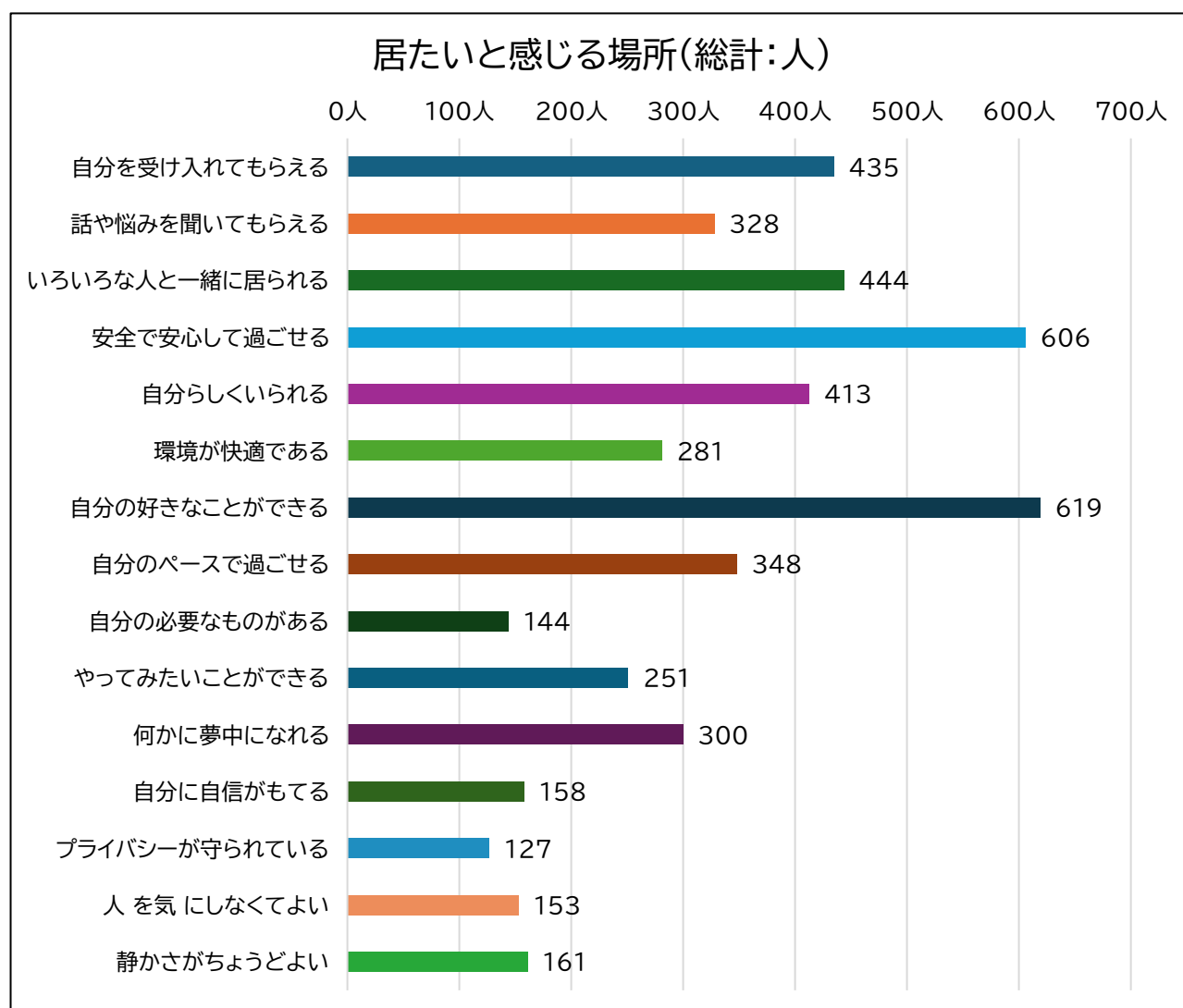
子どもたちにとって「居たい」と感じている場所は、安全で安心して、自分の好きなことができる場所であること

子どもたちにとって、「居たい」と感じる場所は、「自分の好きなことができる」、「安全で安心して過ごせる」の2つが上位の回答結果となった。次に、「いろいろな人と一緒に居られる」、「自分を受け入れてもらえる」、「自分らしくいられる」の順に多くなっている。

この結果から、子どもたちは「安心・安全」と「自由」が確保された中で、「人との関係性」を求めているということが考えられる。

Q6-2 あなたは、どんな場所に、「居たい」と感じますか？

【居たいと感じる場所の回答人数】（5つまで選択）



07 居てほしい「ヒト」

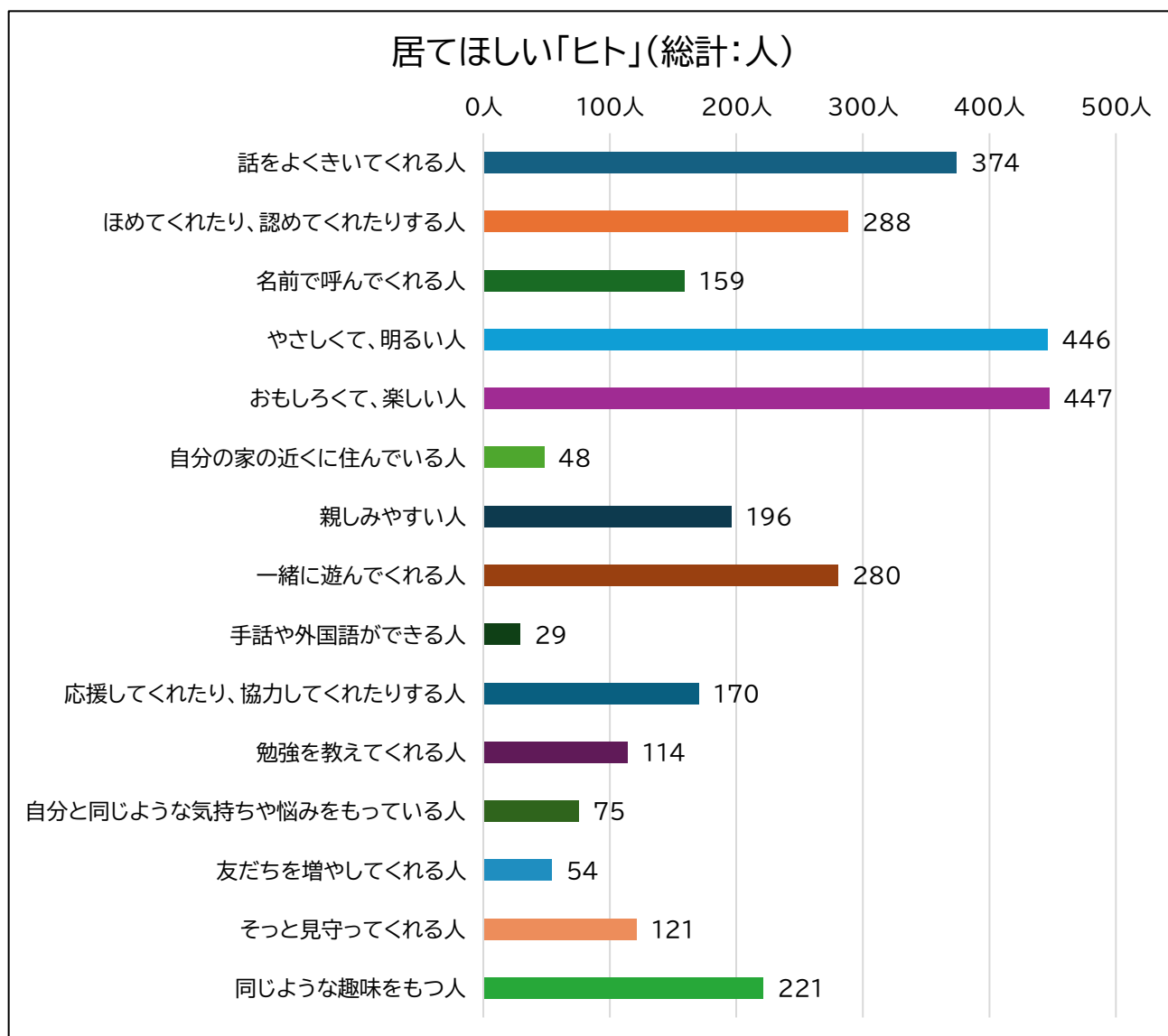
「やさしくて、明るい人」、「おもしろくて、楽しい人」が居る場所に
子どもたちは居心地の良さを感じている

子どもたちにとって、「居たい」と思う場所に居てほしい「ヒト」は、「やさしくて、明るい人」、「おもしろくて、楽しい人」、「話をよくきいてくれる人」、「ほめてくれたり、認めてくれたりする人」、「一緒に遊んでくれる人」の回答が多い。

子どもたちが居心地の良さを感じる場所には、肯定的な関わりを通して安心させてくれたり楽しくさせてくれたりする「ヒト」の存在が大切であるといえる。

Q7 「居たい」と思う場所には、どんな「ヒト」が居てほしいですか？

【居てほしい「ヒト」の回答人数】（3つまで選択）



08 居場所にあるといい「モノ」

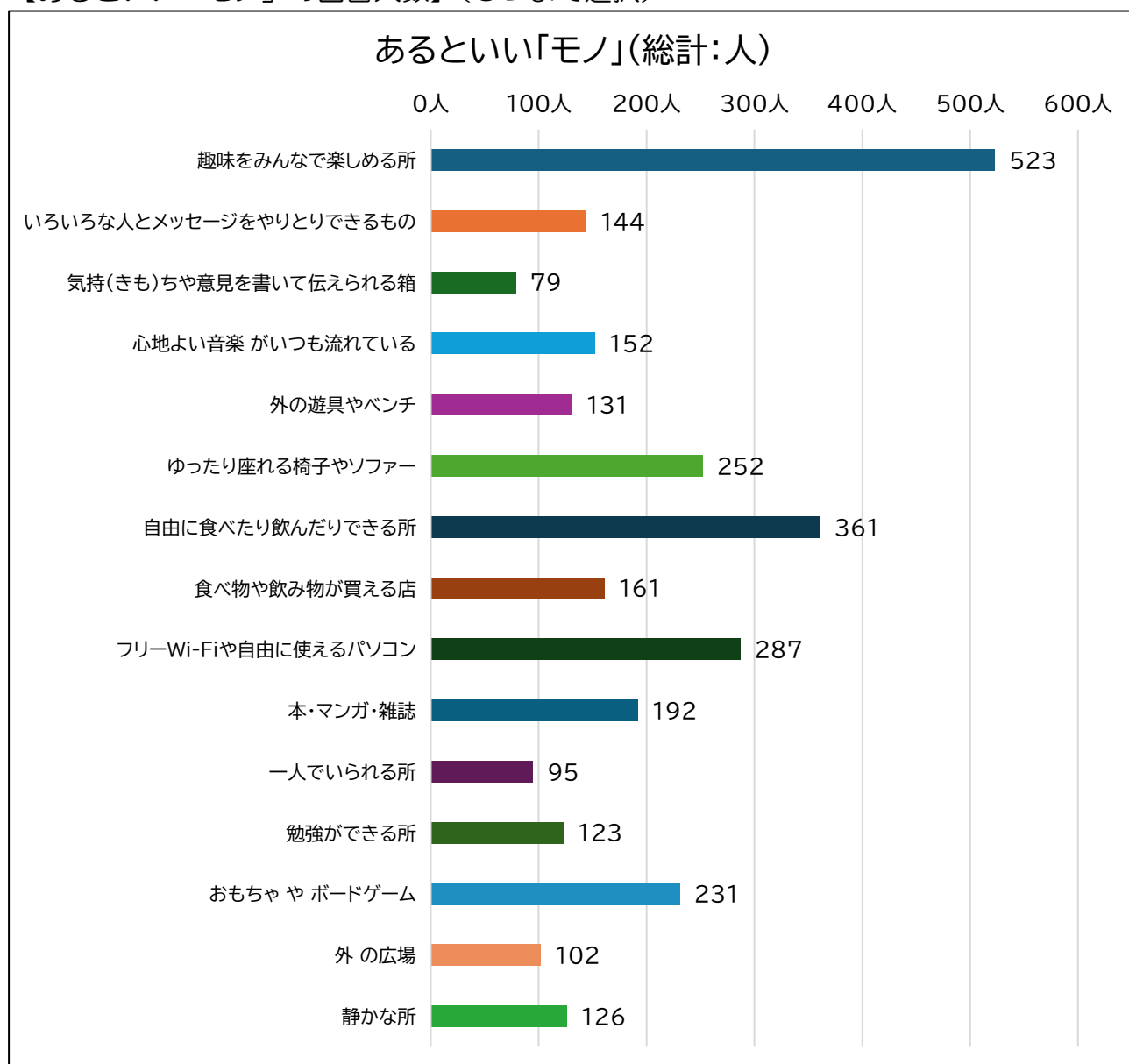
「楽しさを誰かと共有できる空間」と「個人で自由にくつろげる環境」

「趣味をみんなで楽しめる場所」が、ほかの項目と比べると多くの子どもたちからの回答を得ている。また、「自由に食べたり飲んだりできる所」、「フリーWi-Fiや自由に使えるパソコン」、「ゆったり座れる椅子やソファ」などの回答も多い。

このことから、「趣味を楽しむ」、「みんなと何かをする」といった人との関わりを通して楽しさを共有できる空間と、自分自身が自由にゆったりくつろぐことができる環境の両方が居心地の良さに大切であるといえる。

Q8 「居たい」と思う場所には、どんな「モノ」があるといいですか？

【あるといい「モノ」の回答人数】（3つまで選択）



09 居場所のできるという「コト」

教育的な「コト」よりも、まずは何となく「楽しいコト」、「くつろげるコト」

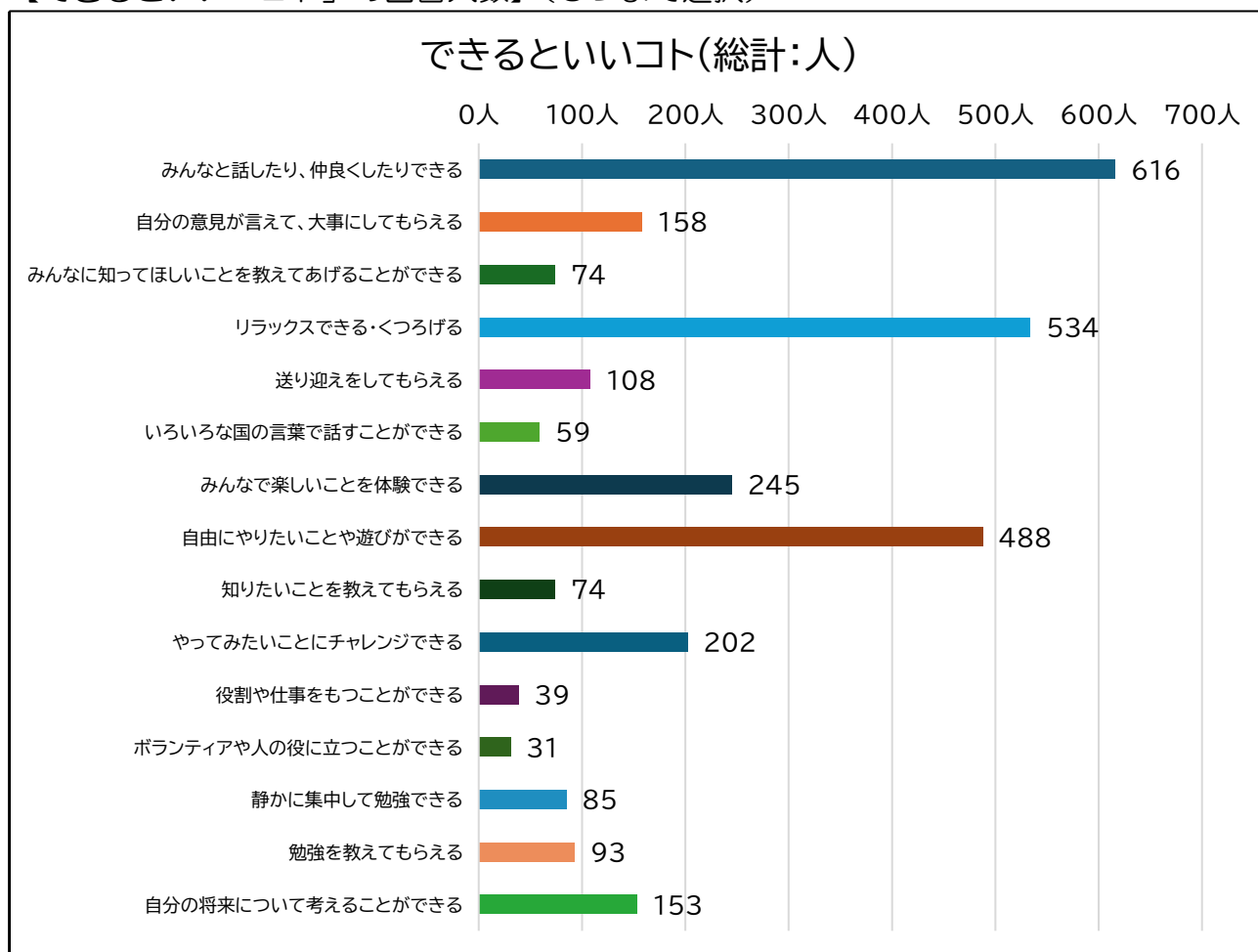
「みんなと話したり、仲良くしたりできる」が最も多く、続いて「リラックスできる・くつろげる」、「自由にやりたいことや遊びができる」の順という結果となった。これらの結果は、「モノ」の回答結果と同じような傾向が見られる。誰かと楽しさを共有したり、個人でゆったりくつろげたりすることが、子どもの居場所にとって基本的で土台となる要素となっていることが見えてくる。

一方で、「役割や仕事をもつことができる」、「ボランティアや人の役に立つことができる」といった自己肯定感や自己有用感に関わることや、「勉強できる」、「教えてもらえる」など知識・スキルの獲得に関わる項目の回答は少ない。

この結果から、「こどもの居場所づくり」を考えていく上で、教育的な「コト」が前面に表れることよりも、何となく「楽しさを感じられるコト」や「くつろげそうなコト」を考えていくことも大切であるといえる。

Q9 「居たい」と思う場所では、どんな「コト」ができるといいですか？

【できるという「コト」の回答人数】（3つまで選択）



10 居場所の有無と居場所に求める心理的側面の関係

居場所のある子もない子も、精神的な安定を居場所に求めている
居場所のない子は、自由でいられることを居場所に求めている

クロス1 「居たい」と思う場所×「家」と「学校」の居場所の有無

「どのような場所に『居たい』と感じるか」という質問の回答を、「家」と「学校」に「居たいと感じるか」の回答別にクロス集計を行った。

その結果、「家」と「学校」にも「居たいと感じている」子ども（以下、「居場所がある子」）は、総計とほぼ同じような、「精神的安定」、「被受容感」、「行動の自由」の順に割合が高い傾向が見られる（「居場所がある子」の総数が多いため同じような型として結果が表れている）。

反対に、「家」と「学校」に「居たいと感じていない」子ども（以下、「居場所がない子」）の結果を見てみると、総計や「居場所がある層」の結果と比較しても、「行動の自由」と回答している割合が高く、「家」に「居場所がない層」により強い傾向が見られる。特に、「家」にも「学校」にも「居場所がない子」の結果は、「行動の自由」が突出して高い割合となっている。

また、「家」と「学校」に「居場所がない子」も「居場所がある子」と同様、居場所に「精神的安定」を求めている傾向が高いことが分かる。

このように、少人数である「家」と「学校」に「居場所がない子」を抽出してクロス集計することで、居場所のある大勢の子どもたちの集計結果の中で埋もれてしまいがちな、小さな声を聞くことができた。

以上のことから、「こどもの居場所づくり」を考えていく上で、ユニバーサル型（居場所がある子もない子も共通して大切なこと）、ターゲット型（特に居場所がない子にとって大切にしたいこと）それぞれのポイントを提案したい。

ユニバーサル型

精神的に安定する「場所」「時間」「人との関係」が大切

- ・安全で、安心して過ごすことができること
- ・自分らしくいられること
- ・環境が快適であること

ターゲット型

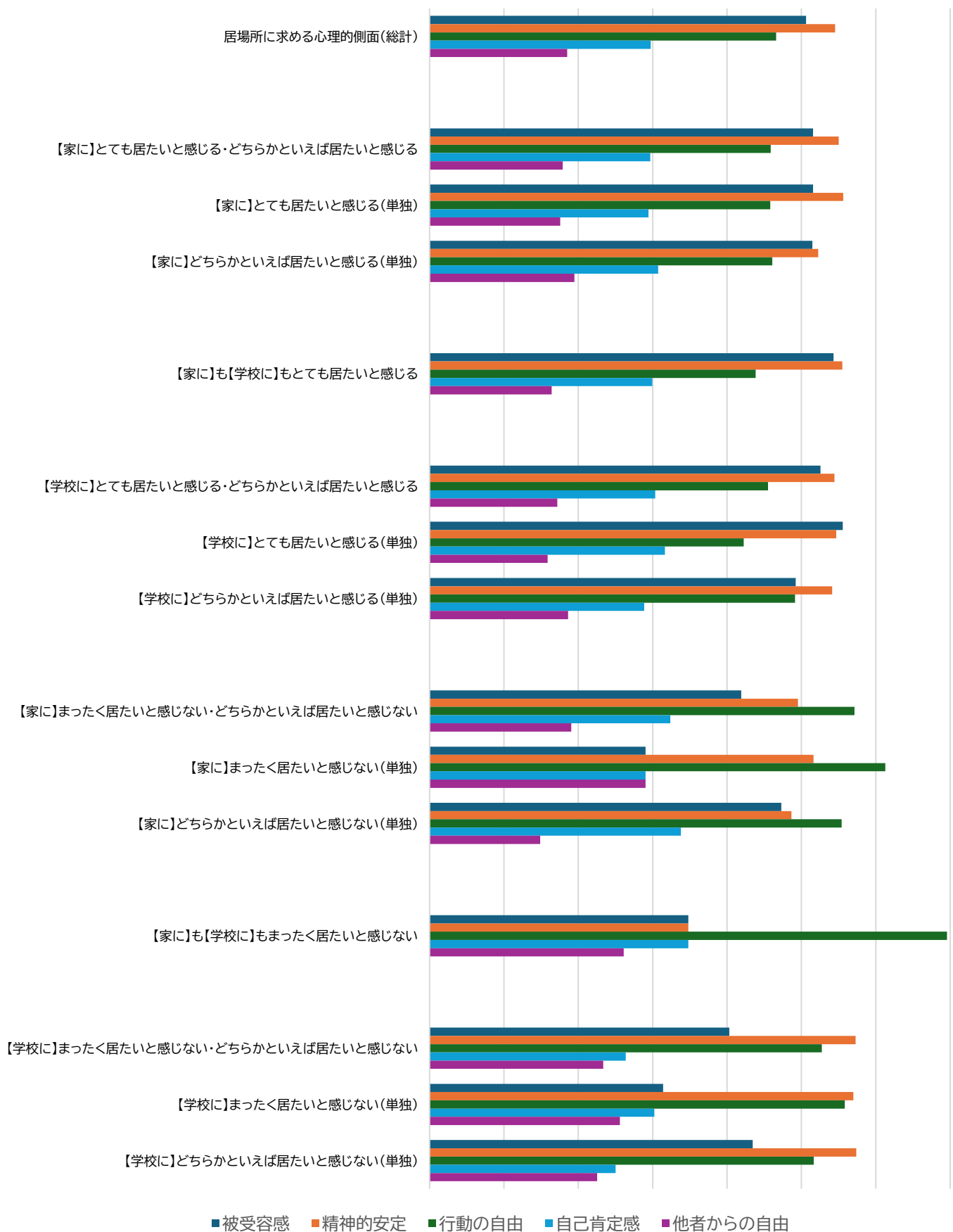
自由に行動できる「場所」「時間」「人との関係」が大切

- ・自分の好きなことができること
- ・自分のペースで過ごせること
- ・自分の必要なものがあること

【「居たい」と感じる場所×「家」と「学校」の居場所の有無】

居場所に求める心理的側面(割合:%)

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0%



11 居場所の有無と居場所に求める「ヒト・モノ・コト」の関係

やさしくて明るい肯定的な関わりを通して、安心させてくれたり、楽しくさせてくれたりする「ヒト」の存在が大切である

「交流できる空間」と「一人で居られる空間」を自ら選択できること

「みんなで仲良くできること」、「一人でリラックスできること」など多様な機会を

クロス2 「ヒト」「モノ」「コト」×「家」と「学校」の居場所の有無

「居場所に求める『ヒト』『モノ』『コト』」に関する質問の回答を、「家」と「学校」に「居たいと感じるか」の回答別にクロス集計を行った。

ヒト

「居場所がある子」も「居場所がない子」も、共通して「やさしくて、明るい人」や「おもしろくて、楽しい人」と回答している割合が高い。

「居場所がある子」では、「親しみやすい人」や「同じ趣味を持つ人」などが一定の割合を占めているが、「居場所がない子」では低くなる傾向が見られる。また、「居場所のない子」にとっては、共通して高い回答が見られた「やさしくて、明るい人」を望む傾向がさらに強く、割合としては高くはないが「そっと見守ってくれる人」や「同じ悩みをもつ人」などのニーズが一定数あることが分かる。

モノ

「居場所がある子」も「居場所がない子」も、共通して「趣味をみんなで楽しめる所」と回答している割合が高い。一方、「居場所のない子」にとっては、「一人で居られる場所」や「静かに過ごせる所」の割合が相対的に高くなる傾向がある。

このことから、「モノ」の視点から「こどもの居場所づくり」を進める場合、「交流できる空間」と「一人で居られる空間」の両方を整備していく配慮が必要である。

コト

「居場所がある子」も「居場所がない子」も、共通して「みんなと話したり仲良くしたりできる」、「リラックスできる・くつろげる」、「自由にやりたいことができる」ことを望んでいる傾向が見られる。「居場所のない子」は、「一人で過ごす自由」や「自分のペース」を重視する傾向があり、特に学校に「居場所がない子」は「リラックスできる・くつろげる」ことがかなり高い割合となっている。

以上の結果から、「こどもの居場所づくり」を「ヒト」「モノ」「コト」の視点から進めて行くにあたり、ポイントとなるキーワードをユニバーサル型、ターゲット型別にまとめたので、参考にさせていただきたい。

ユニバーサル型	ヒト ・やさしくて、明るい人 ・おもしろくて、楽しい人 モノ ・趣味をみんなで楽しめる所 コト ・みんなと話したり、仲良くしたりできる ・リラックスできる・くつろげる ・自由にやりたいことができる
ターゲット型	ヒト ・やさしくて、明るい人 ・そっと見守ってくれる人 ・同じ悩みをもつ人 モノ ・一人で居られる場所 ・静かに過ごせる所 コト ・リラックスできる・くつろげる ・一人で過ごす自由、自分のペース

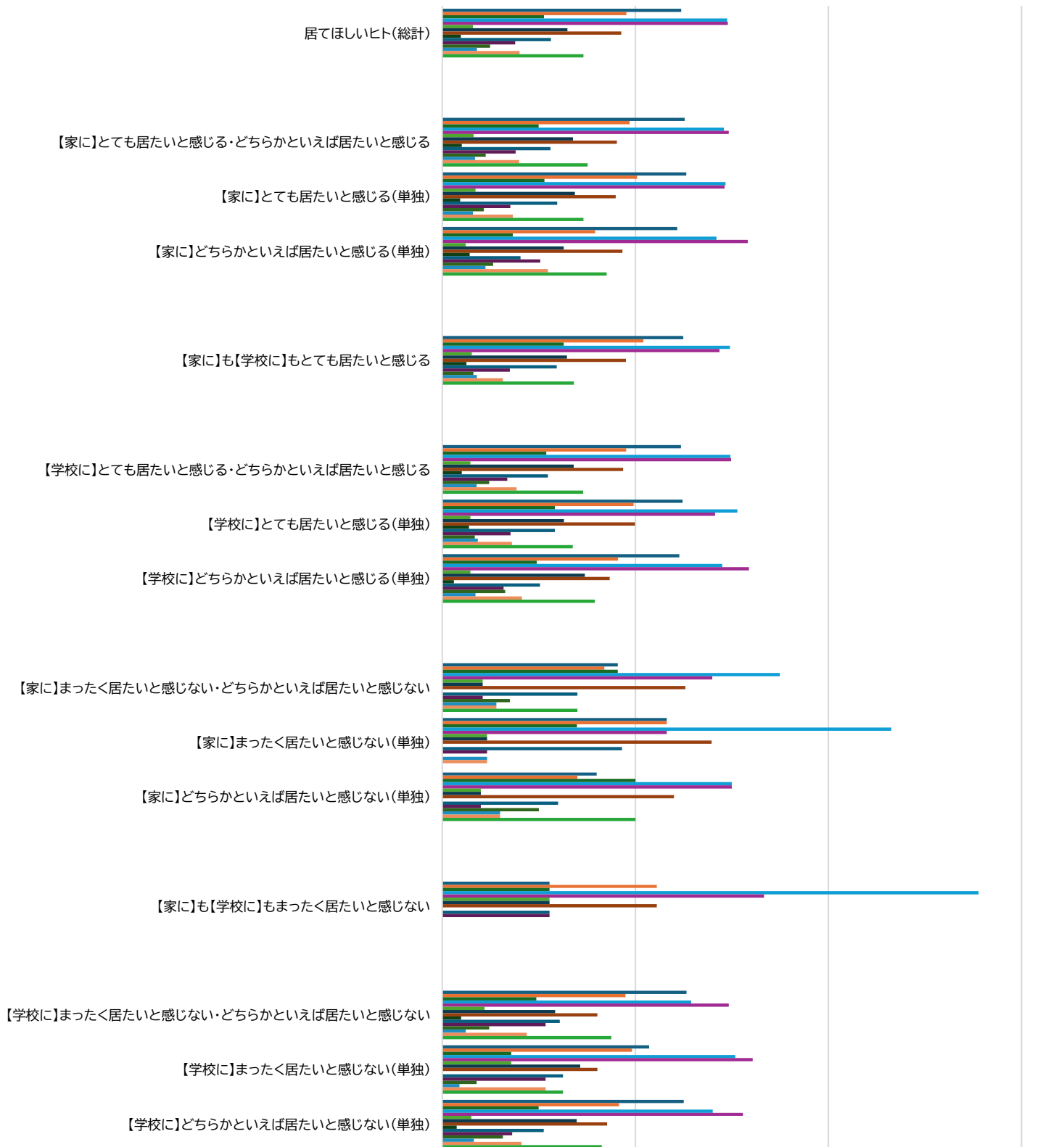
居てほしいヒト(割合:%)

0.0%

10.0%

20.0%

30.0%

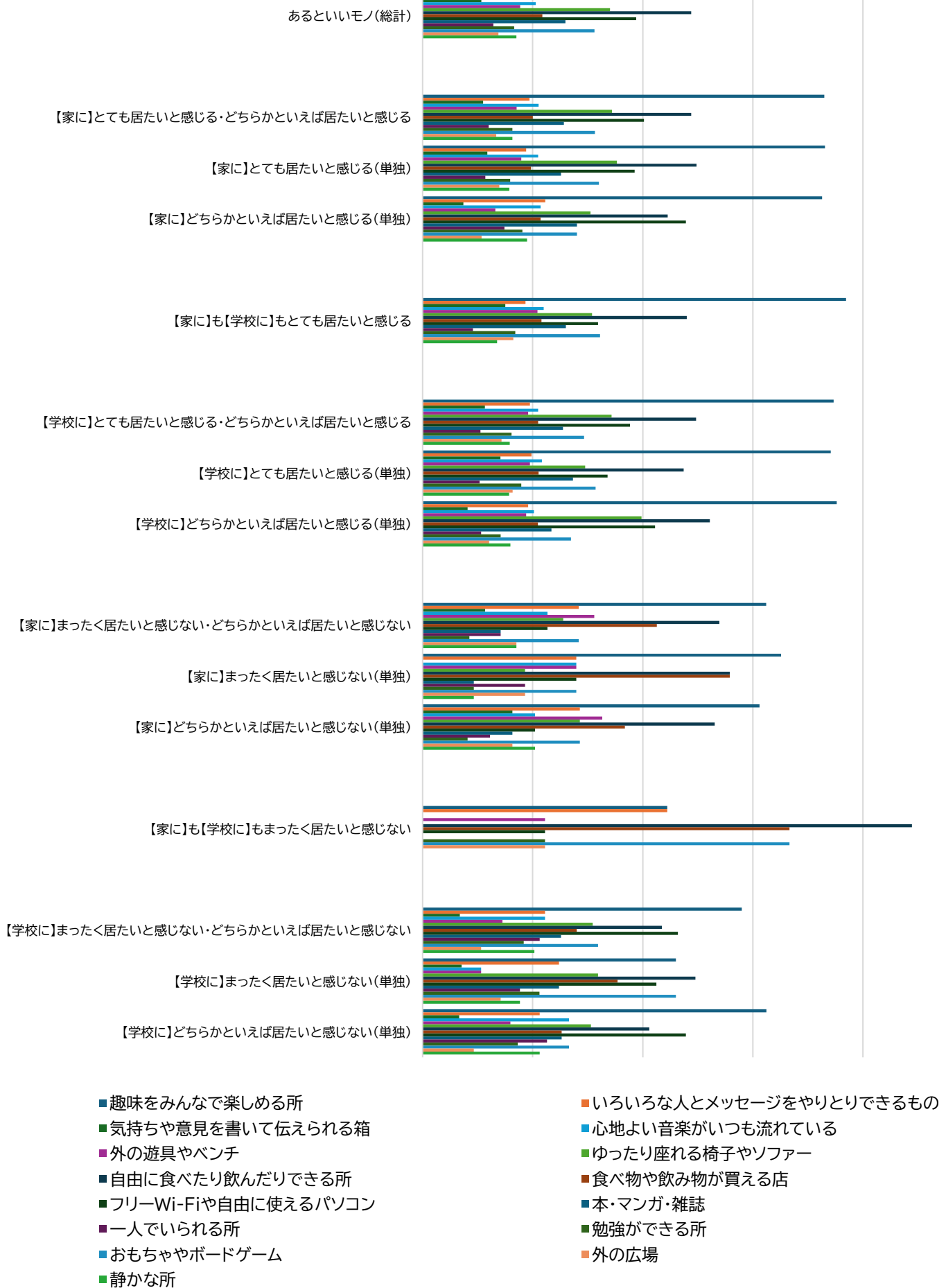


- 話をよくきいてくれる人
- 名前と呼んでくれる人
- おもしろくて、楽しい人
- 親しみやすい人
- 手話や外国語ができる人
- 勉強を教えてくれる人
- 友だちを増やしてくれる人
- 同じような趣味をもつ人

- ほめてくれたり、認めてくれたりする人
- やさしくて、明るい人
- 自分の家の近くに住んでいる人
- 一緒に遊んでくれる人
- 応援してくれたり、協力してくれたりする人
- 自分と似たような気持ちや悩みを持っている人
- そっと見守ってくれる人

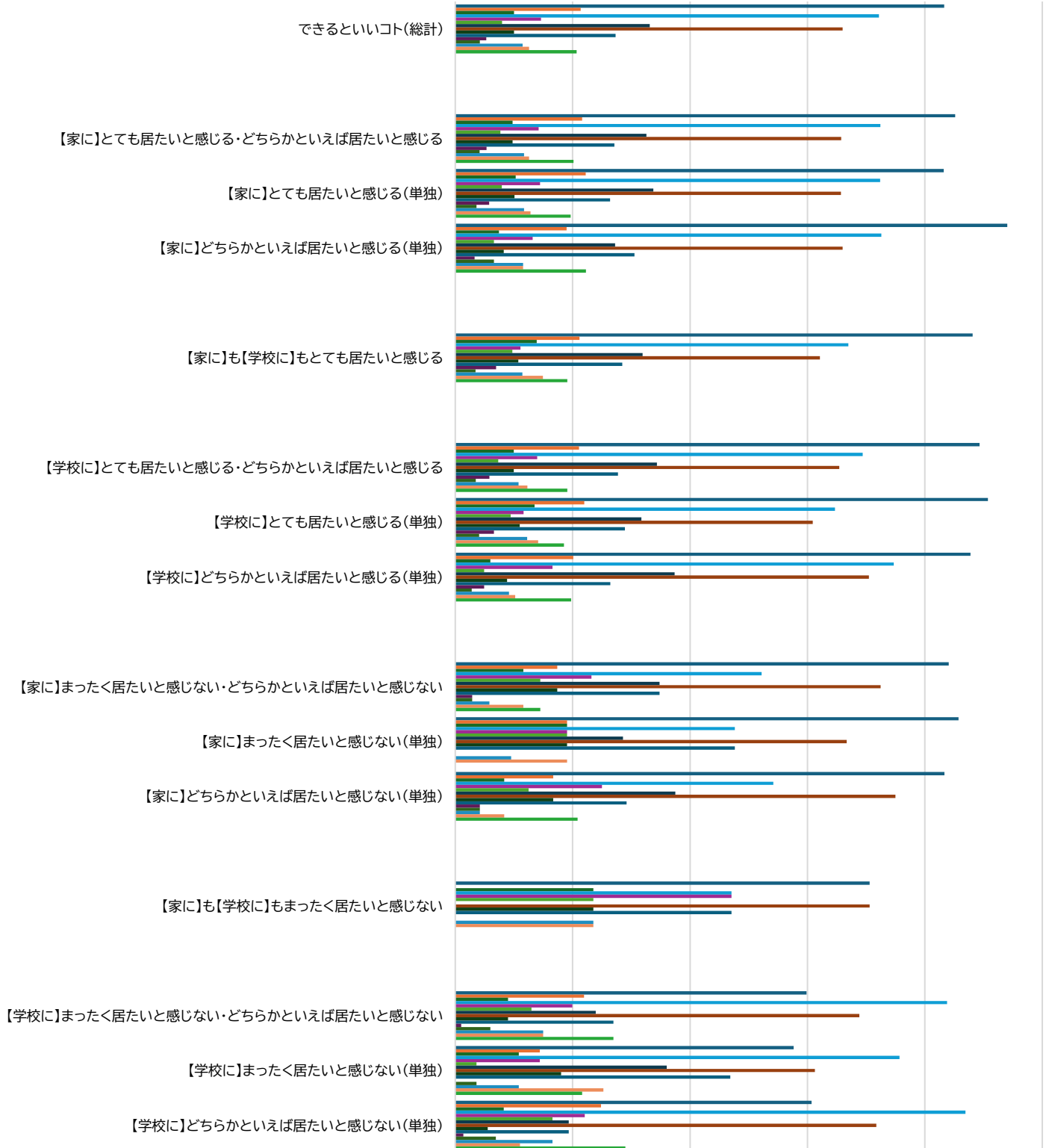
あるといいモノ(割合:%)

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0%



できるといいコト(割合:%)

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0%



- みんなと話したり、仲良くしたりできる
- みんなに知ってほしいことを教えてあげることができる
- 送り迎えをしてもらえる
- みんなで楽しいことを体験できる
- 知りたいことを教えてもらえる
- 役割や仕事をもつことができる
- 静かに集中して勉強できる
- 自分の将来について考えることができる

- 自分の意見が言えて、大事にしてもらえる
- リラックスできる・くつろげる
- いろいろな国の言葉で話することができる
- 自由にやりたいことや遊びができる
- やってみたいことにチャレンジできる
- ボランティアや人の役に立つことができる
- 勉強を教えてもらえる

12 クロス集計の結果(参考資料)

クロスさせた回答

【家に】

肯定的回答

- | | |
|---------------------------------|-------|
| ①「とても居たいと感じる」＋「どちらかといえば居たいと感じる」 | 980 人 |
| ②「とても居たいと感じる（単独）」 | 800 人 |
| ③「どちらかといえば居たいと感じる（単独）」 | 180 人 |

否定的回答

- | | |
|------------------------------------|------|
| ④「まったく居たいと感じない」＋「どちらかといえば居たいと感じない」 | 51 人 |
| ⑤「まったく居たいと感じない（単独）」 | 15 人 |
| ⑥「どちらかといえば居たいと感じない（単独）」 | 36 人 |

【学校に】

肯定的回答

- | | |
|---------------------------------|-------|
| ⑦「とても居たいと感じる」＋「どちらかといえば居たいと感じる」 | 871 人 |
| ⑧「とても居たいと感じる（単独）」 | 413 人 |
| ⑨「どちらかといえば居たいと感じる（単独）」 | 458 人 |

否定的回答

- | | |
|------------------------------------|-------|
| ⑩「まったく居たいと感じない」＋「どちらかといえば居たいと感じない」 | 151 人 |
| ⑪「まったく居たいと感じない（単独）」 | 41 人 |
| ⑫「どちらかといえば居たいと感じない（単独）」 | 110 人 |

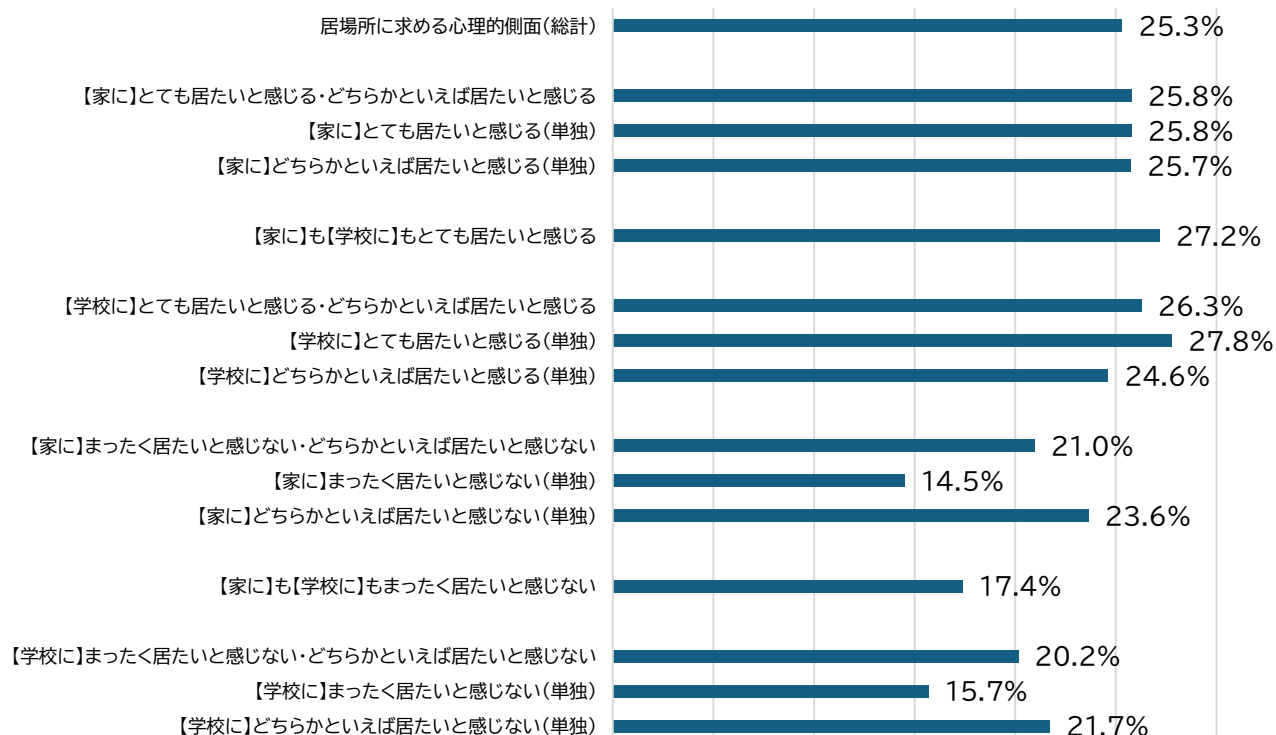
【家に】も【学校に】も

- | | |
|-----------------|-------|
| ⑬「とても居たいと感じる」 | 391 人 |
| ⑭「まったく居たいと感じない」 | 6 人 |

クロス分析【居場所の心理的機別（割合の比較）】

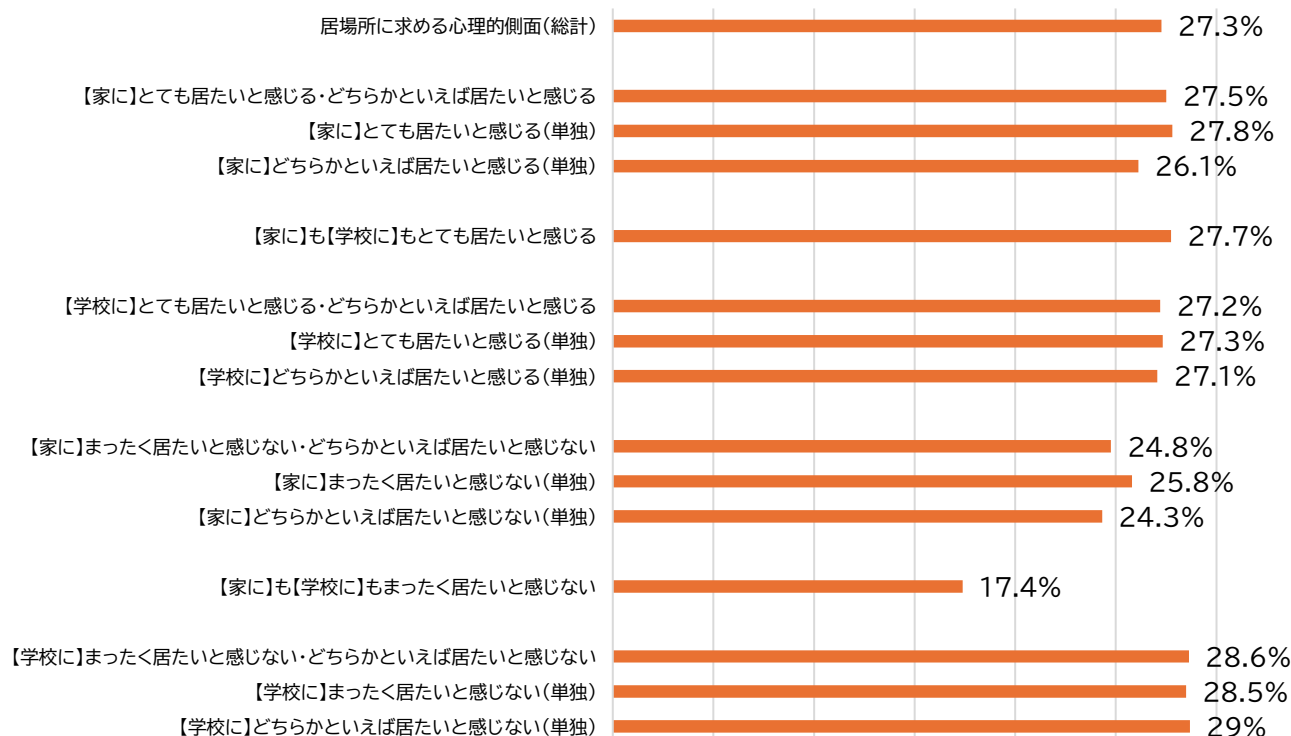
被受容感

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0%



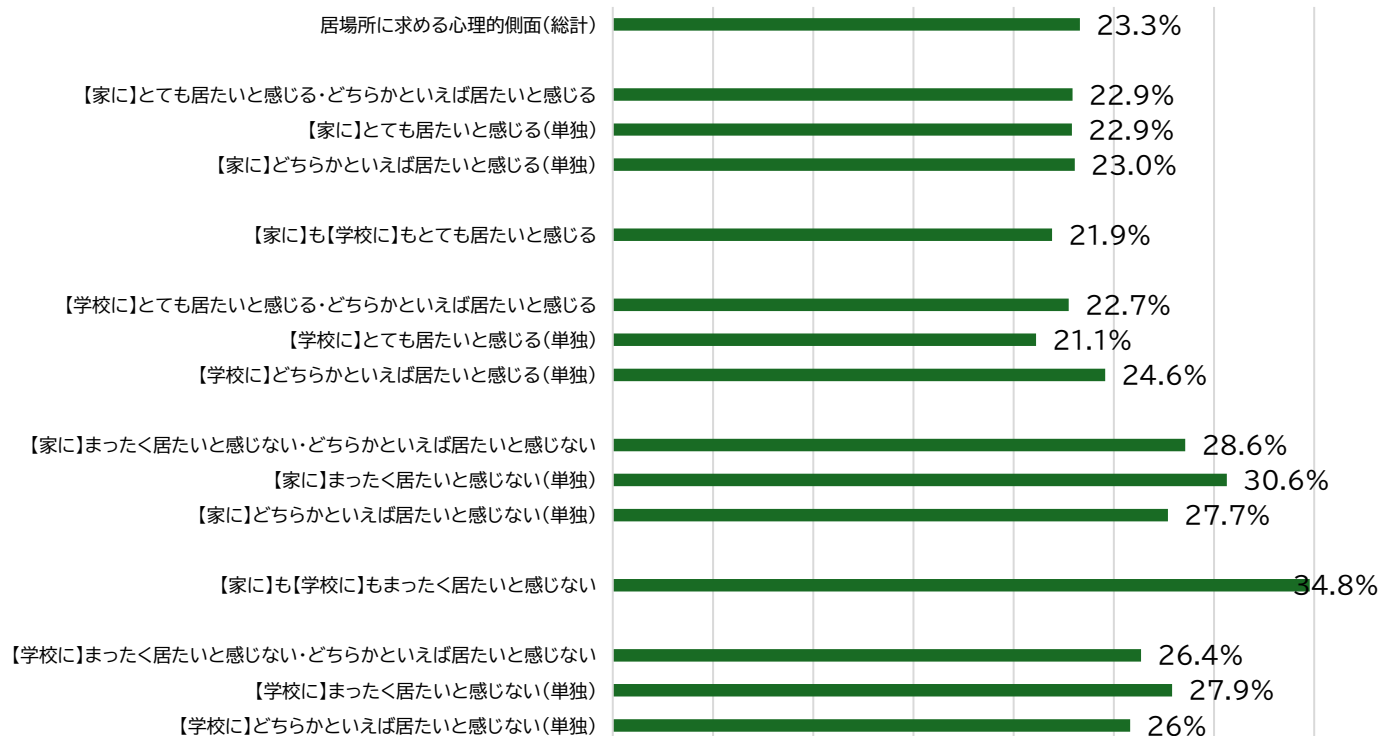
精神的安定

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0%



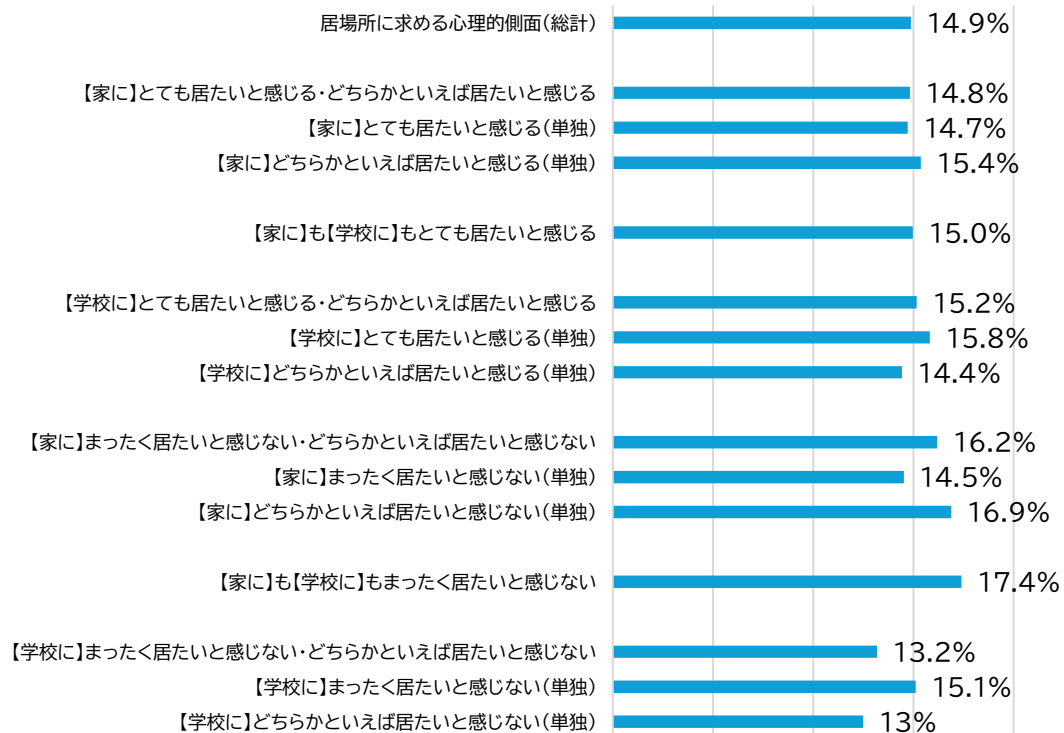
行動の自由

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0%

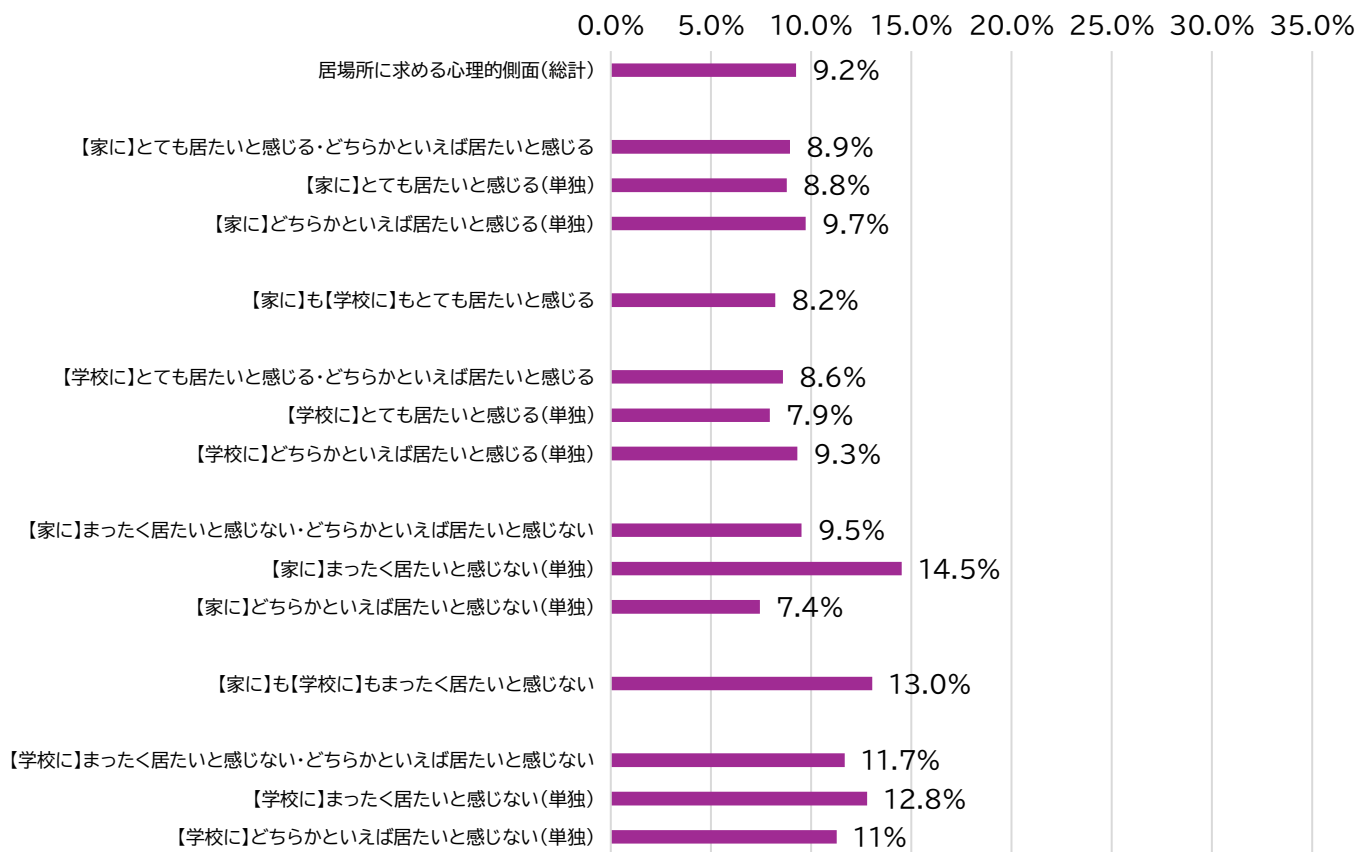


自己肯定感

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0%



他者からの自由



居たいと感じる場所(割合:%)

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0%

居たいと感じる場所(総計)

【家に】とても居たいと感じる・どちらかといえば居たいと感じる

【家に】とても居たいと感じる(単独)

【家に】どちらかといえば居たいと感じる(単独)

【家に】も【学校に】もとても居たいと感じる

【学校に】とても居たい・どちらかといえば居たい

【学校に】とても居たいと感じる(単独)

【学校に】どちらかといえば居たいと感じる(単独)

【家に】まったく居たいと感じない・どちらかといえば居たいと感じない

【家に】まったく居たいと感じない(単独)

【家に】どちらかといえば居たいと感じない(単独)

【家に】も【学校に】もまったく居たいと感じない

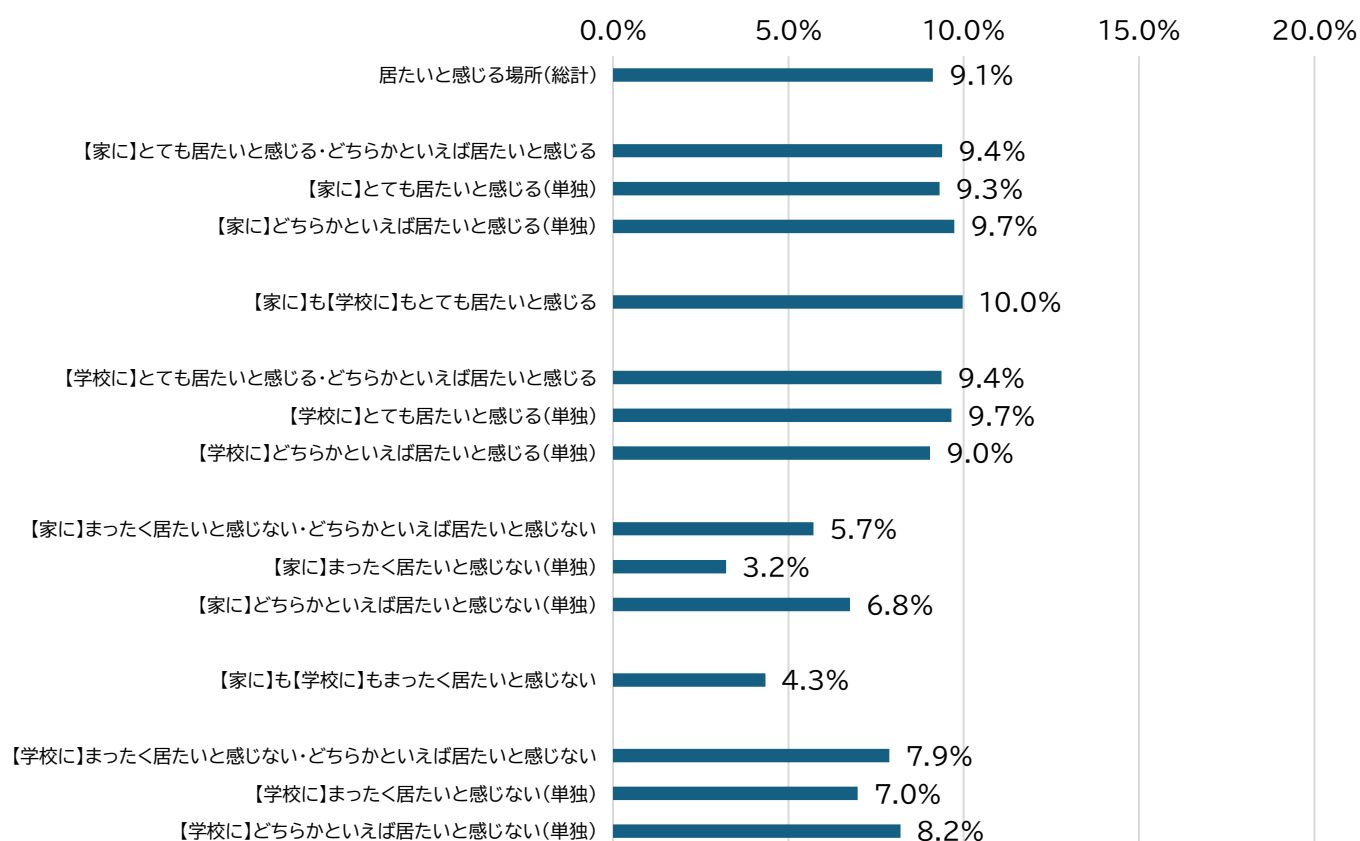
【学校に】まったく居たいと感じない・どちらかといえば居たいと感じない

【学校に】まったく居たいと感じない(単独)

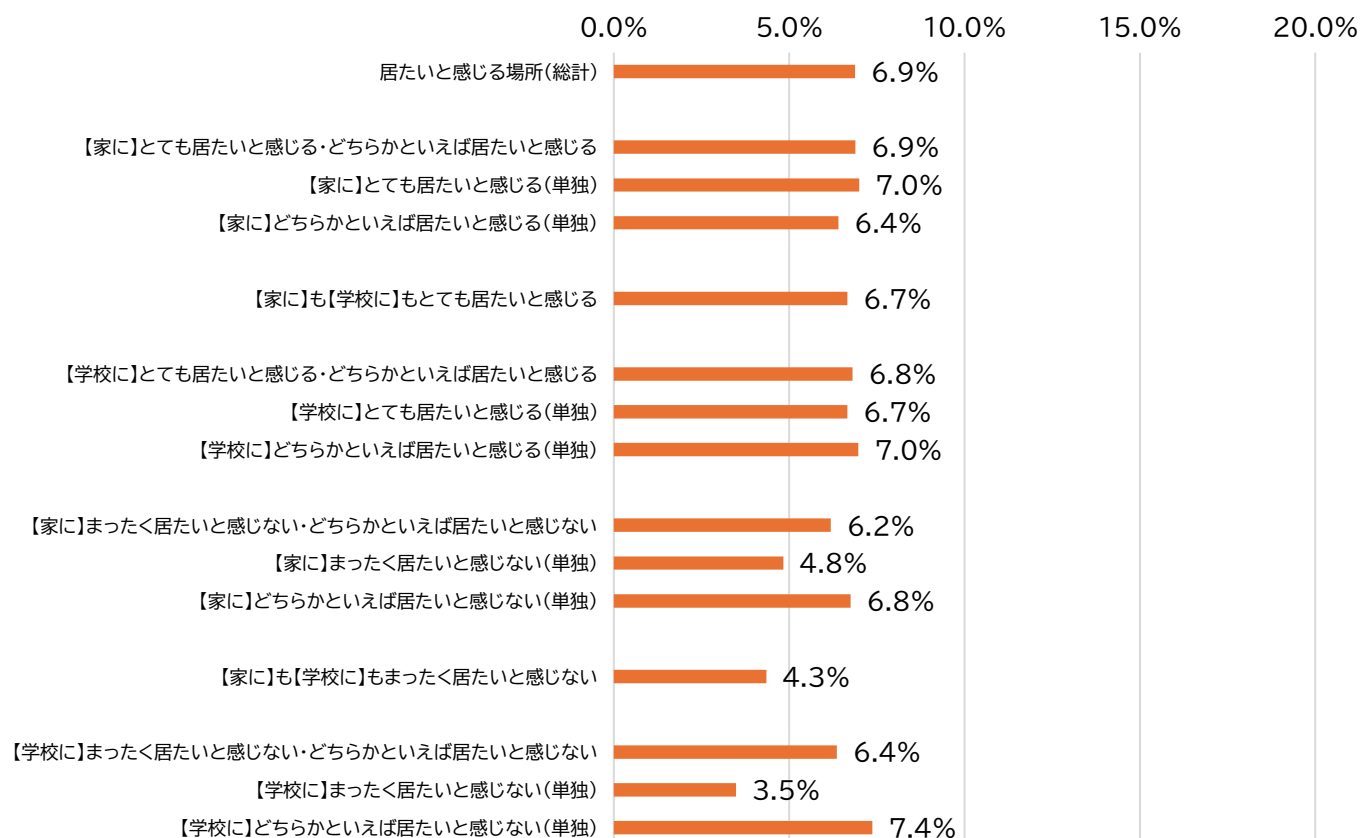
【学校に】どちらかといえば居たいと感じない(単独)

- 自分を受け入れてもらえる
- 安全で安心して過ごせる
- 自分の好きなことができる
- やってみたいことができる
- プライバシーが守られている
- 話や悩みを聞いてもらえる
- 自分らしくいられる
- 自分のペースで過ごせる
- 何かに夢中になれる
- 人を気にしなくてよい
- いろいろな人と一緒に居られる
- 環境が快適である
- 自分の必要なものがある
- 自分に自信がもてる
- 静かさがちょうどよい

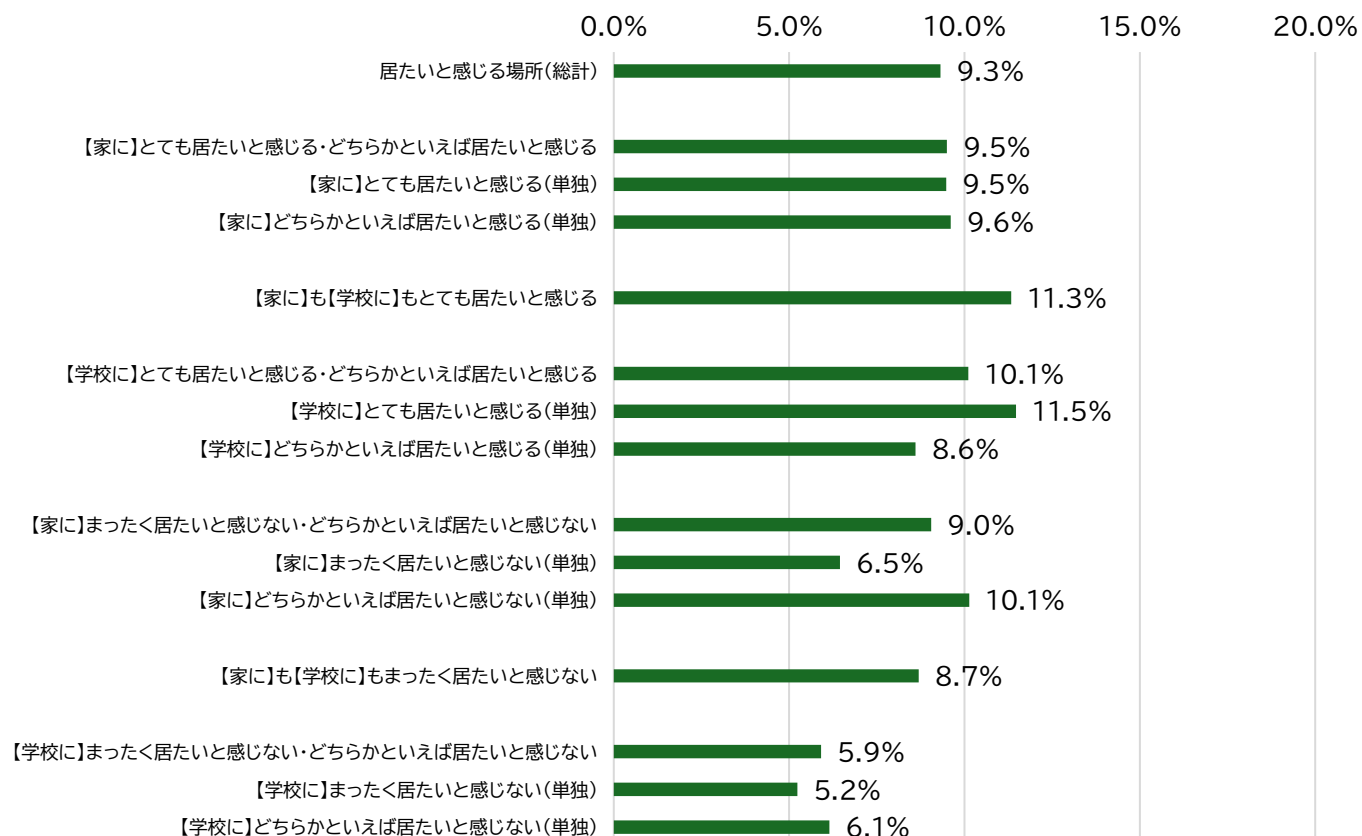
自分を受け入れてもらえる



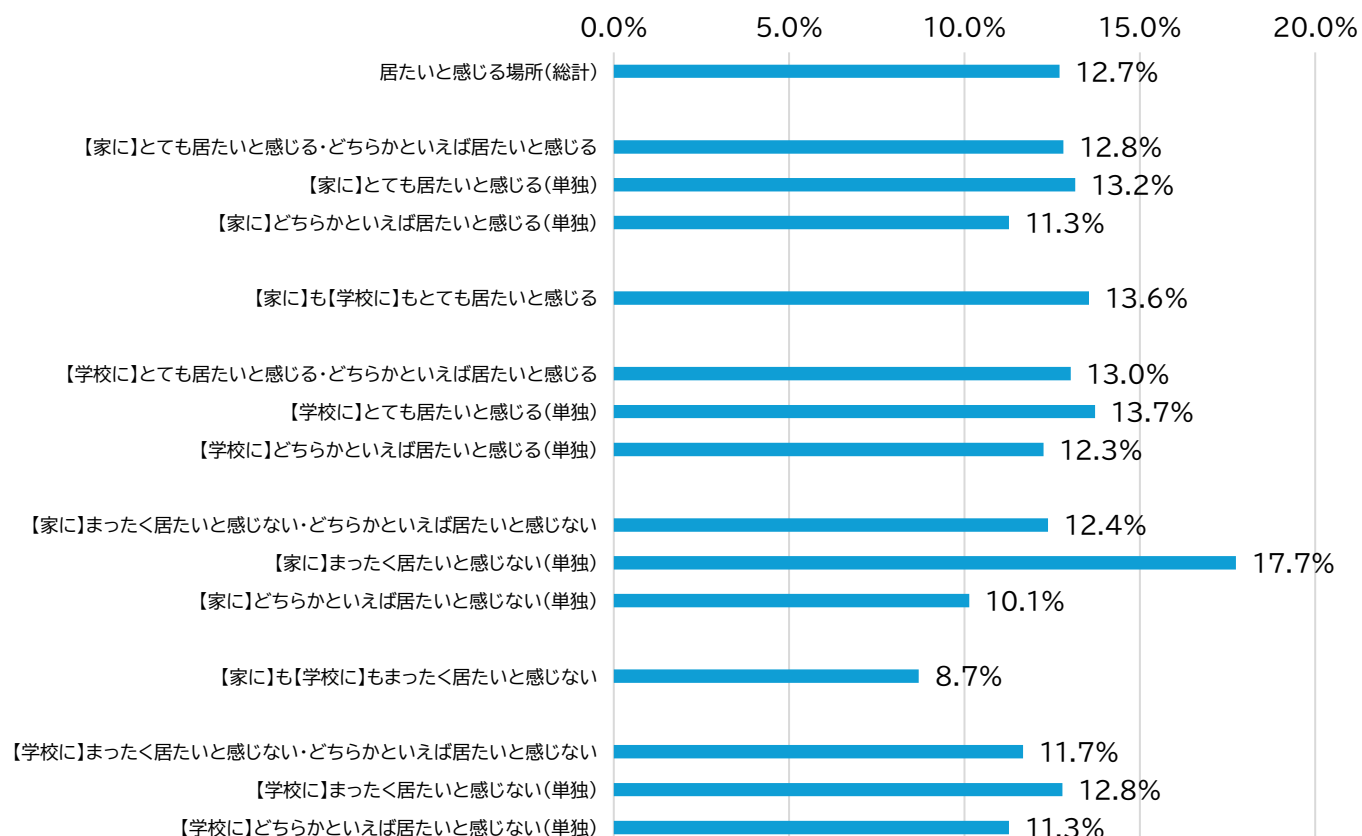
話や悩みを聞いてもらえる



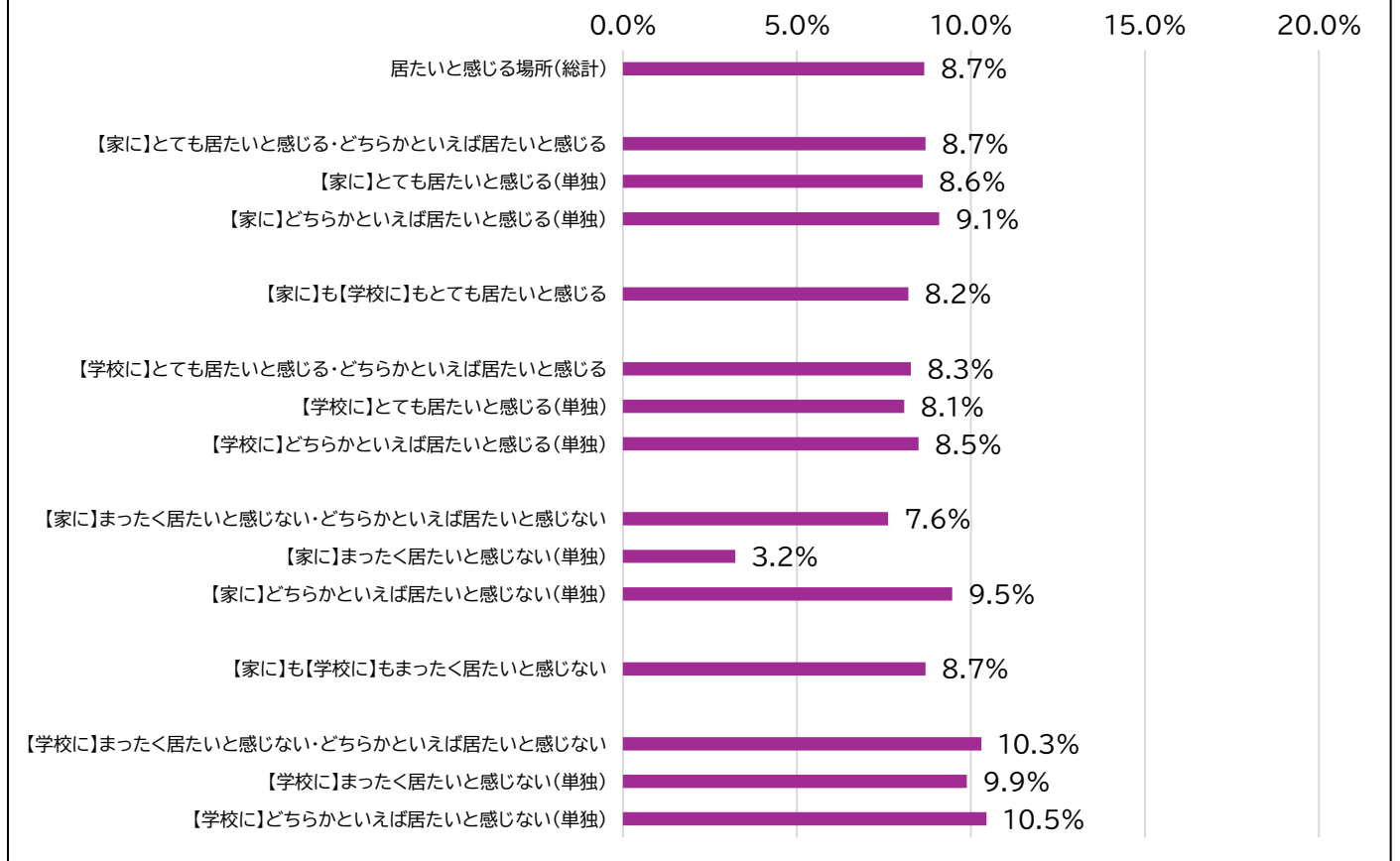
いろいろな人と一緒に居られる



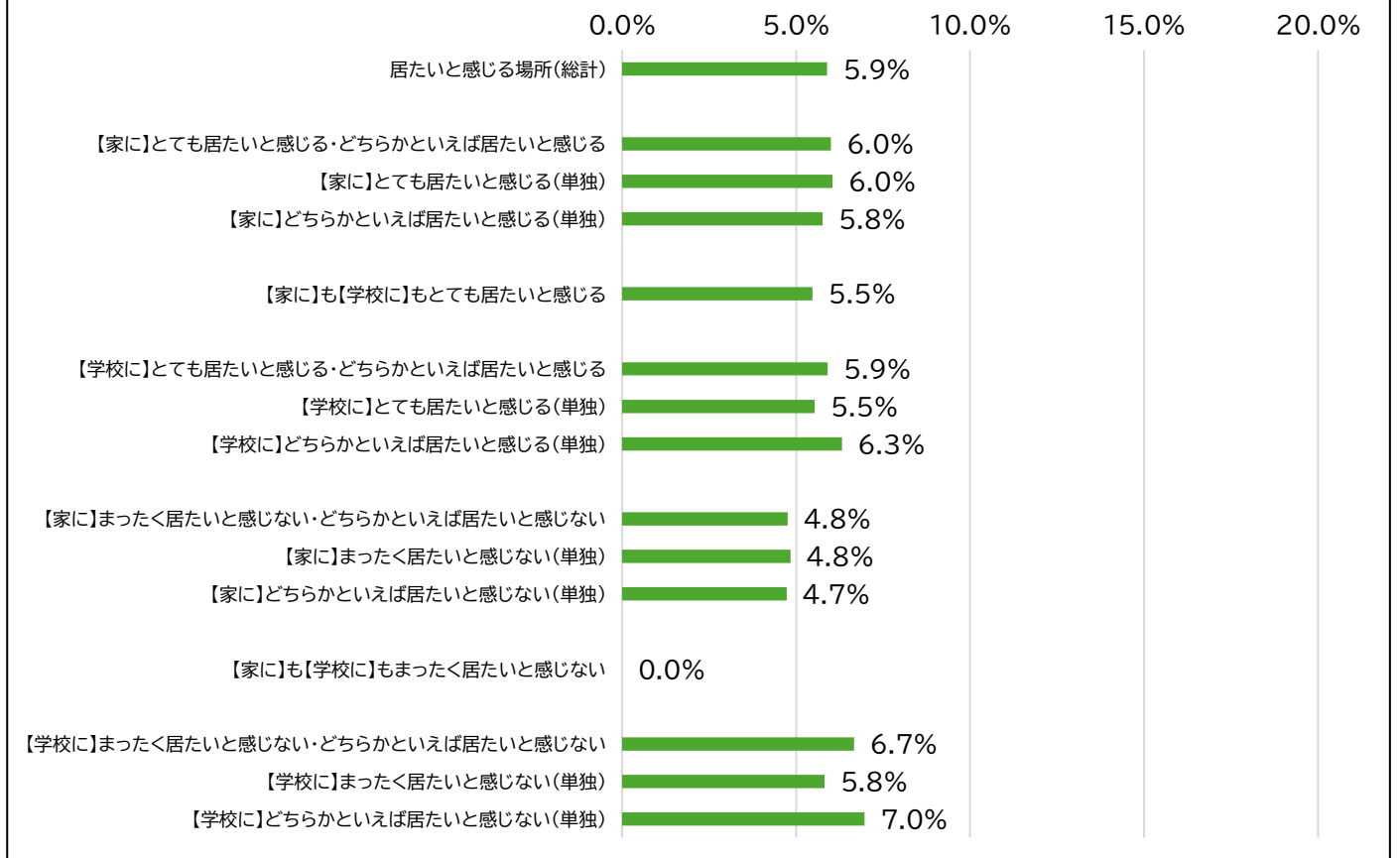
安全で安心して過ごせる



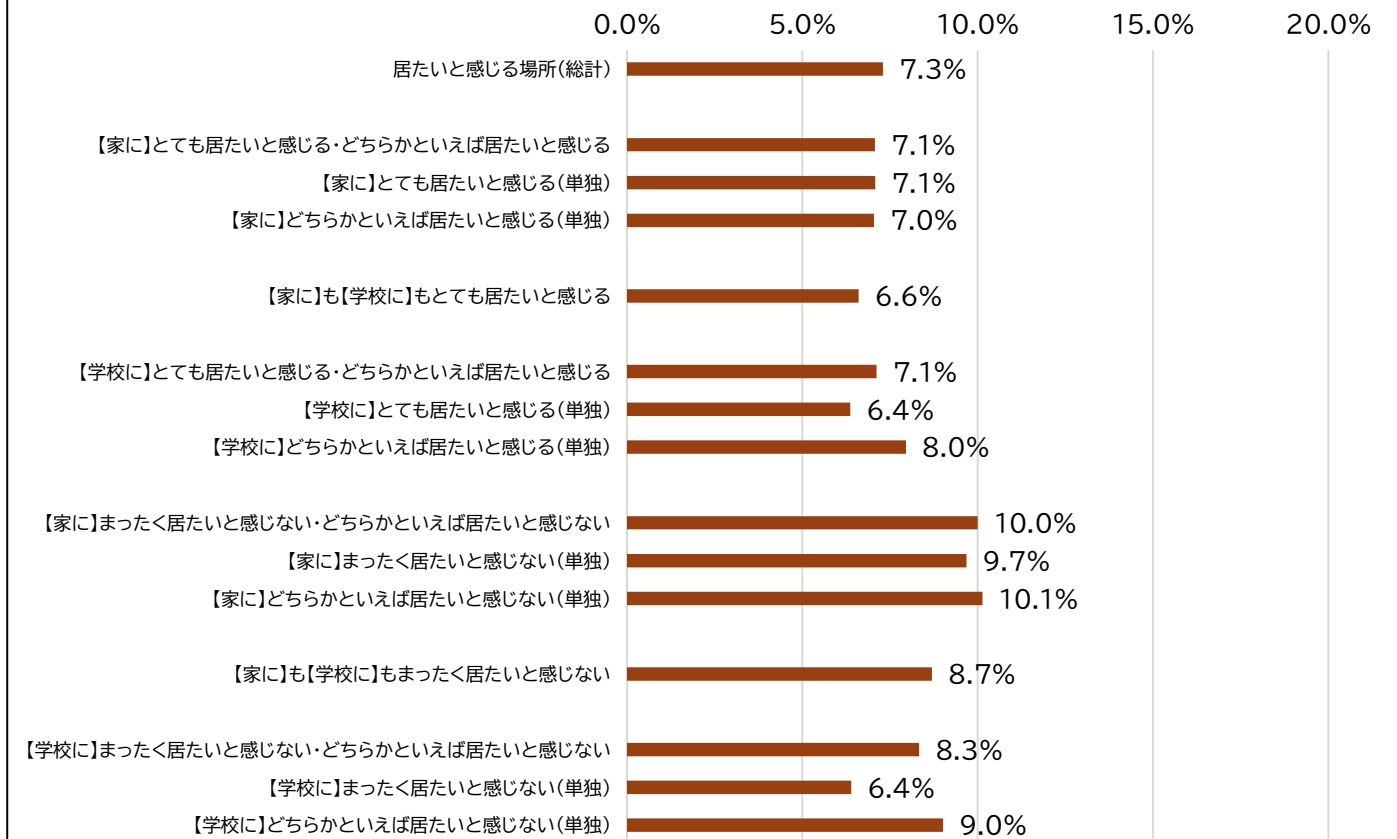
自分らしくいられる



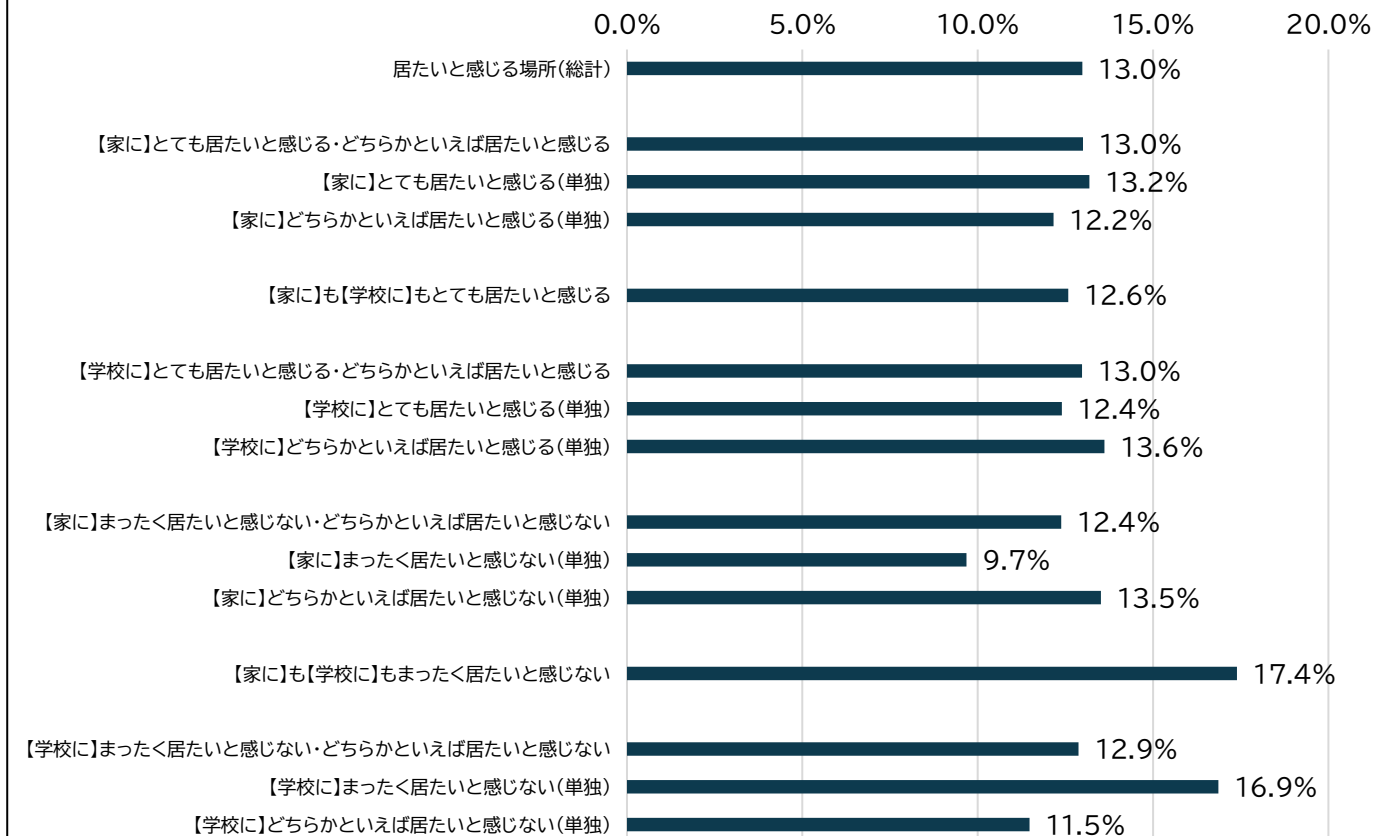
環境が快適である



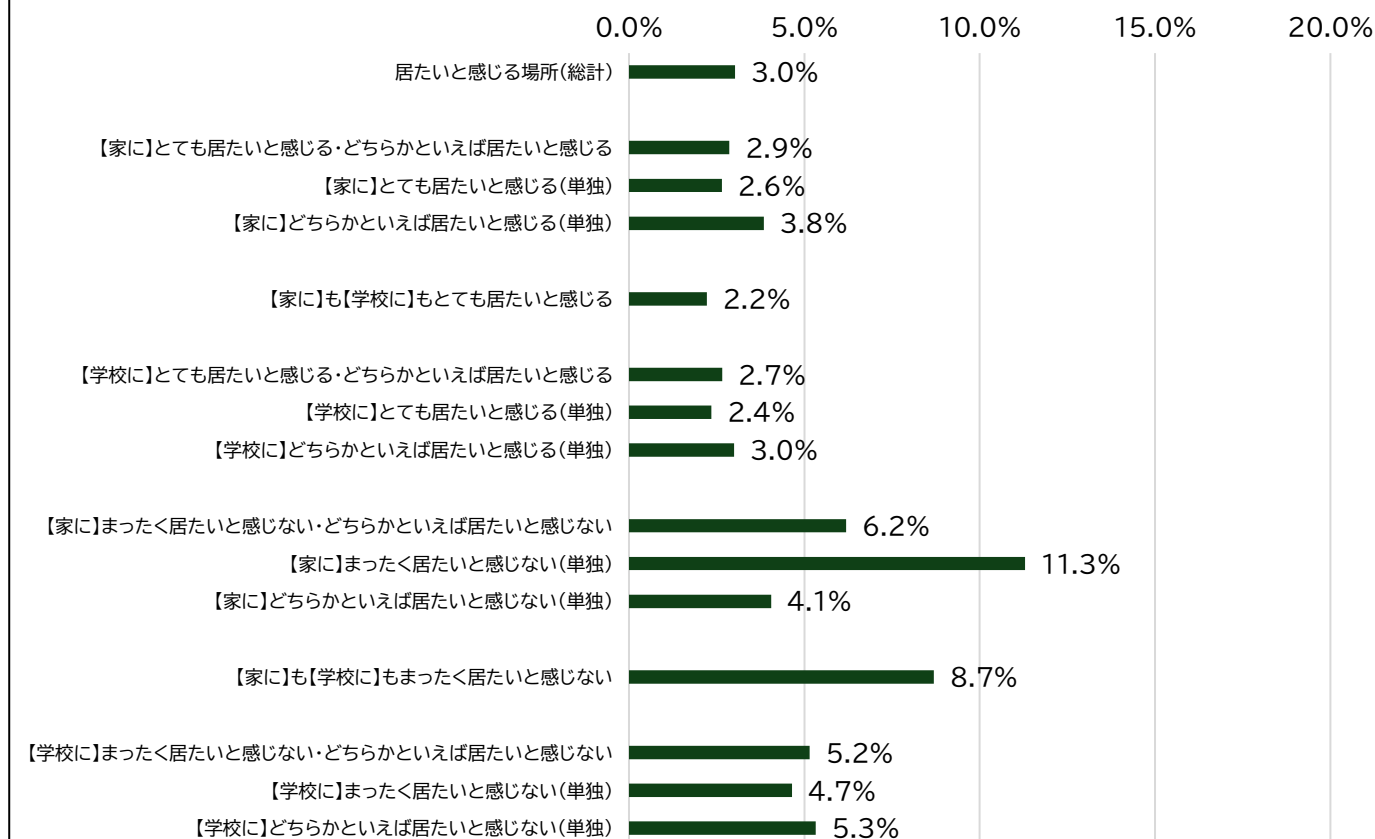
自分のペースで過ごせる



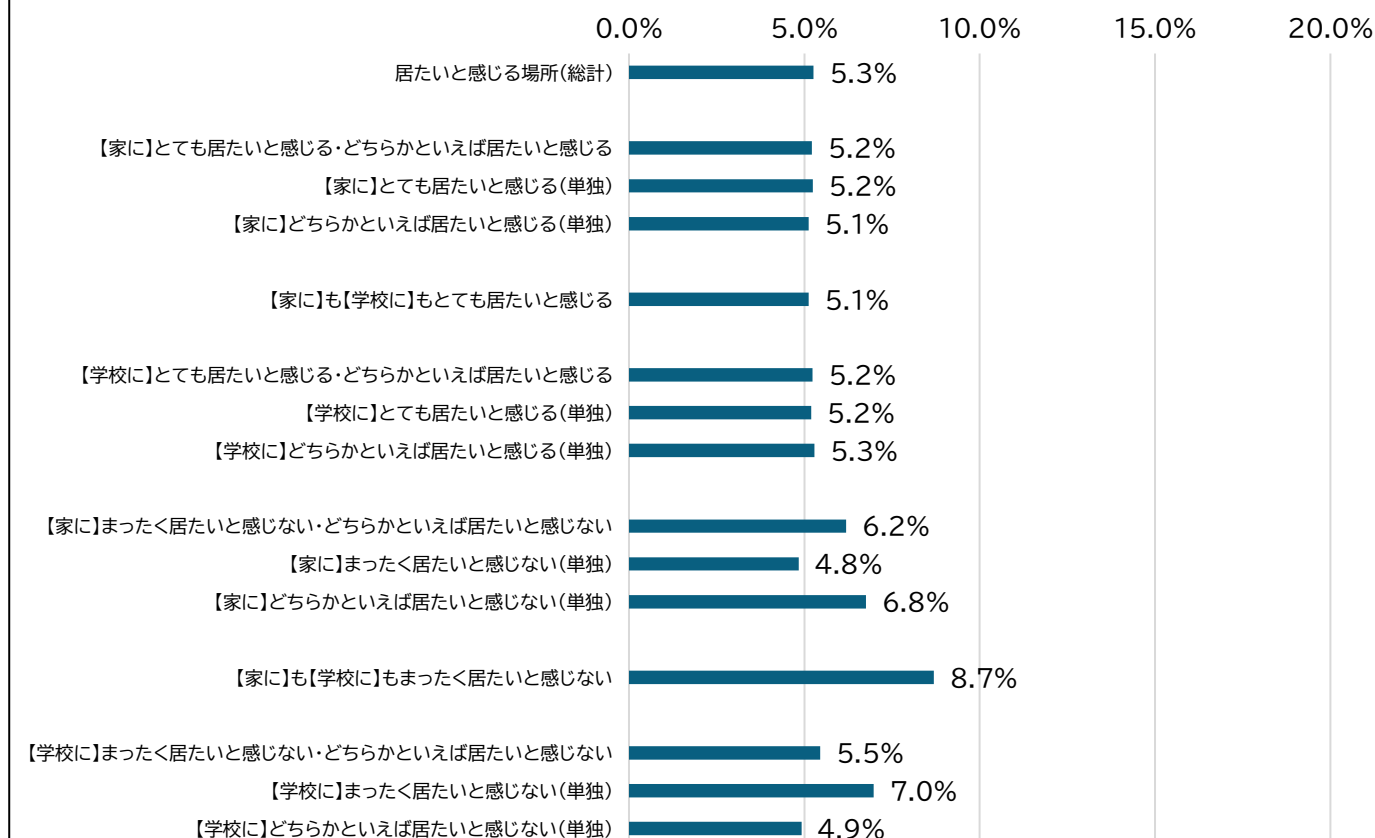
自分の好きなことができる



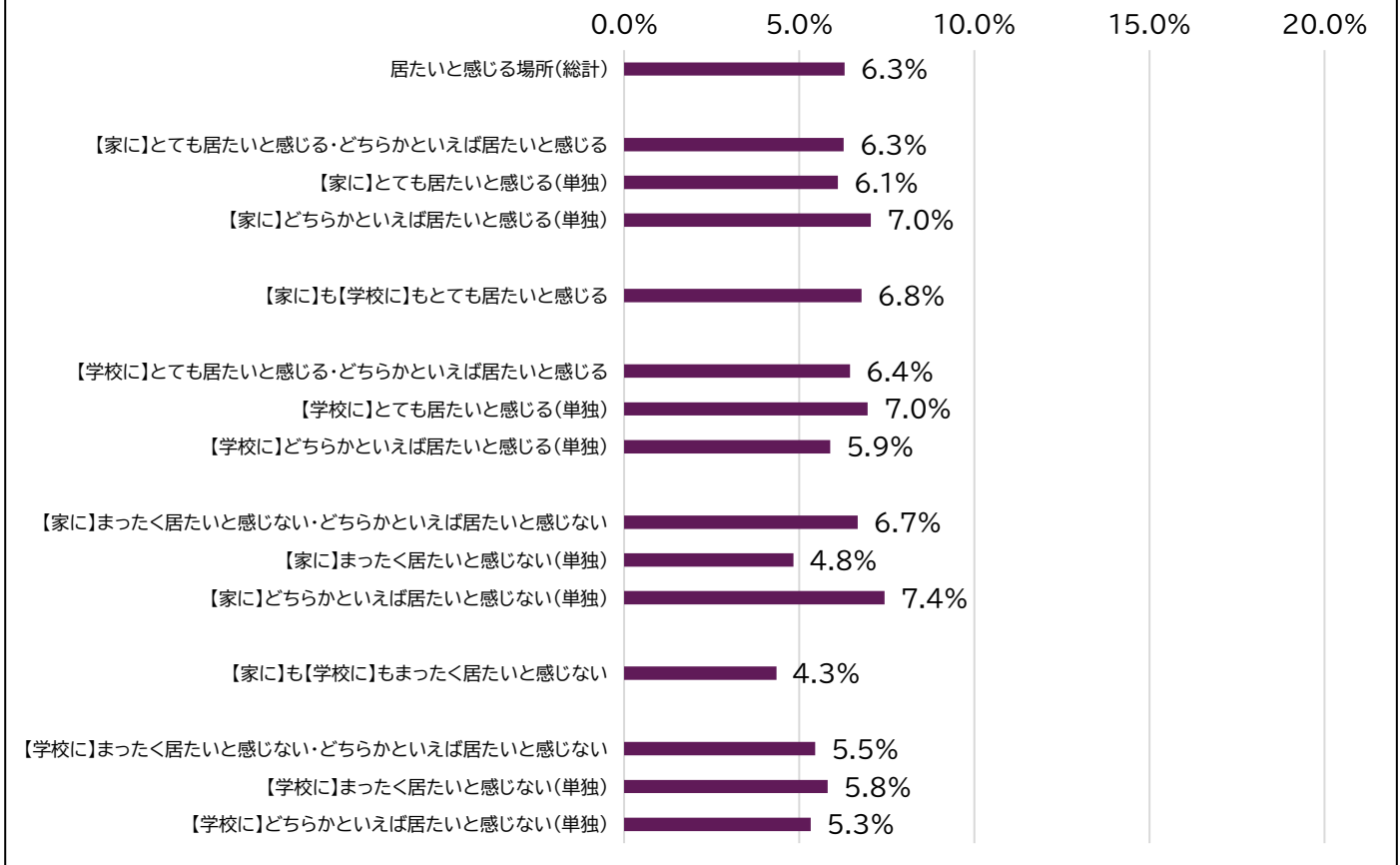
自分の必要なものがある



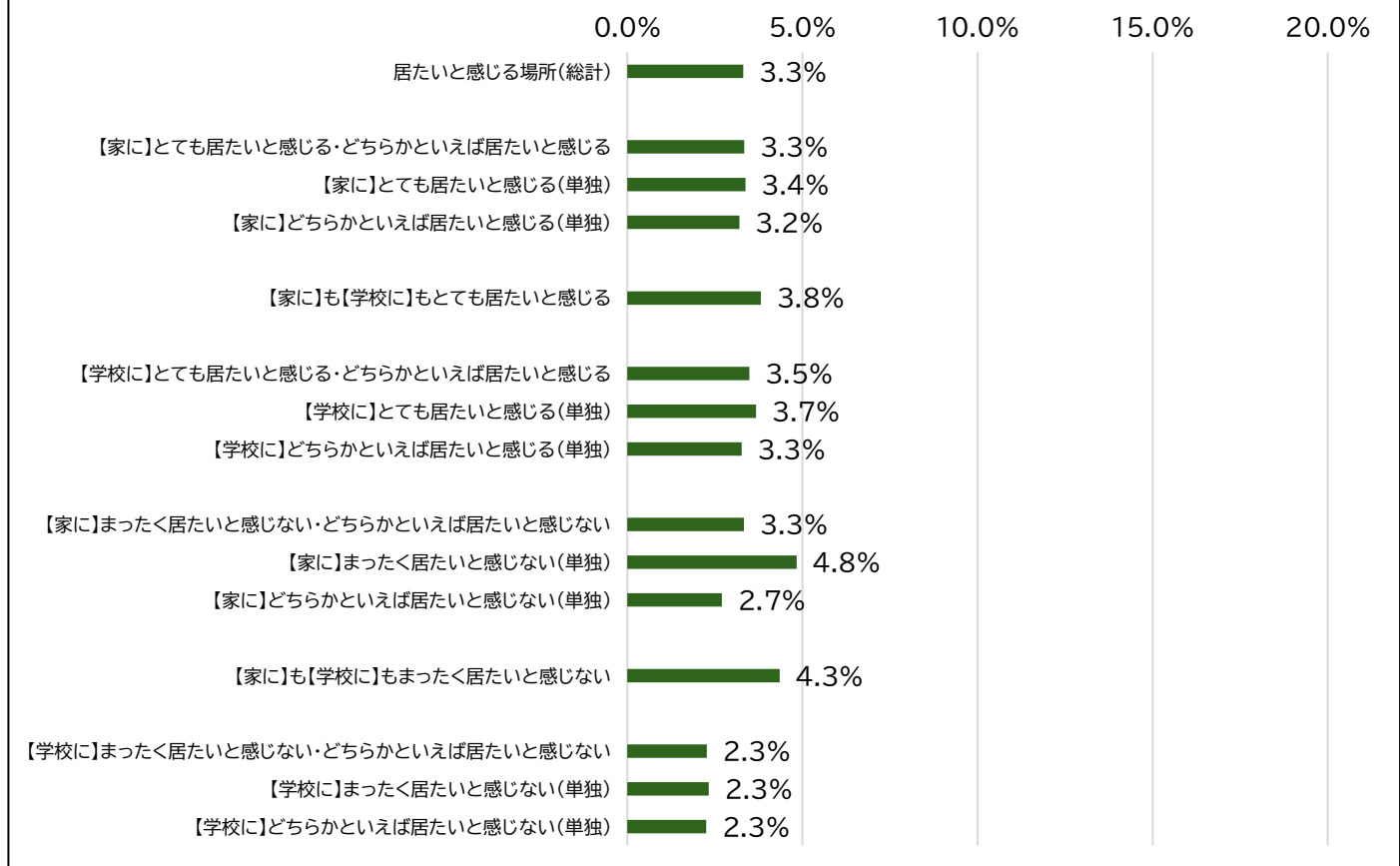
やってみたいことができる



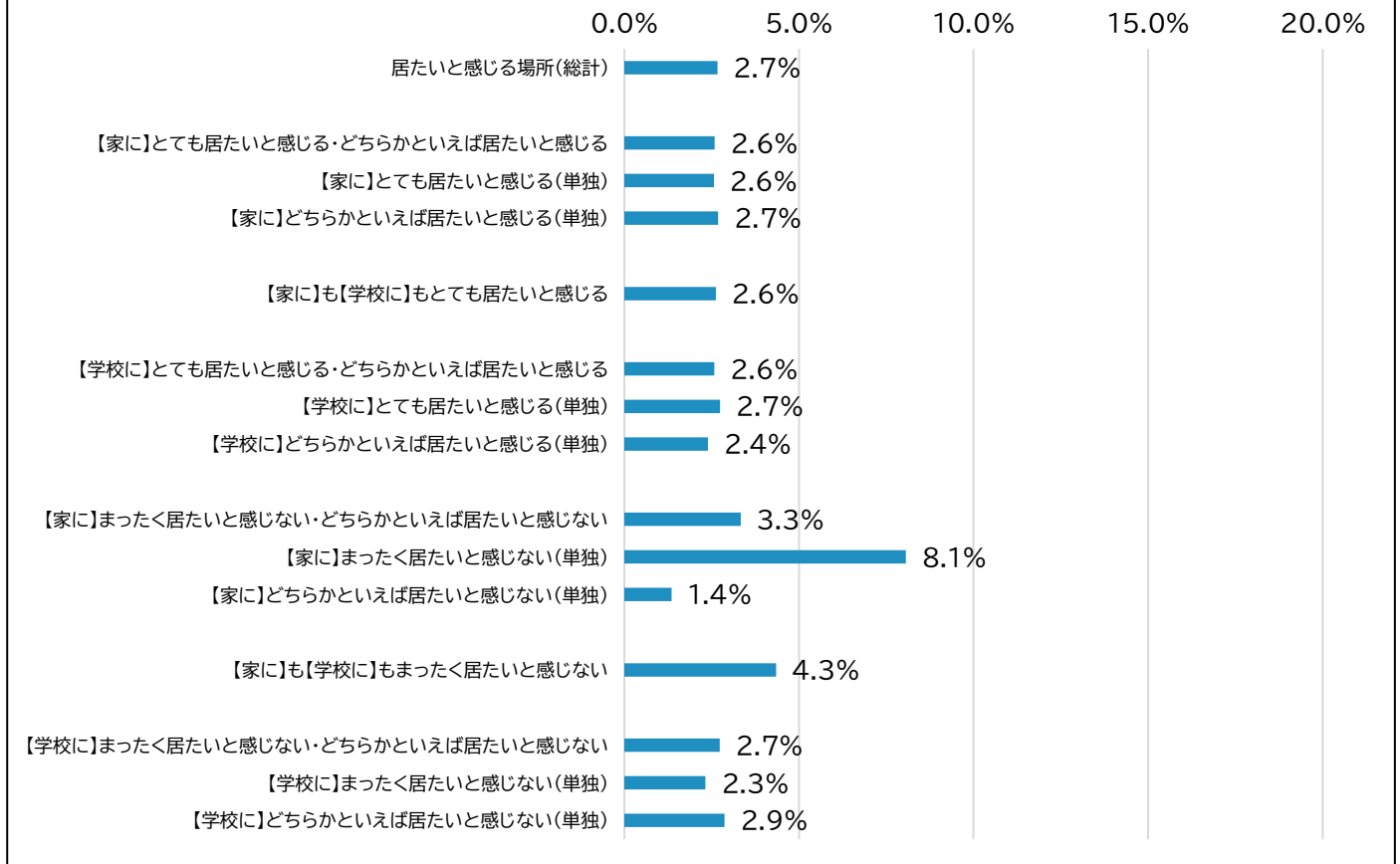
何かに夢中になれる



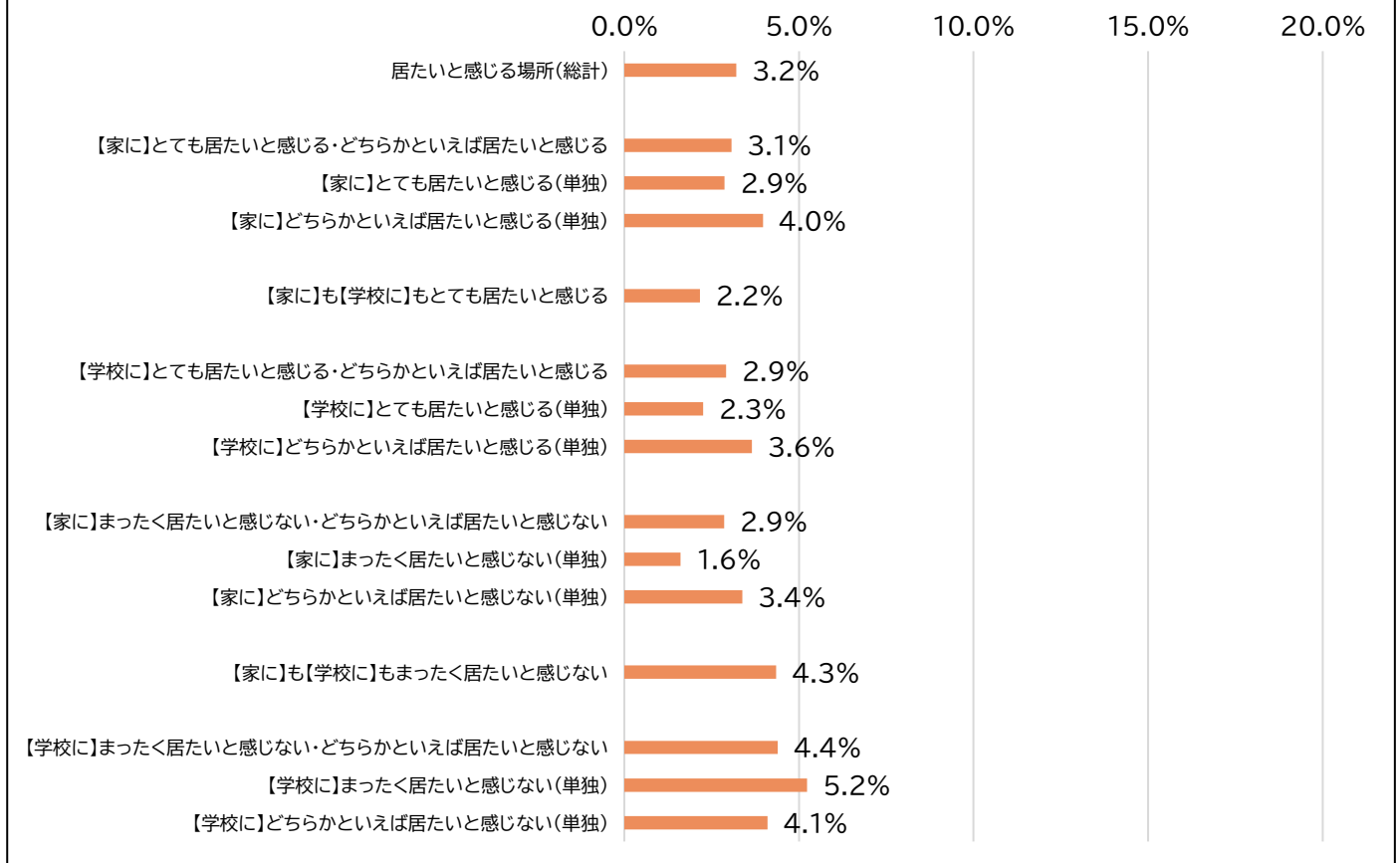
自分に自信がもてる



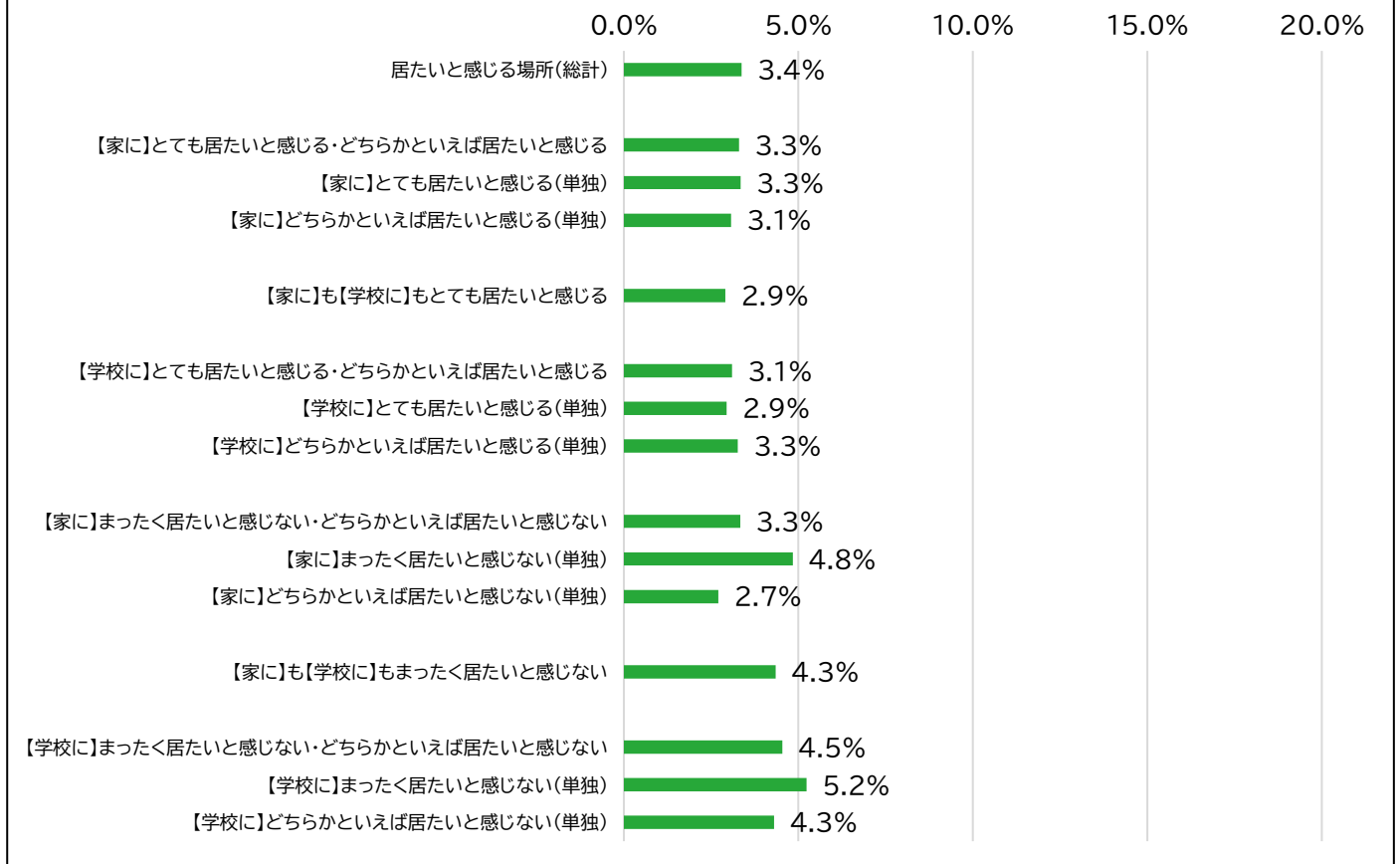
プライバシーが守られている



人を気にしなくてよい

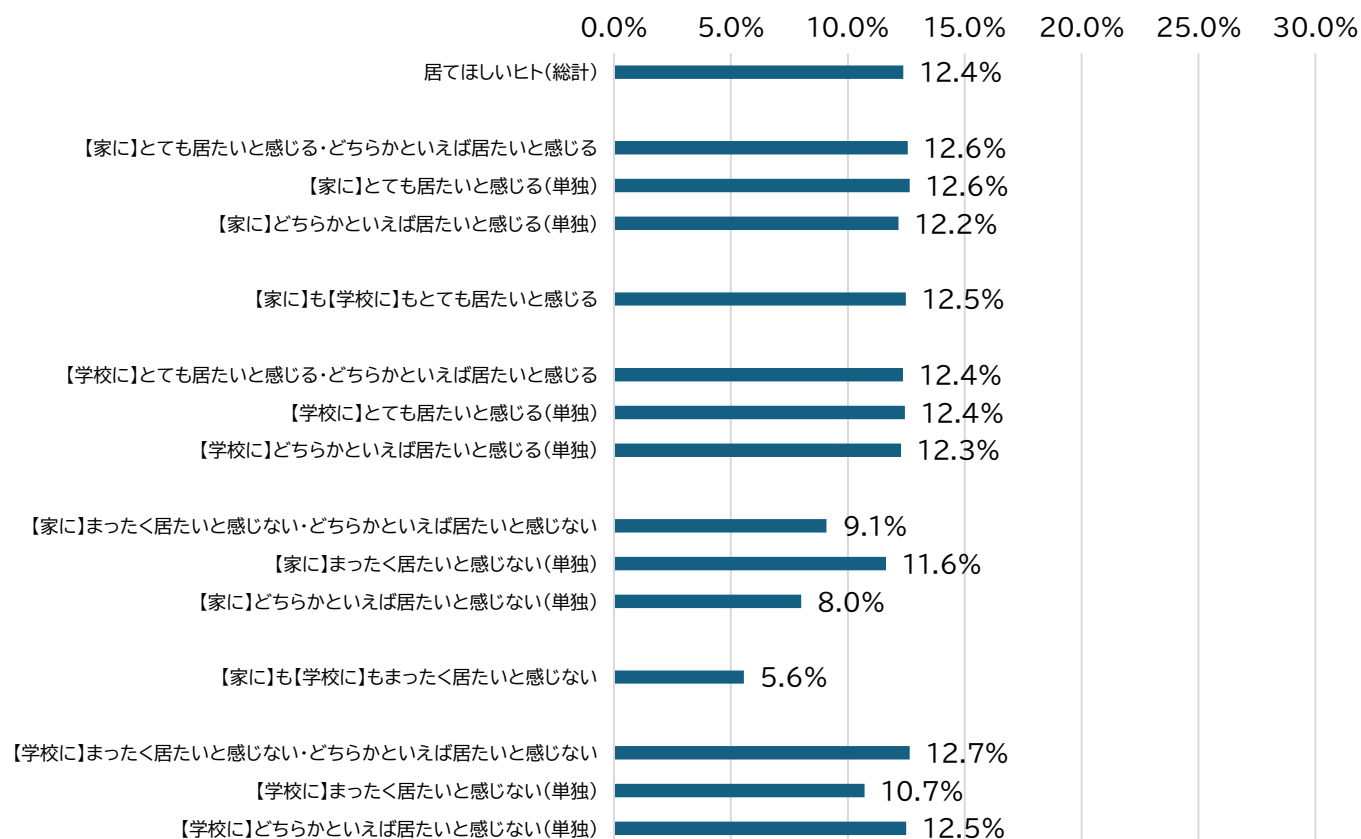


静かさがちょうどよい

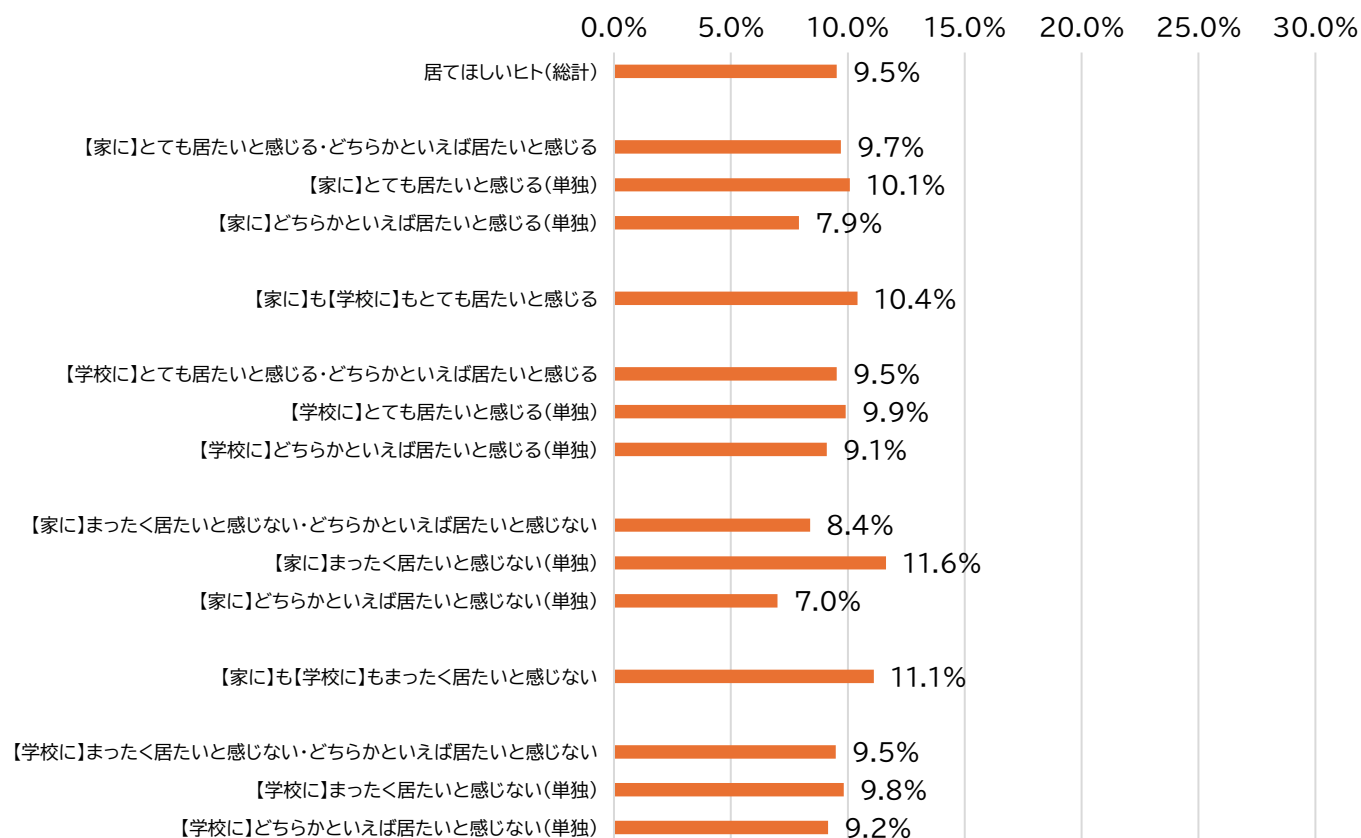


クロス分析【居てほしいヒト別（割合の比較）】

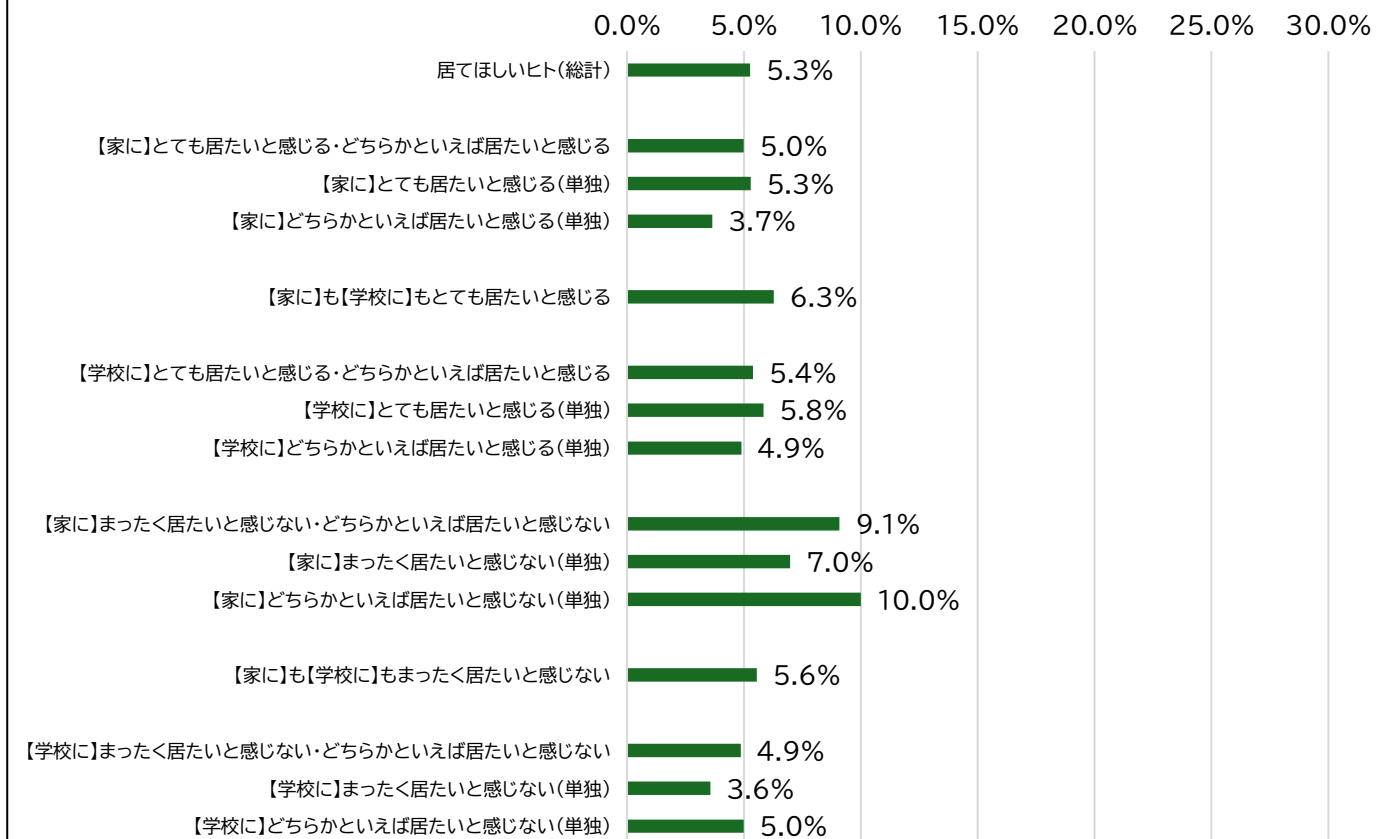
話をよくきいてくれる人



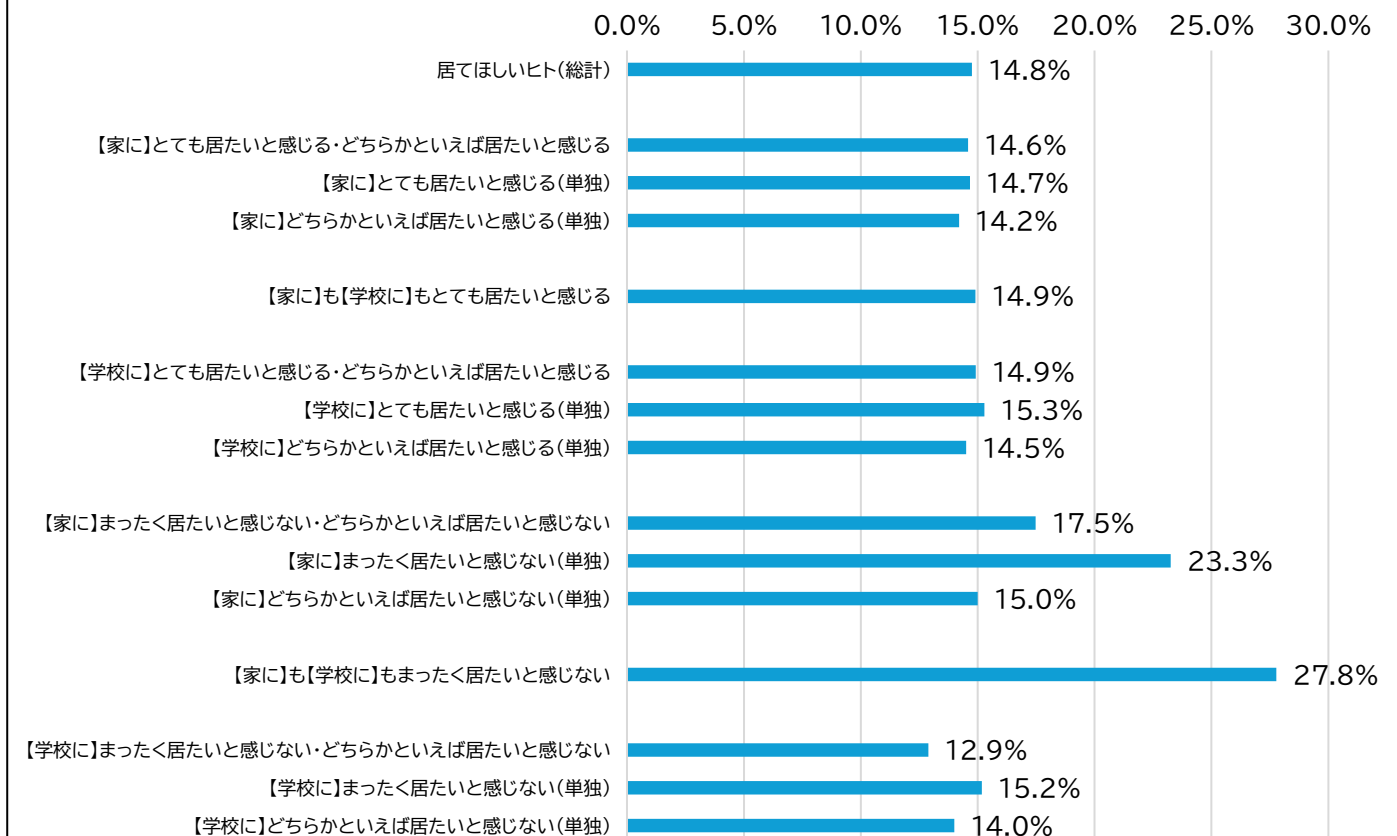
ほめてくれたり、認めてくれたりする人



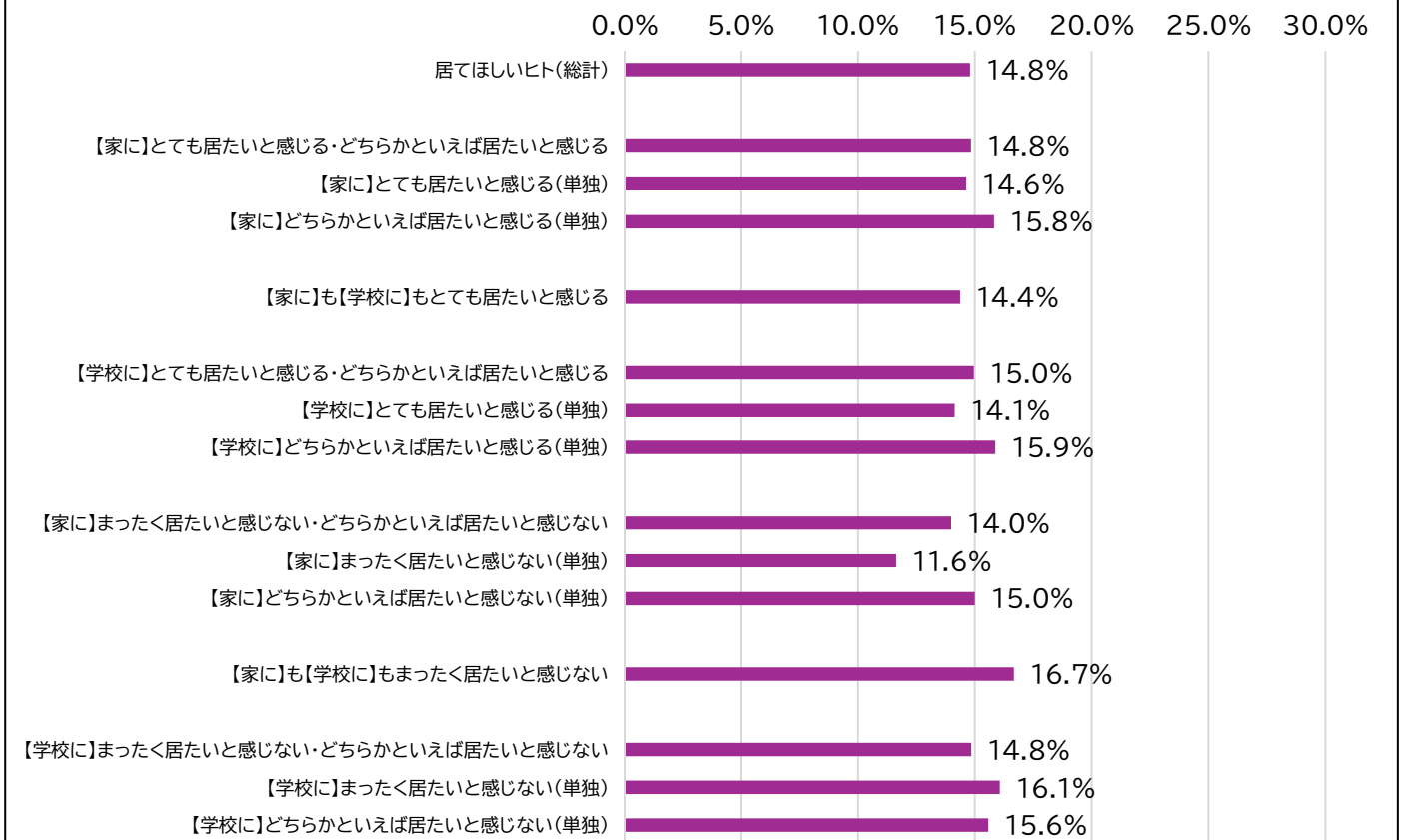
名前で呼んでくれる人



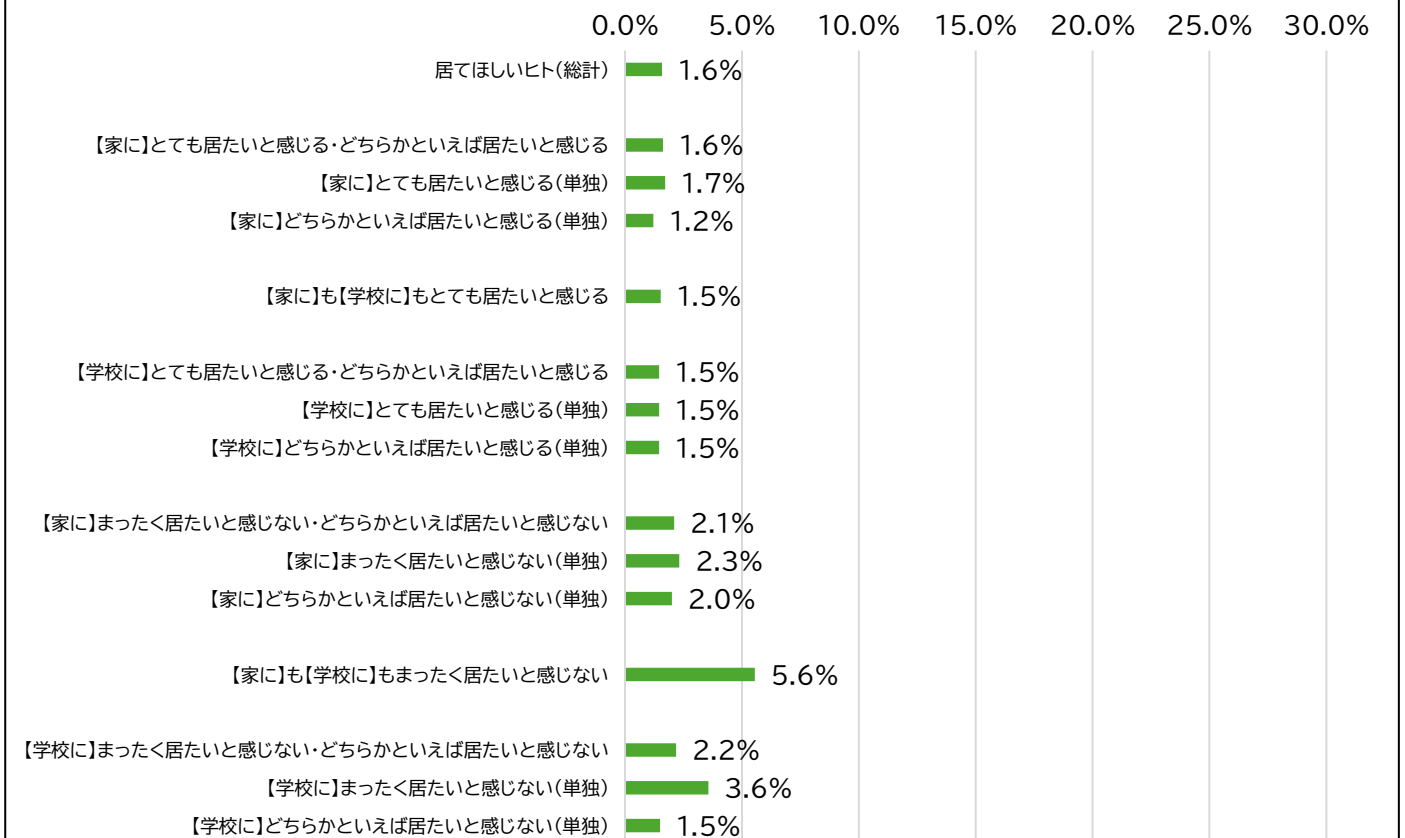
やさしくて、明るい人



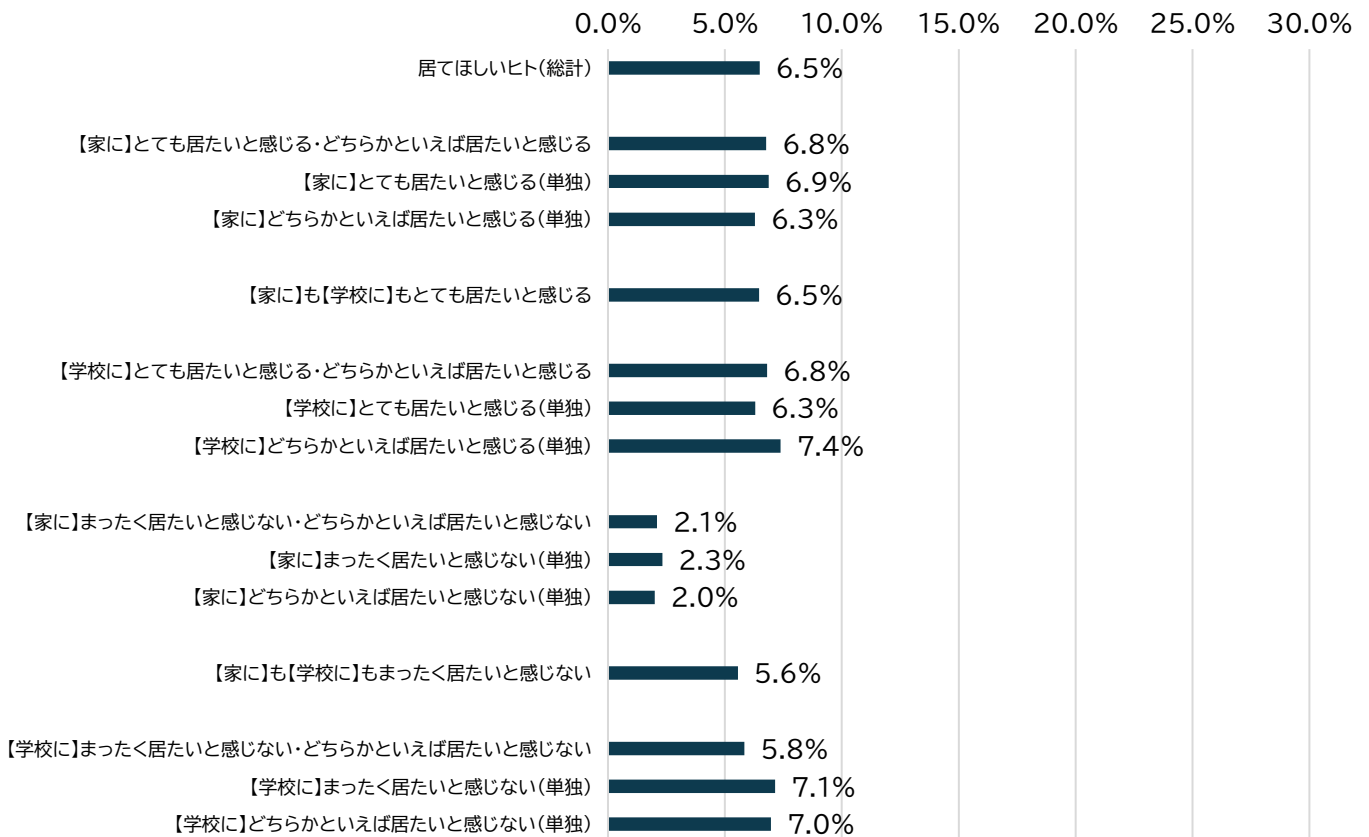
おもしろくて、楽しい人



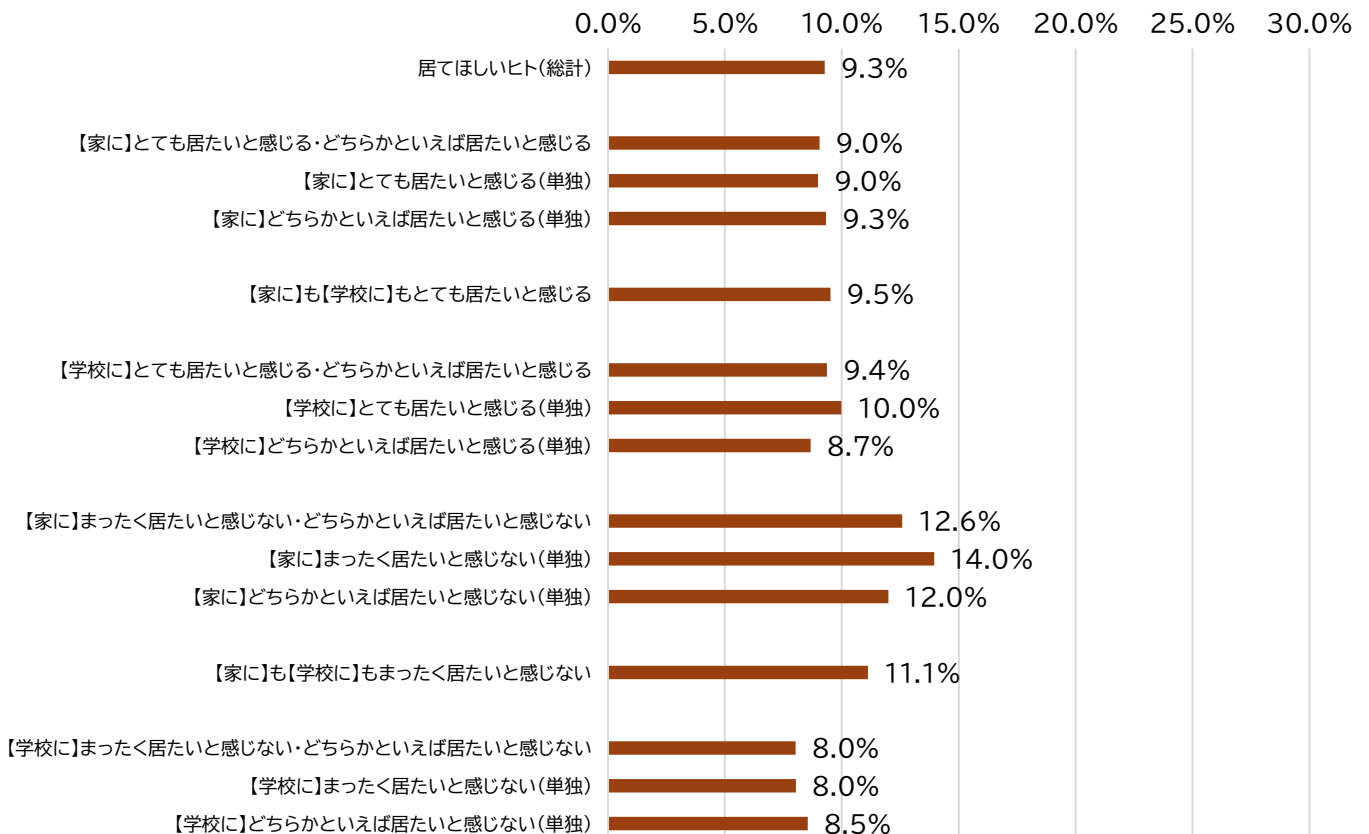
自分の家の近くに住んでいる人



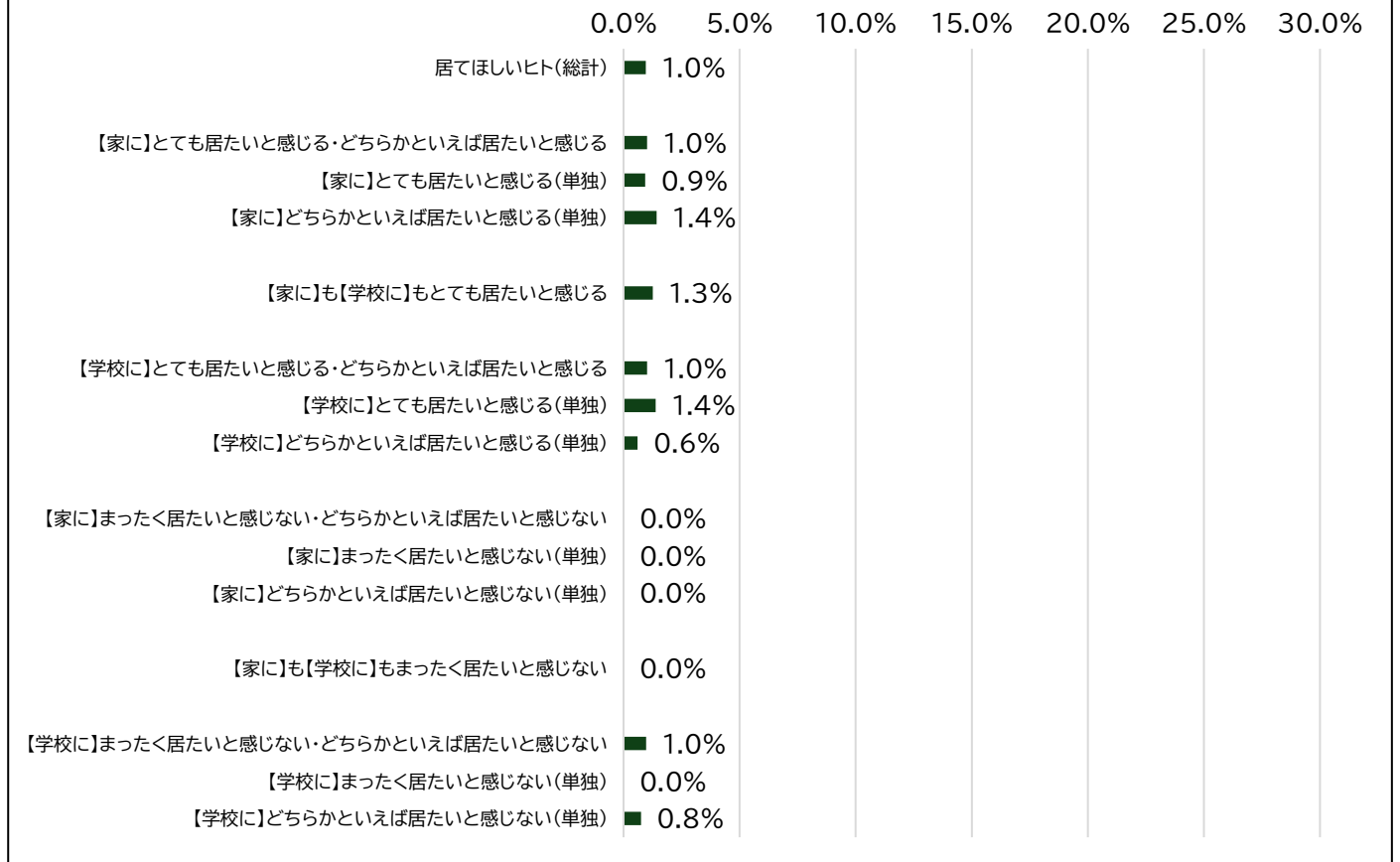
親しみやすい人



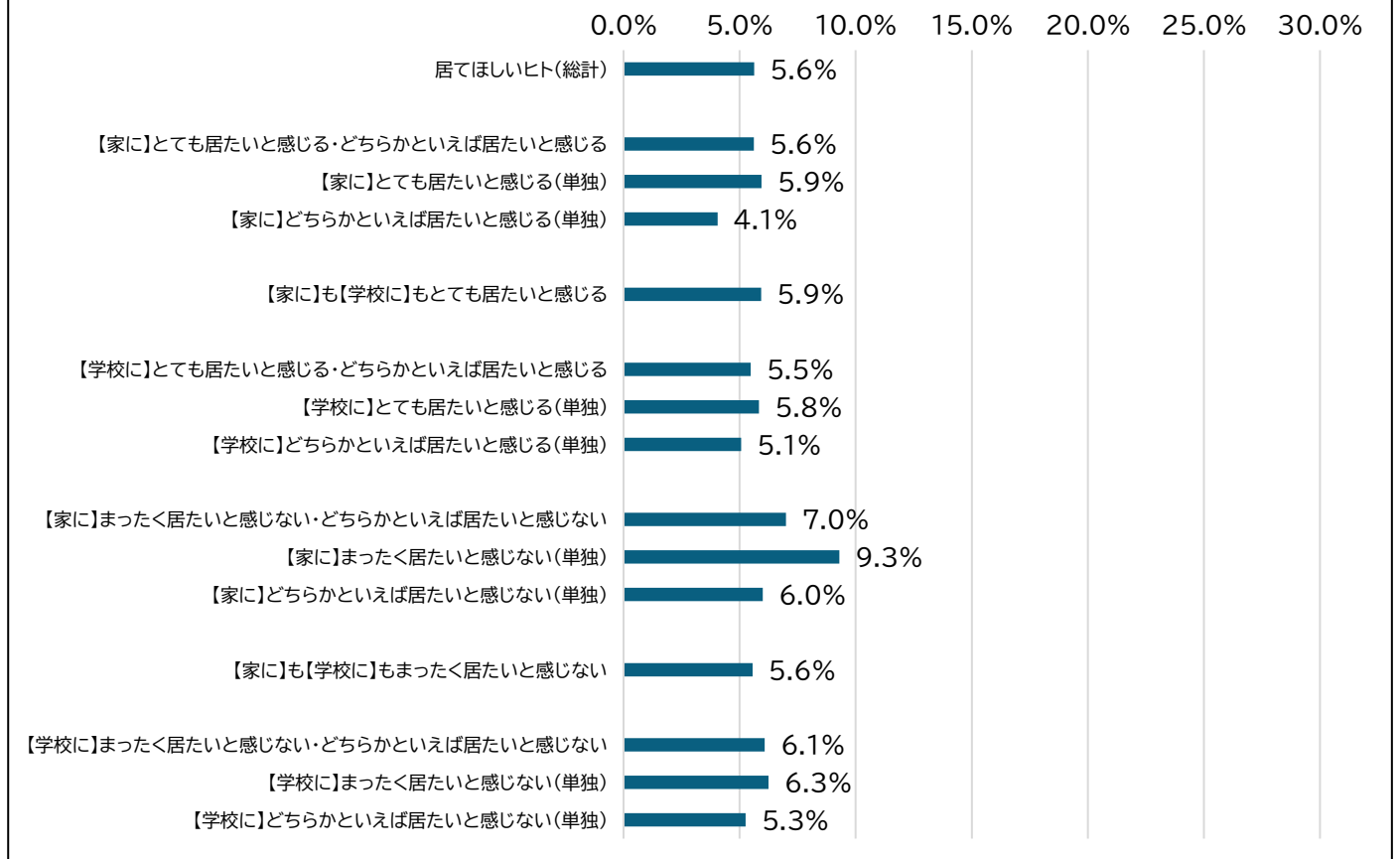
一緒に遊んでくれる人



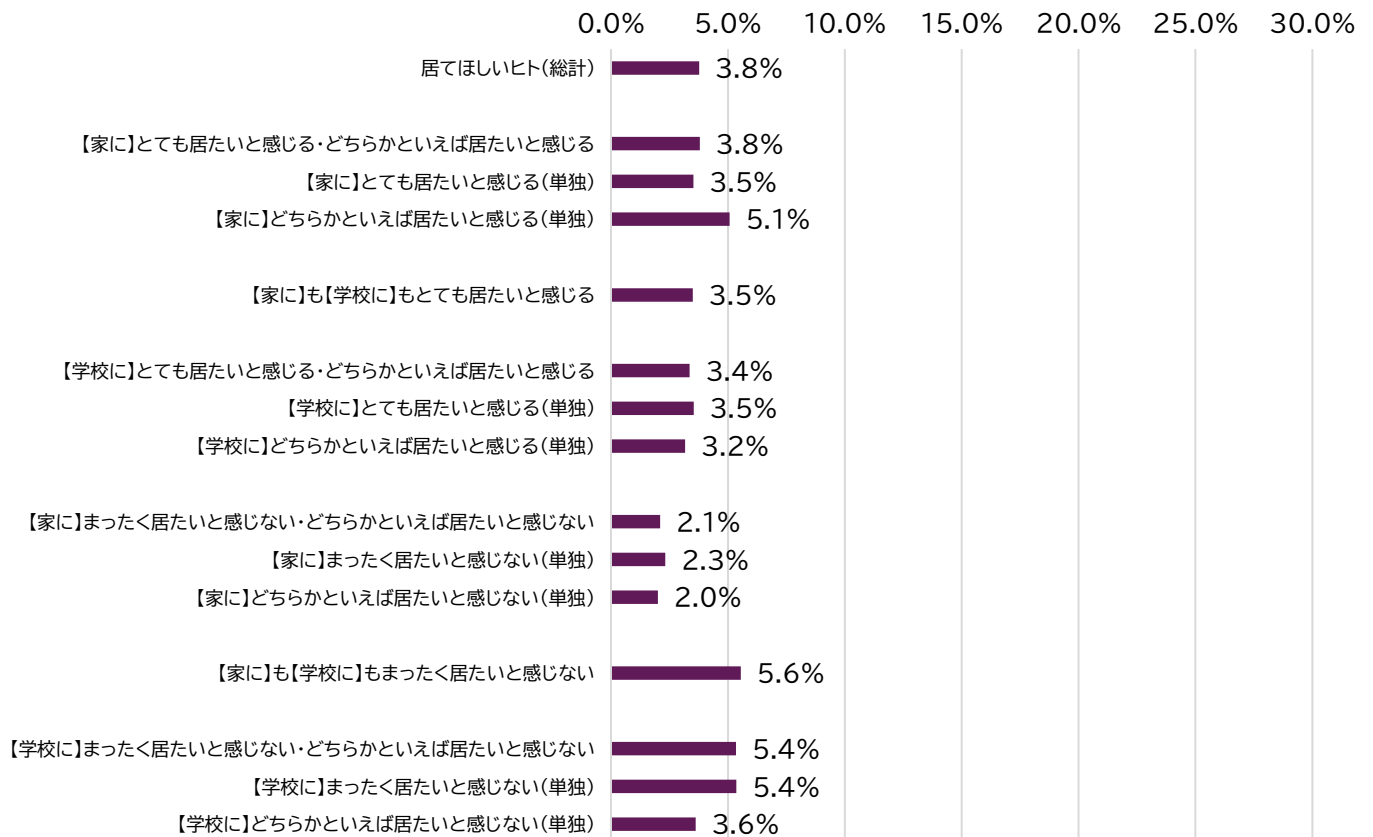
手話や外国語ができる人



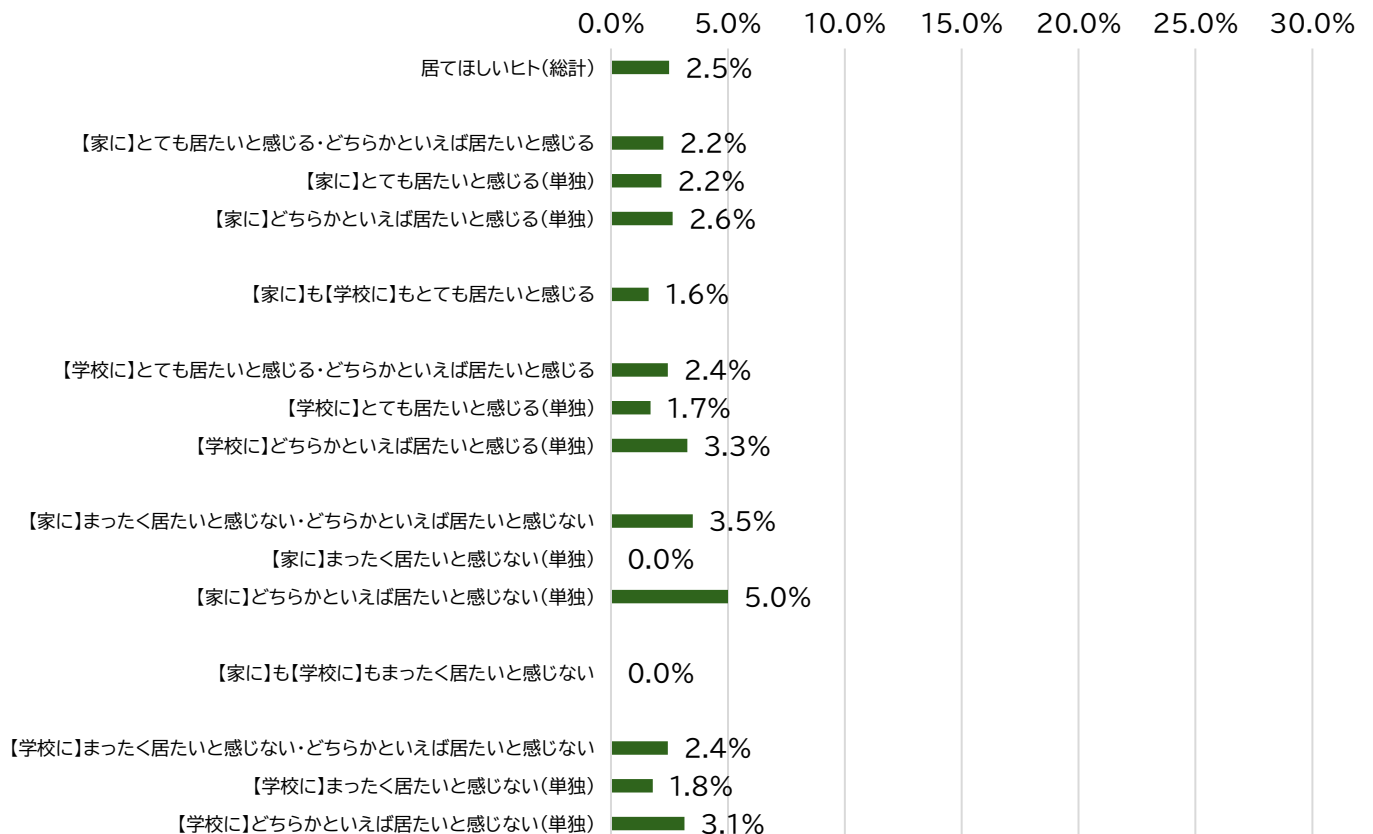
応援してくれたり、協力してくれたりする人



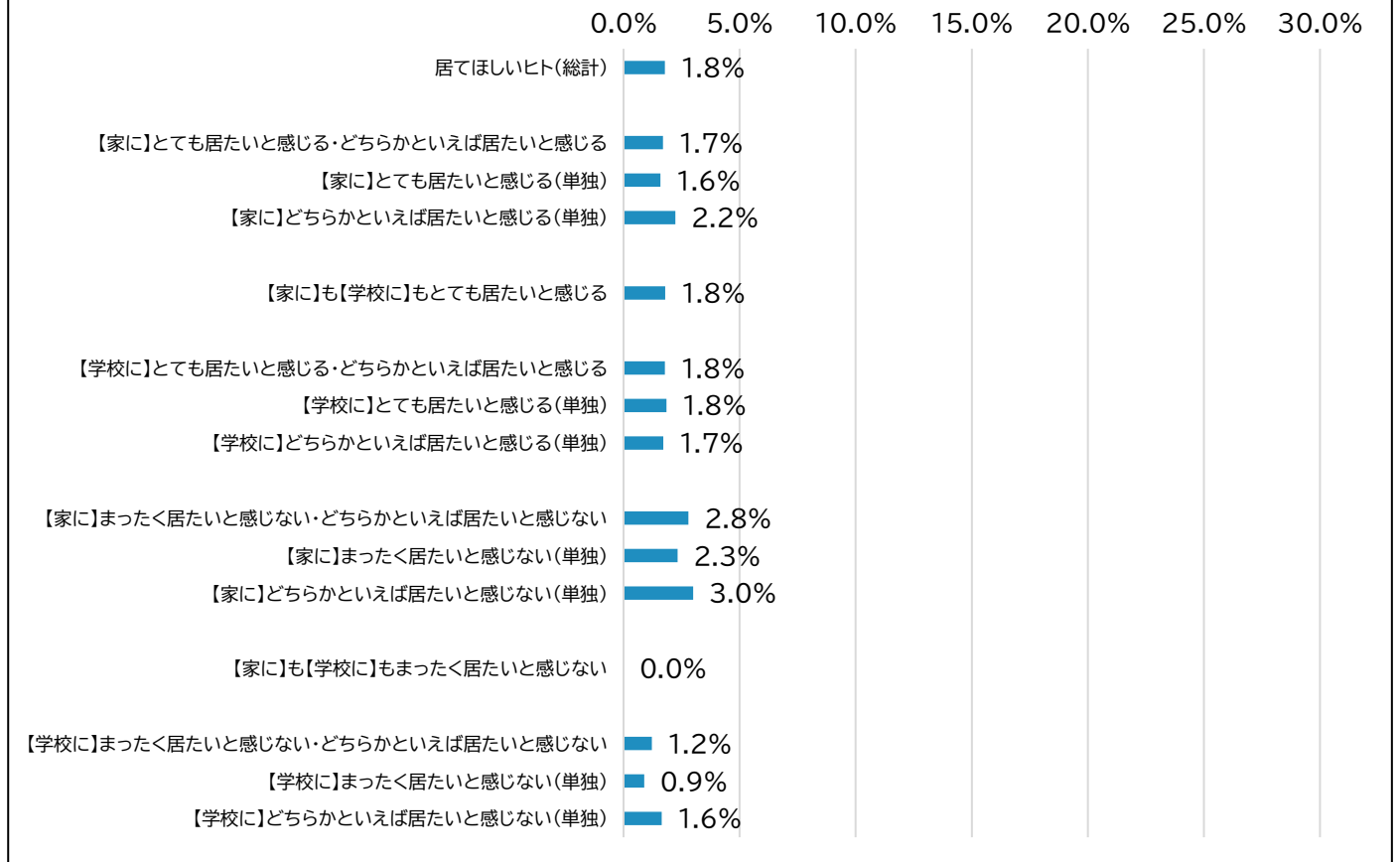
勉強を教えてくれる人



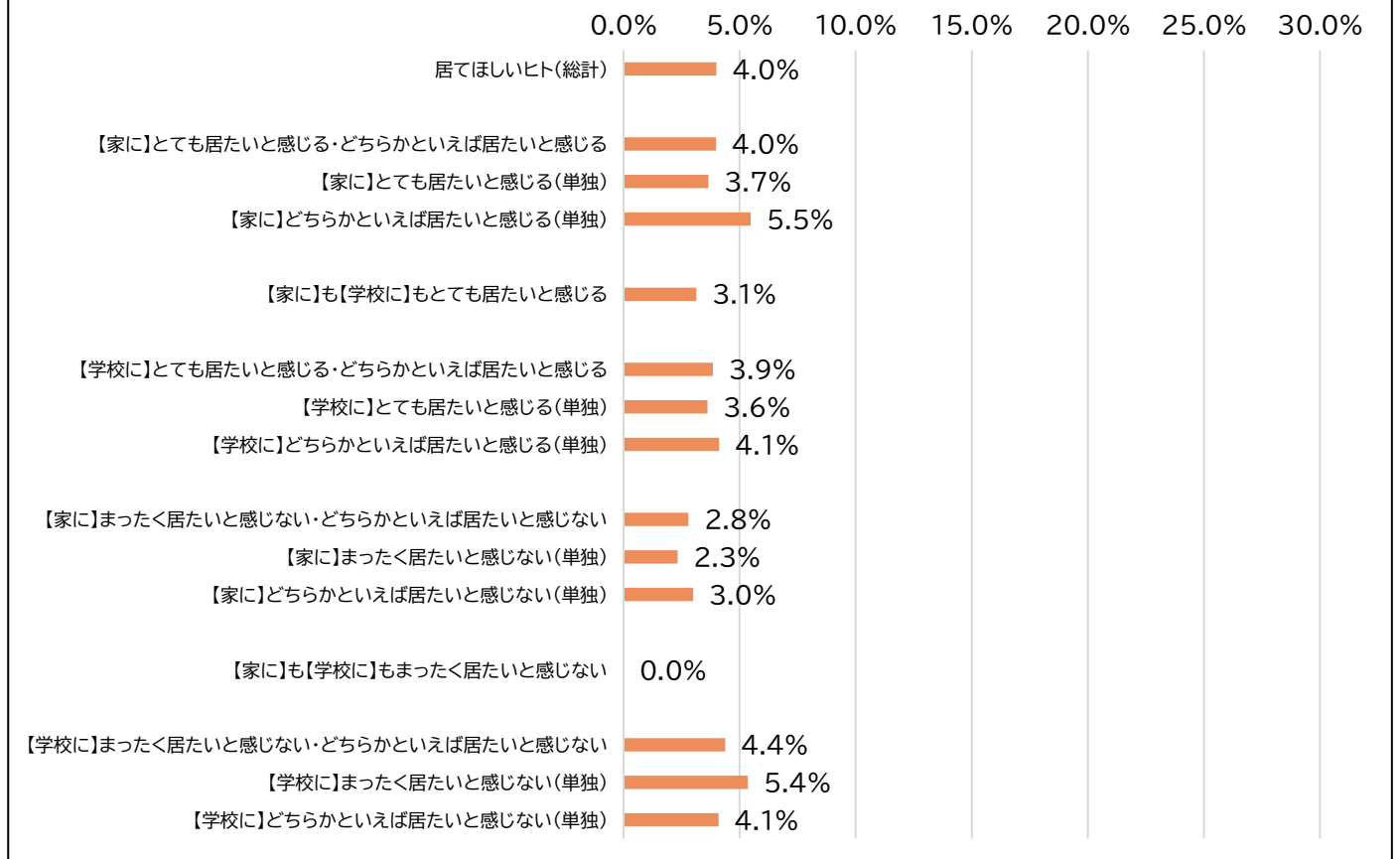
自分と同じような気持ちや悩みをもっている人



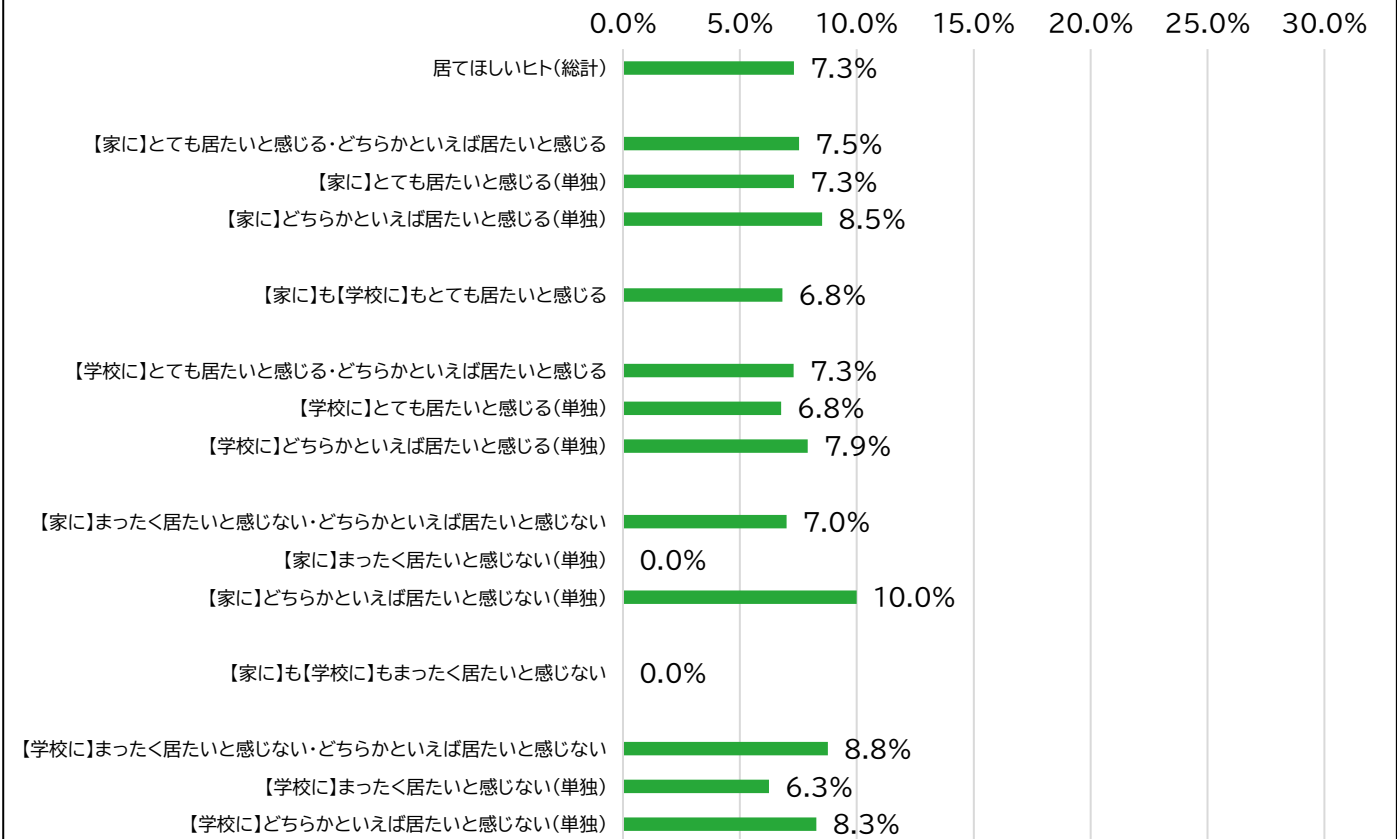
友だちを増やしてくれる人



そっと見守ってくれる人

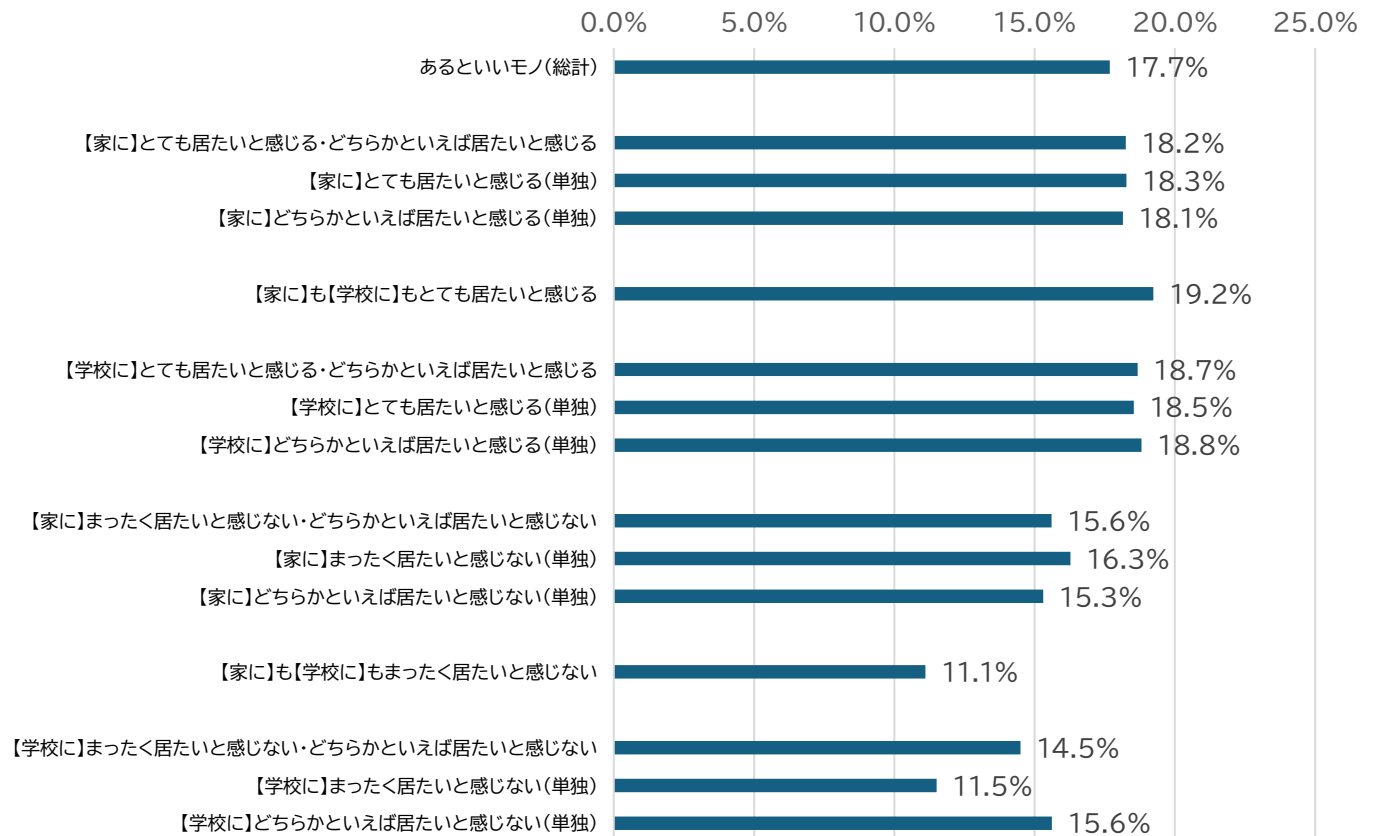


同じような趣味をもつ人

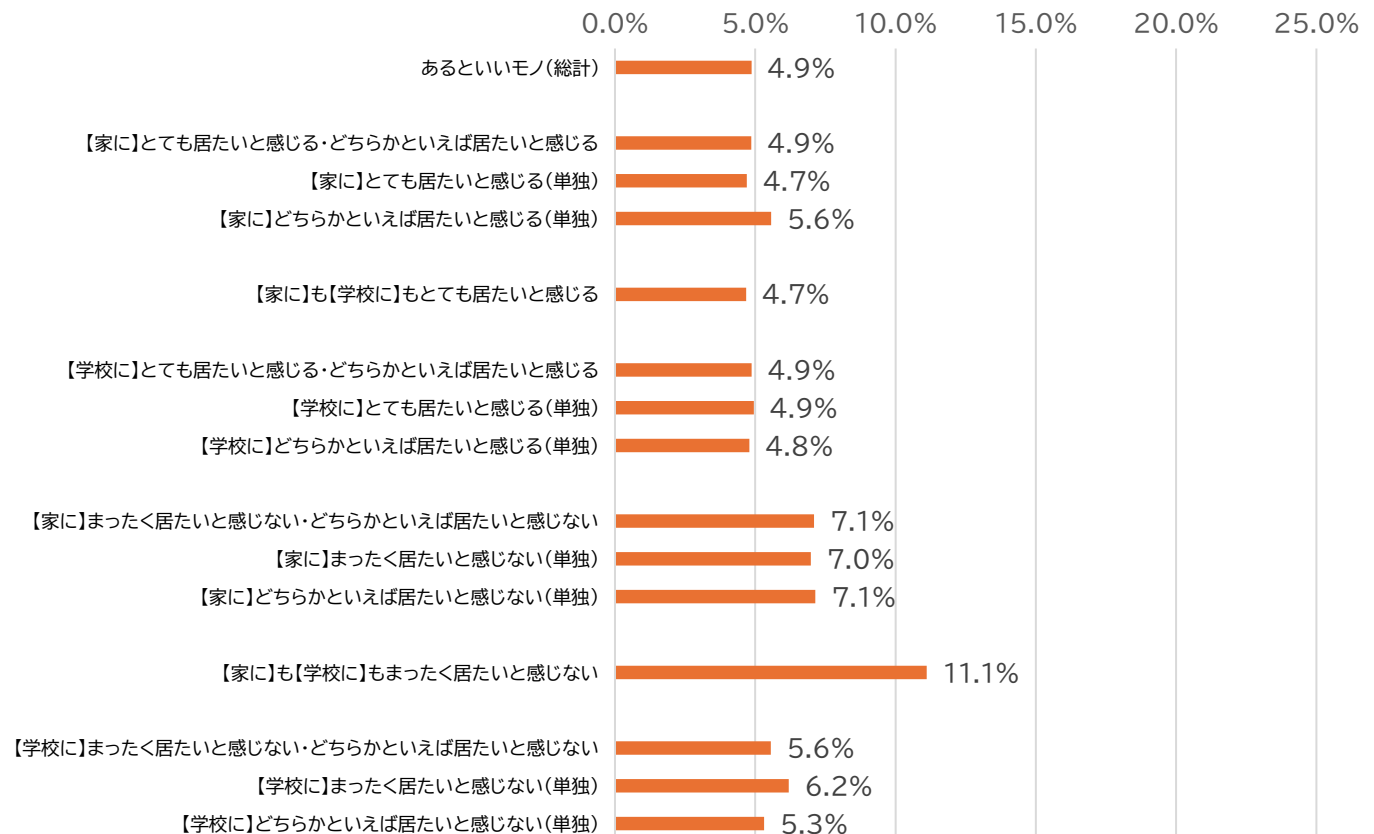


クロス分析【あるといいモノ別（割合の比較）】

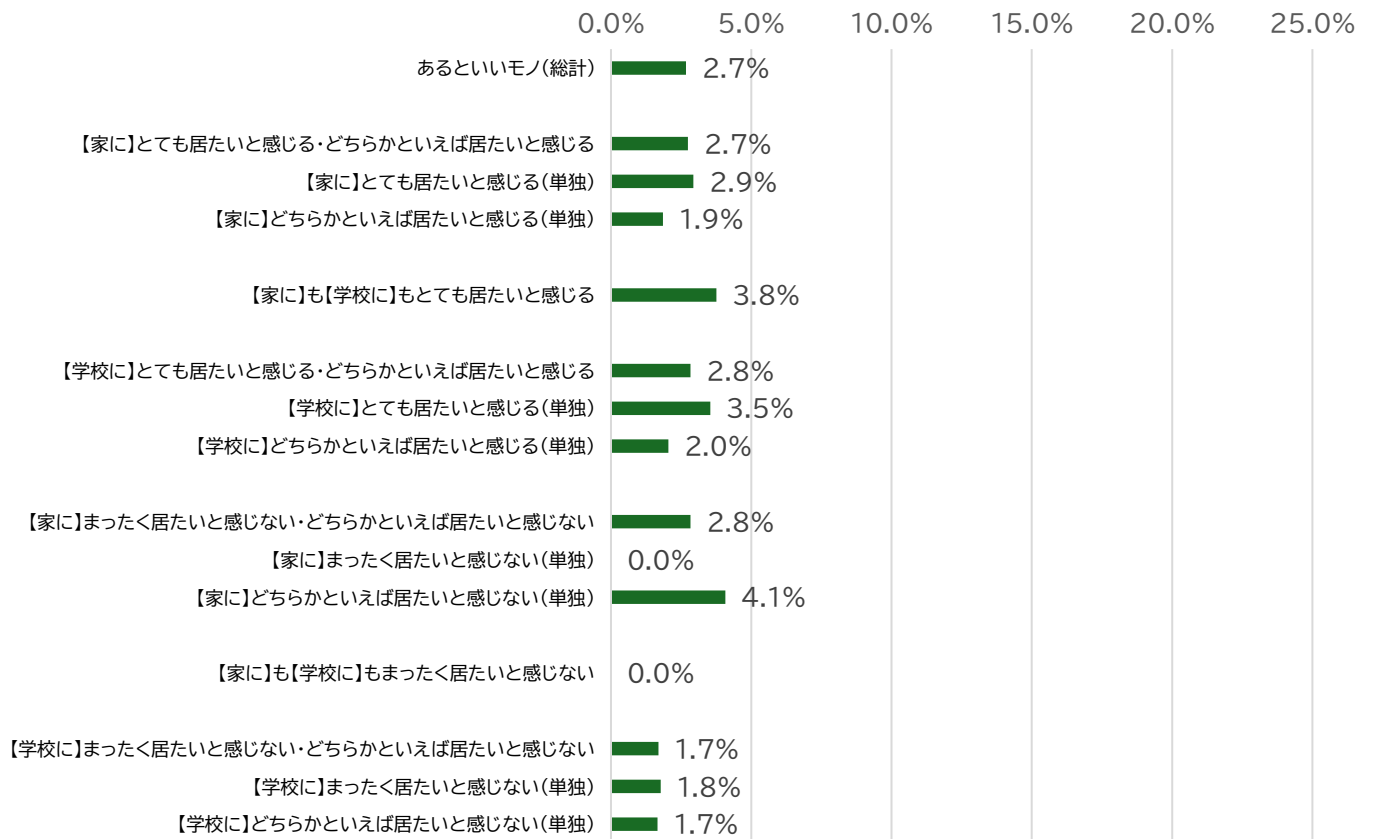
趣味をみんなで楽しめる所



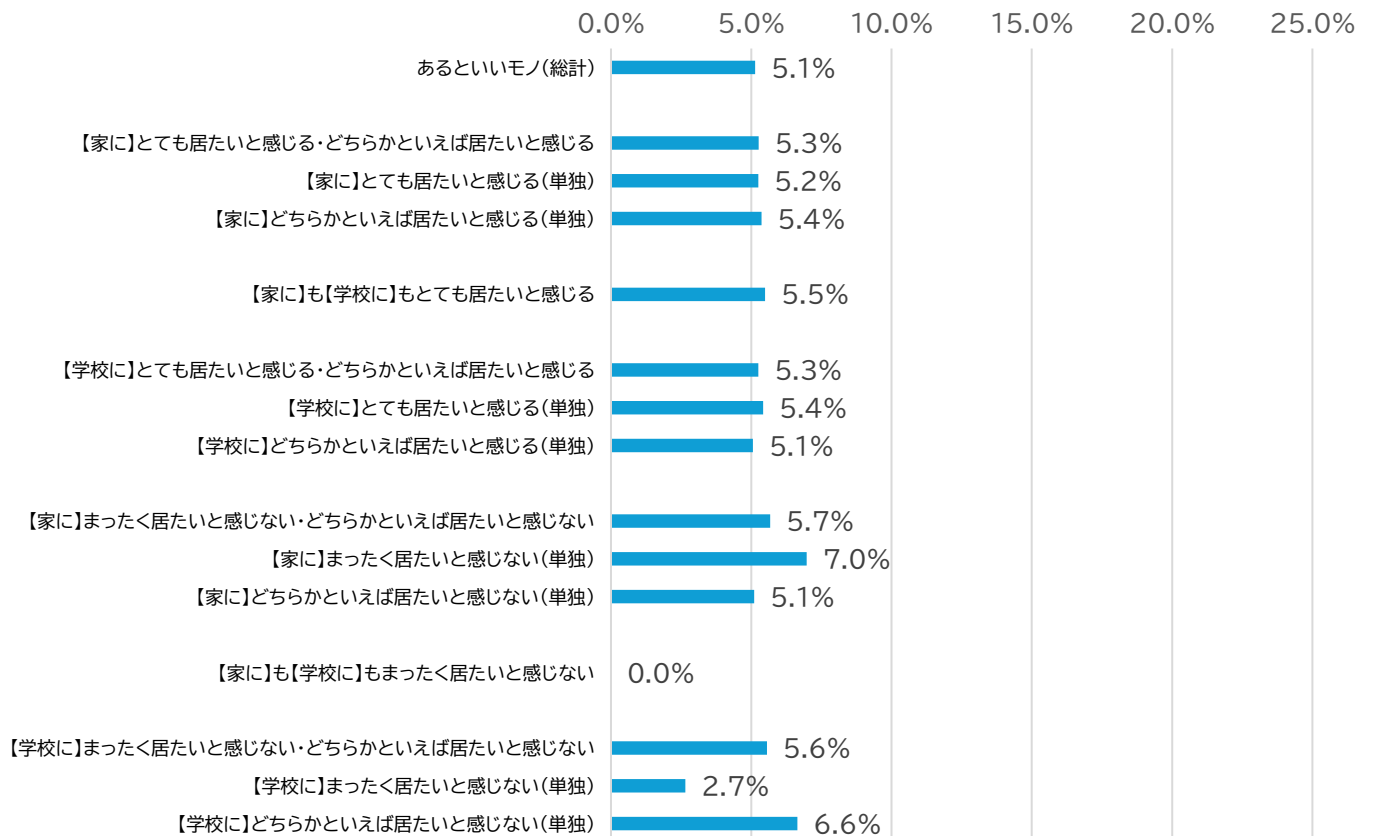
いろいろな人とメッセージをやりとりできるもの



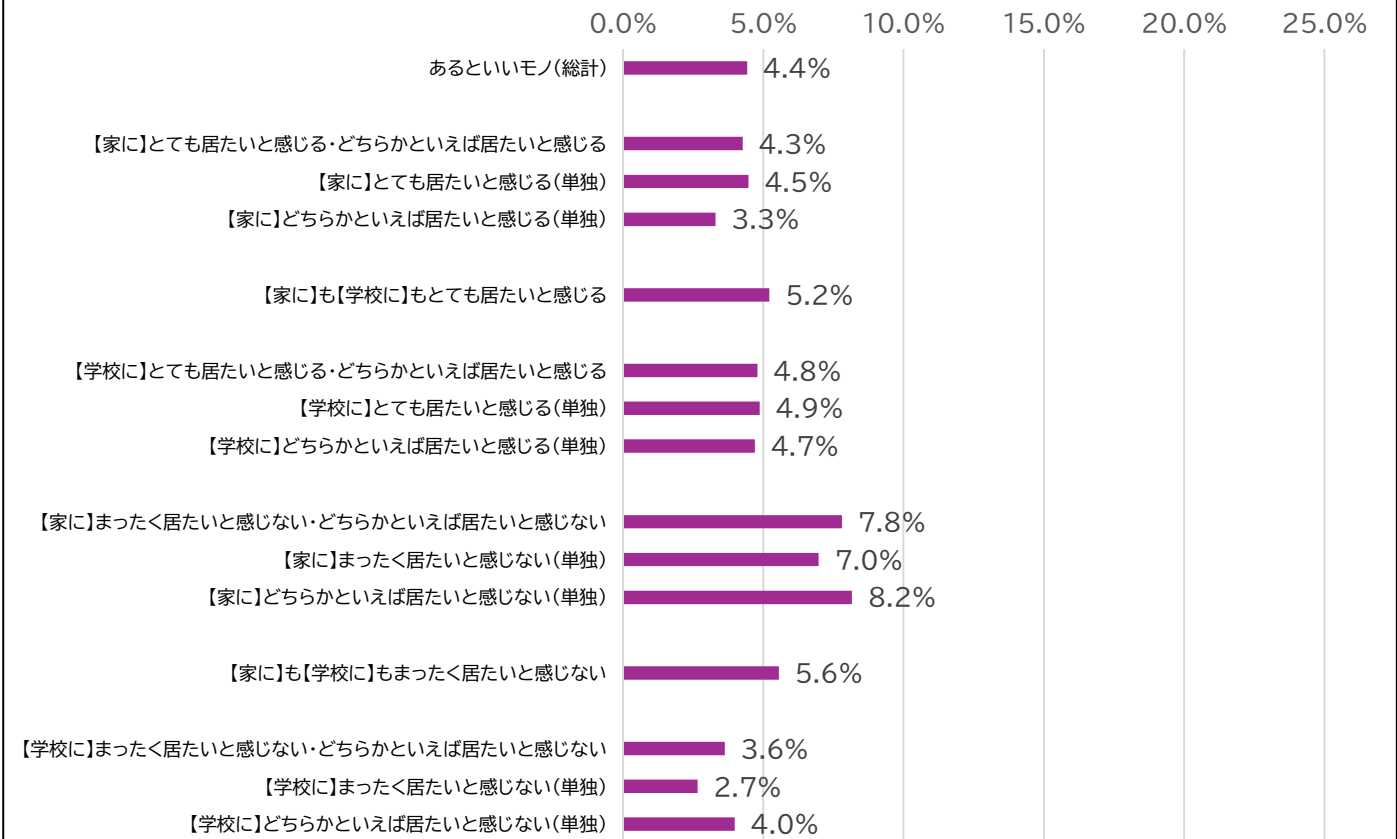
気持ちや意見を書いて伝えられる箱



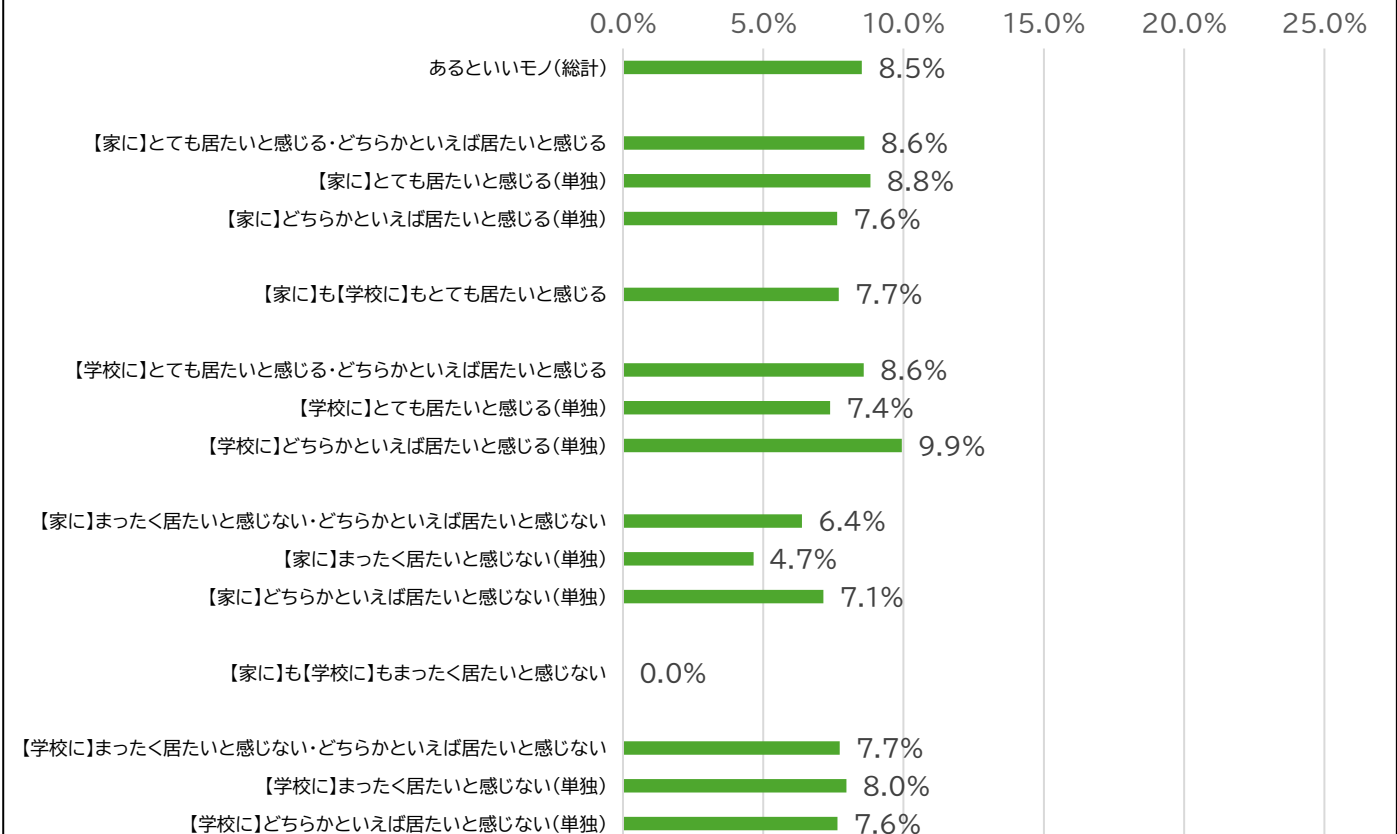
心地よい音楽がいつも流れている



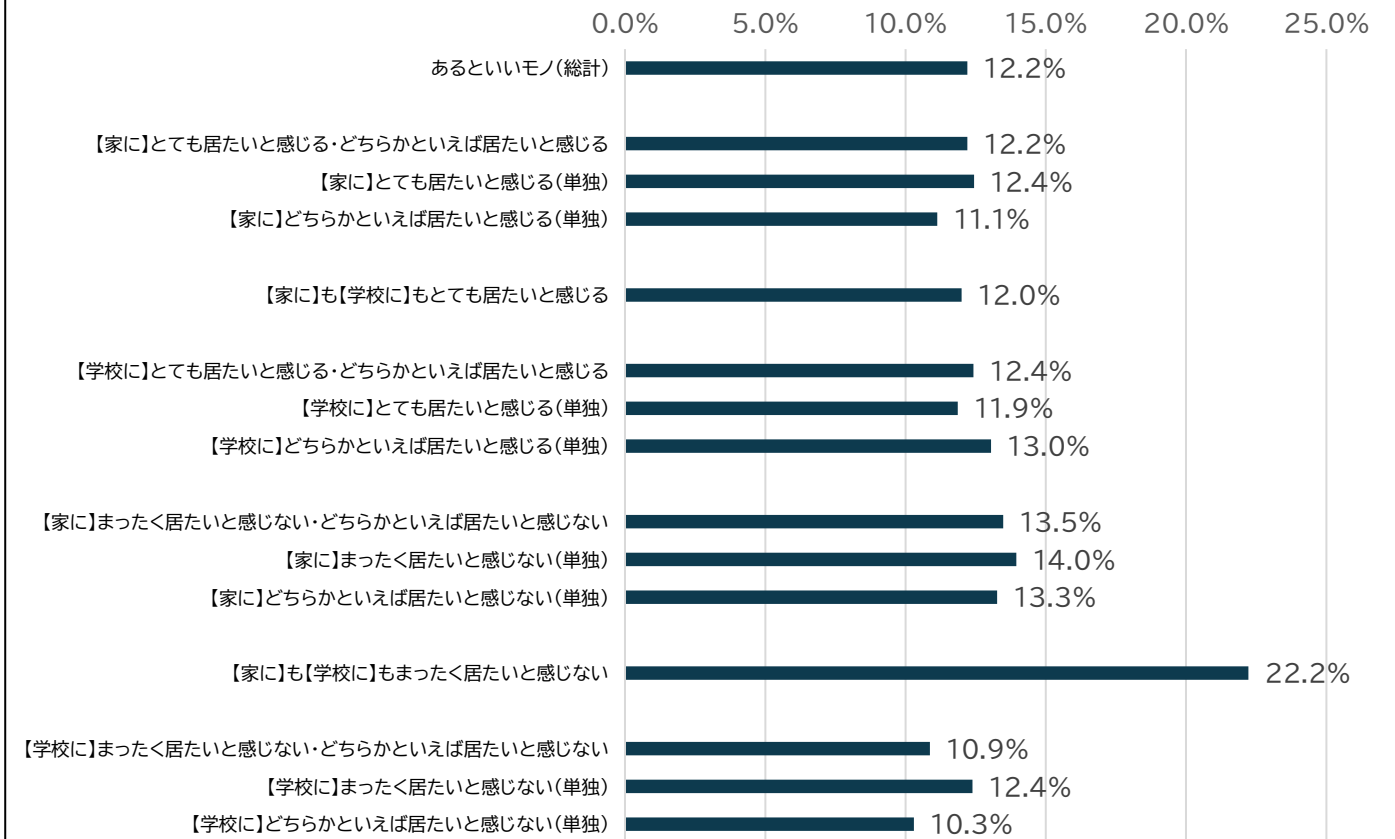
外の遊具やベンチ



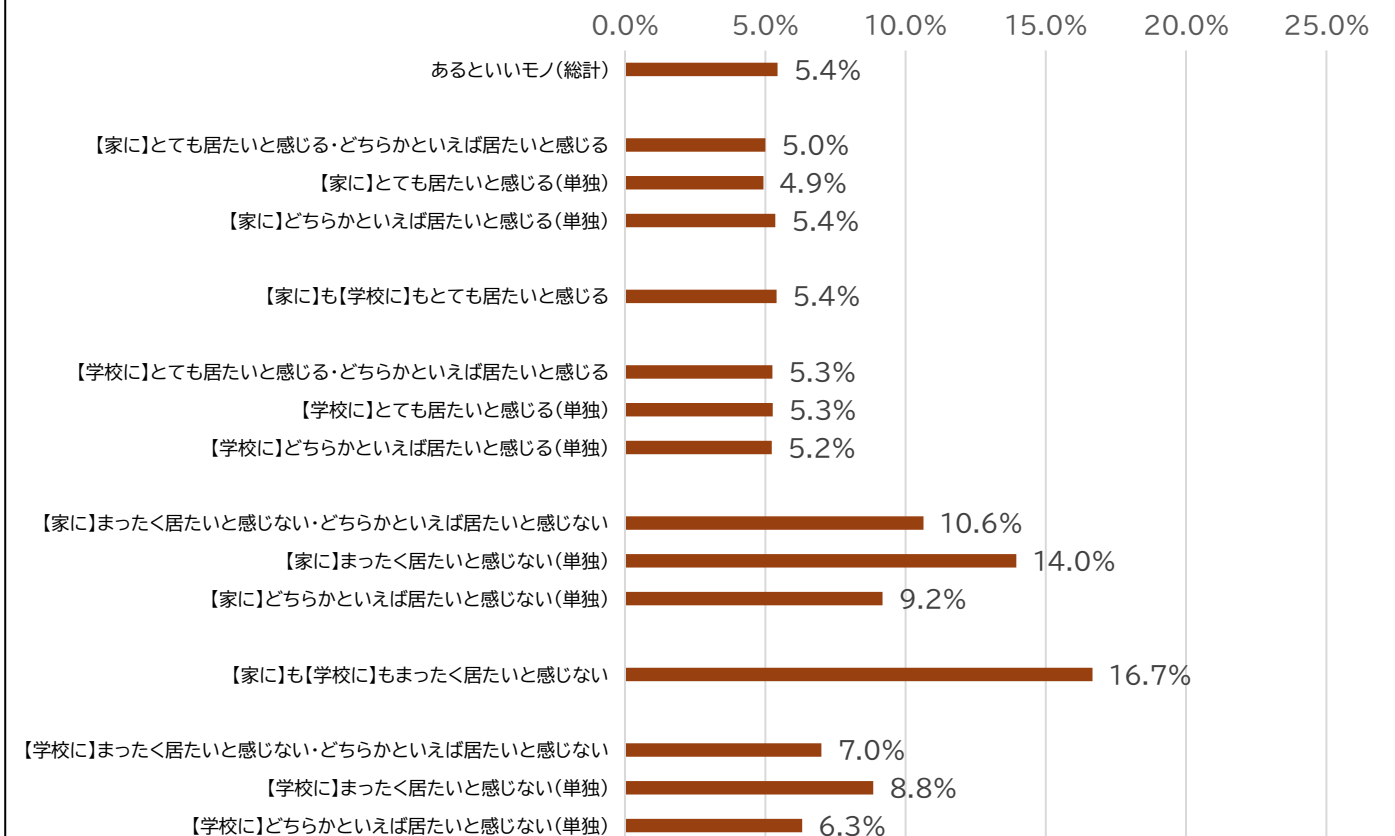
ゆったり座れる椅子やソファ



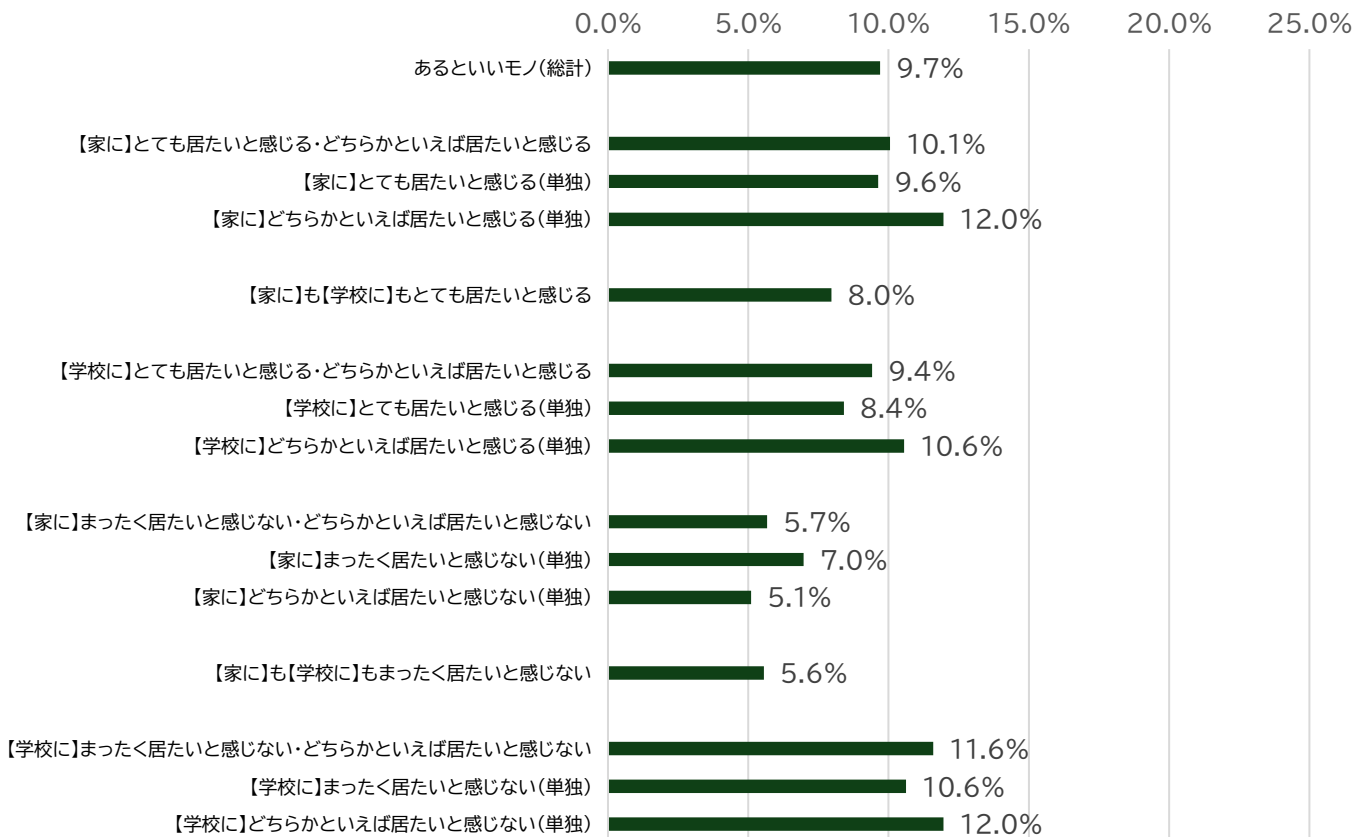
自由に食べたり飲んだりできる所



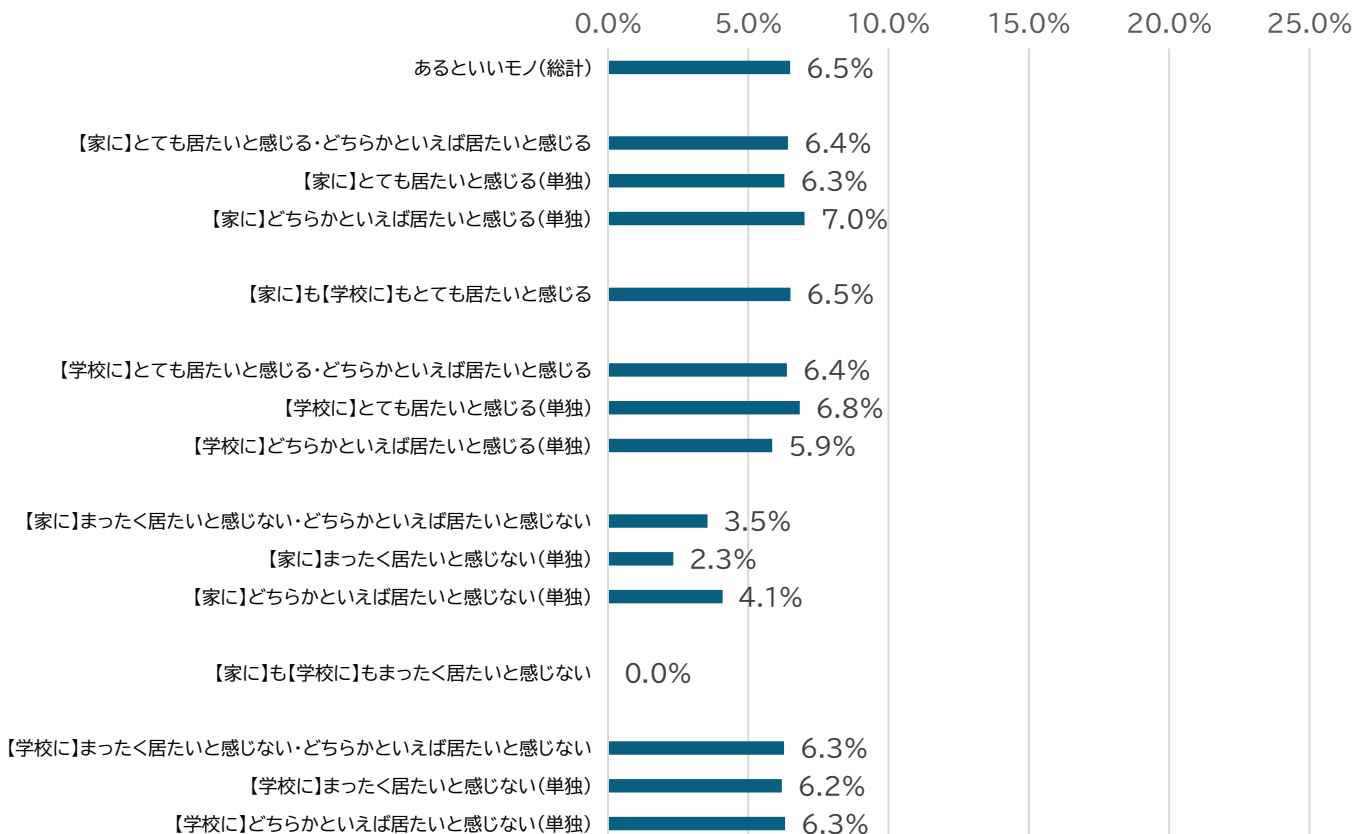
食べ物や飲み物が買える店



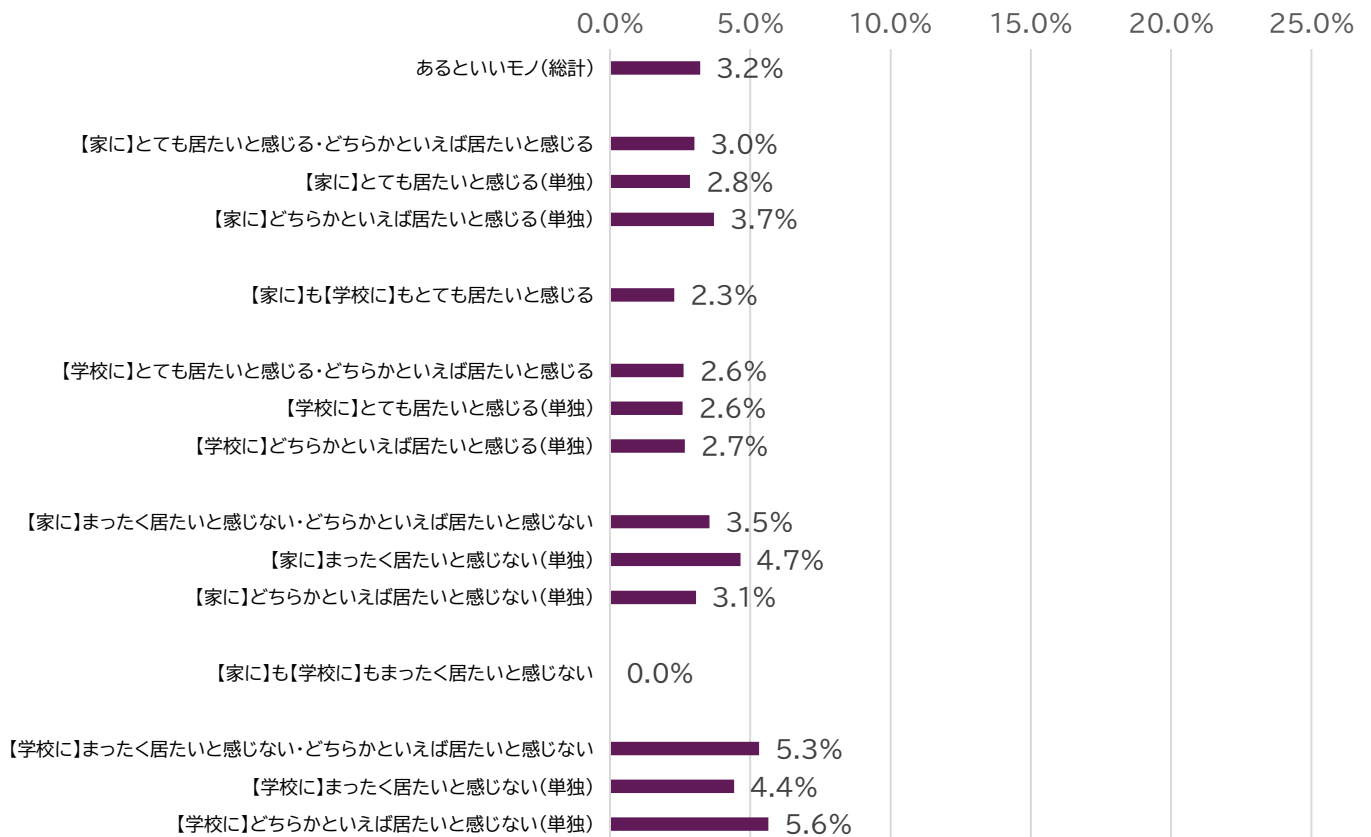
フリーWi-Fiや自由に使えるパソコン



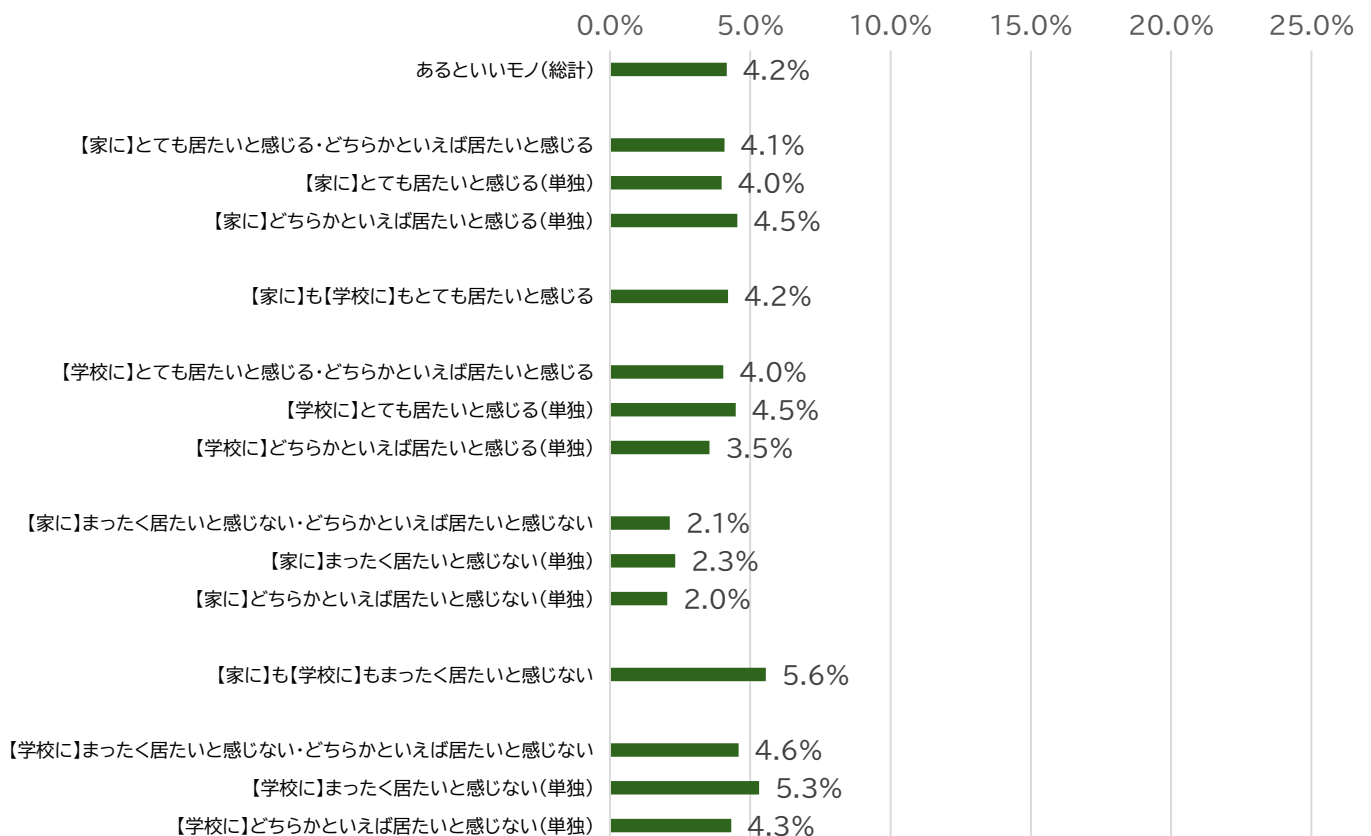
本・マンガ・雑誌



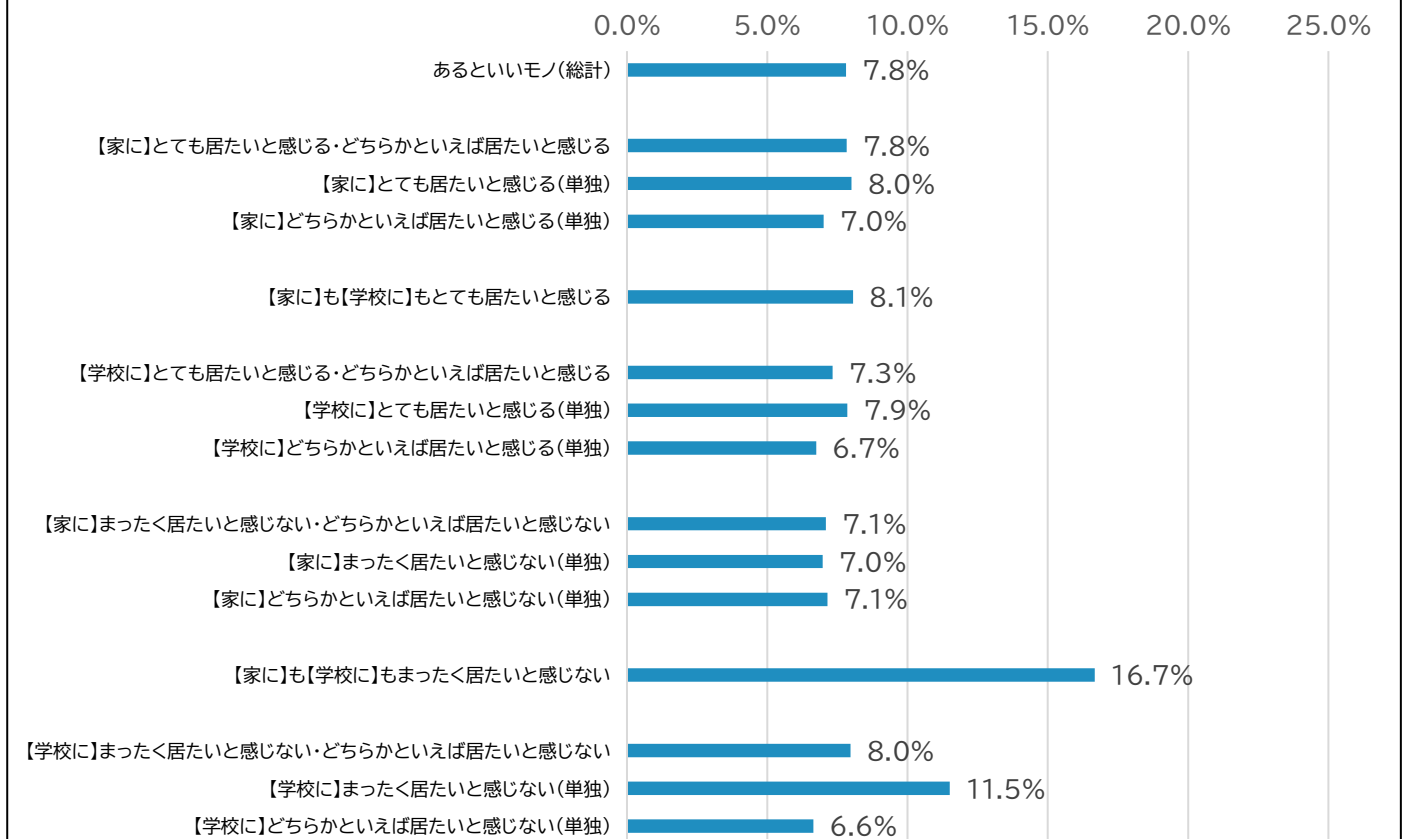
一人でいられる所



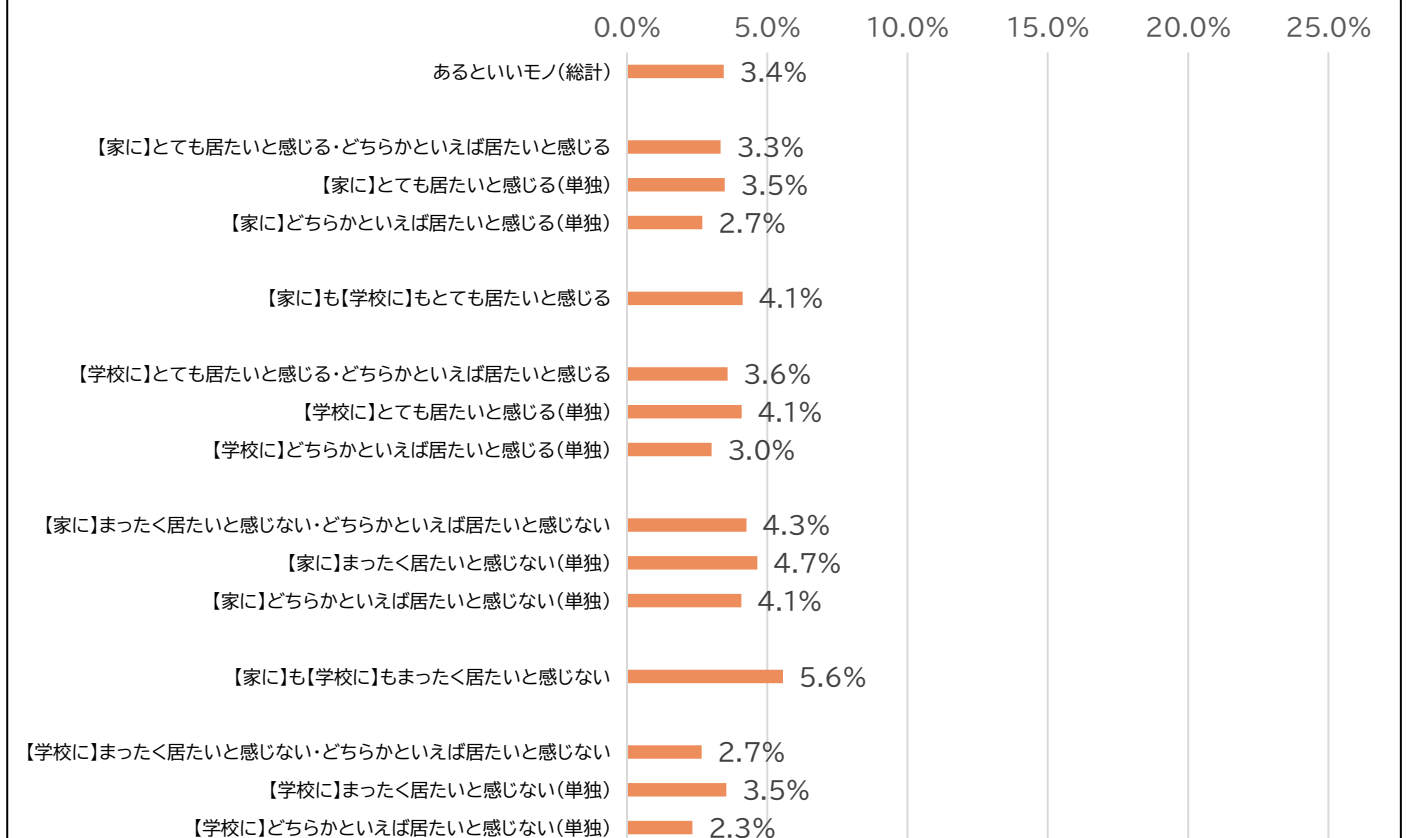
勉強ができる所



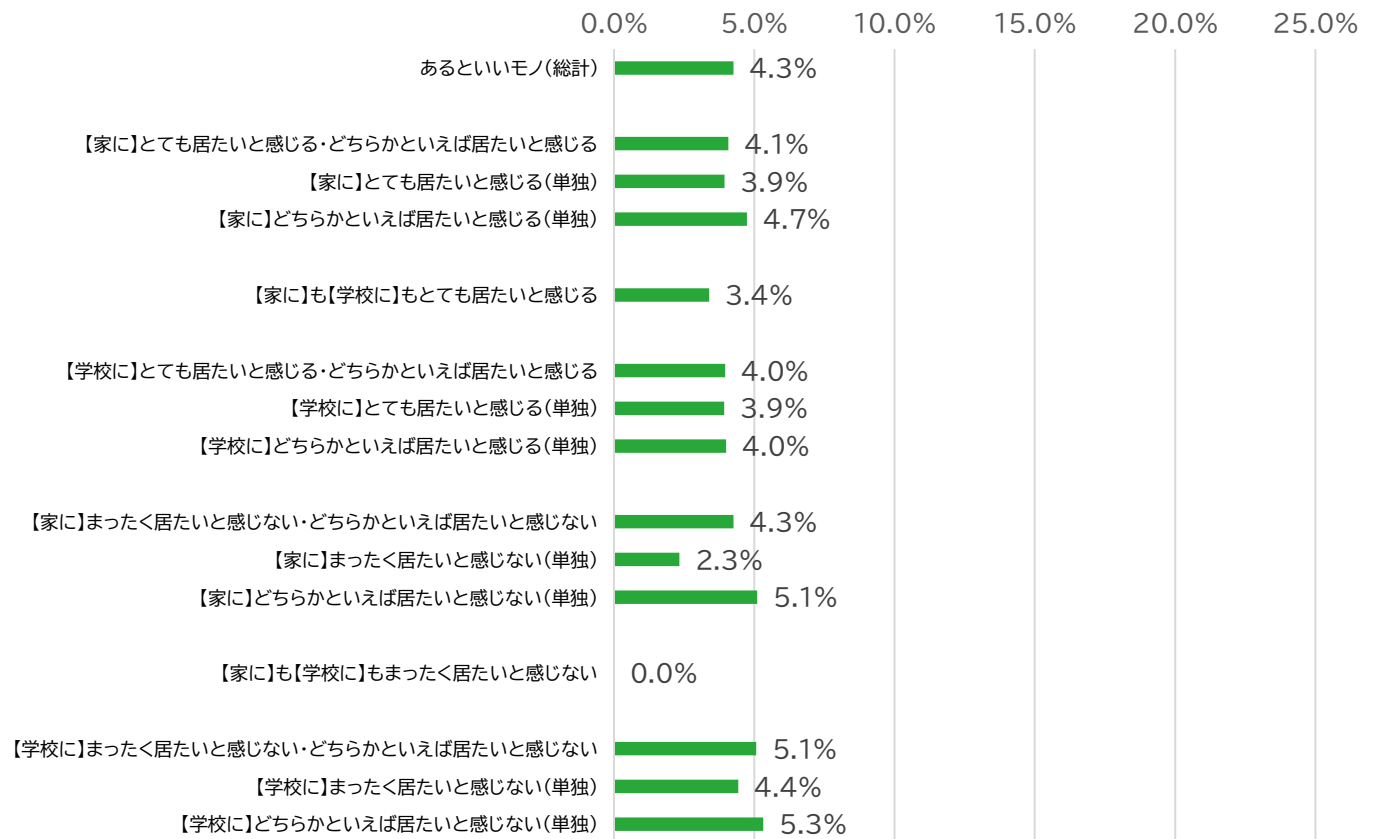
おもちゃやボードゲーム



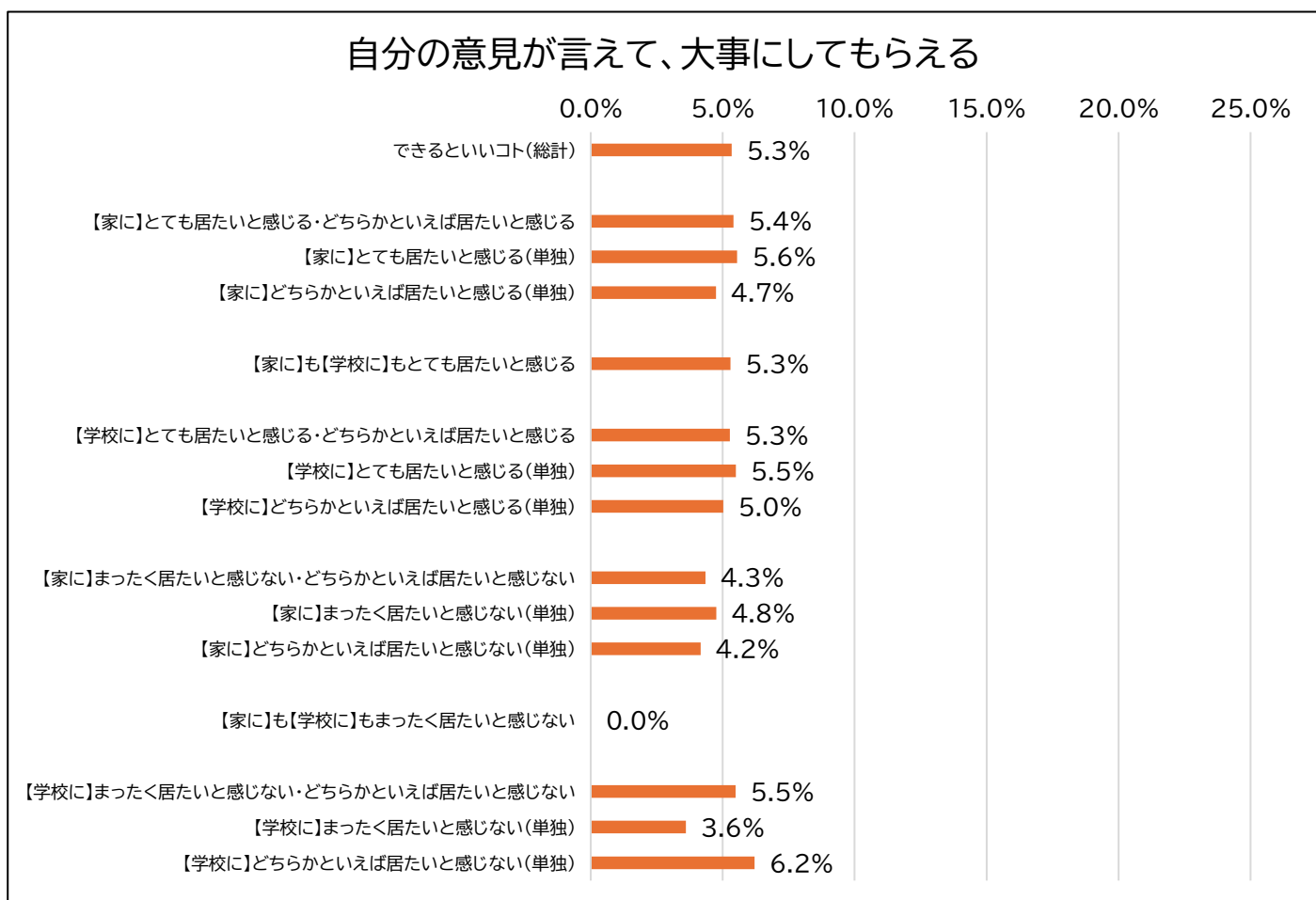
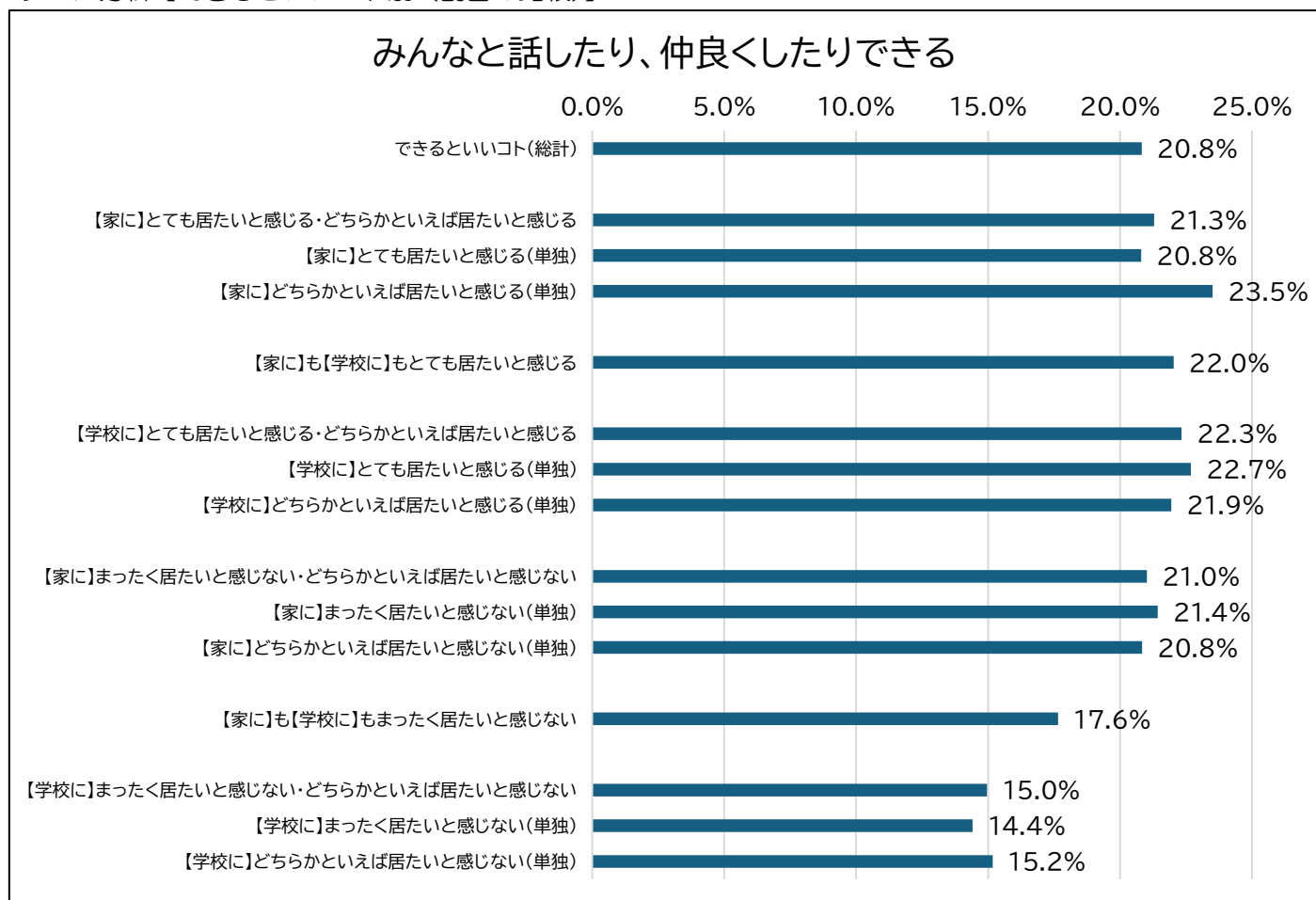
外の広場



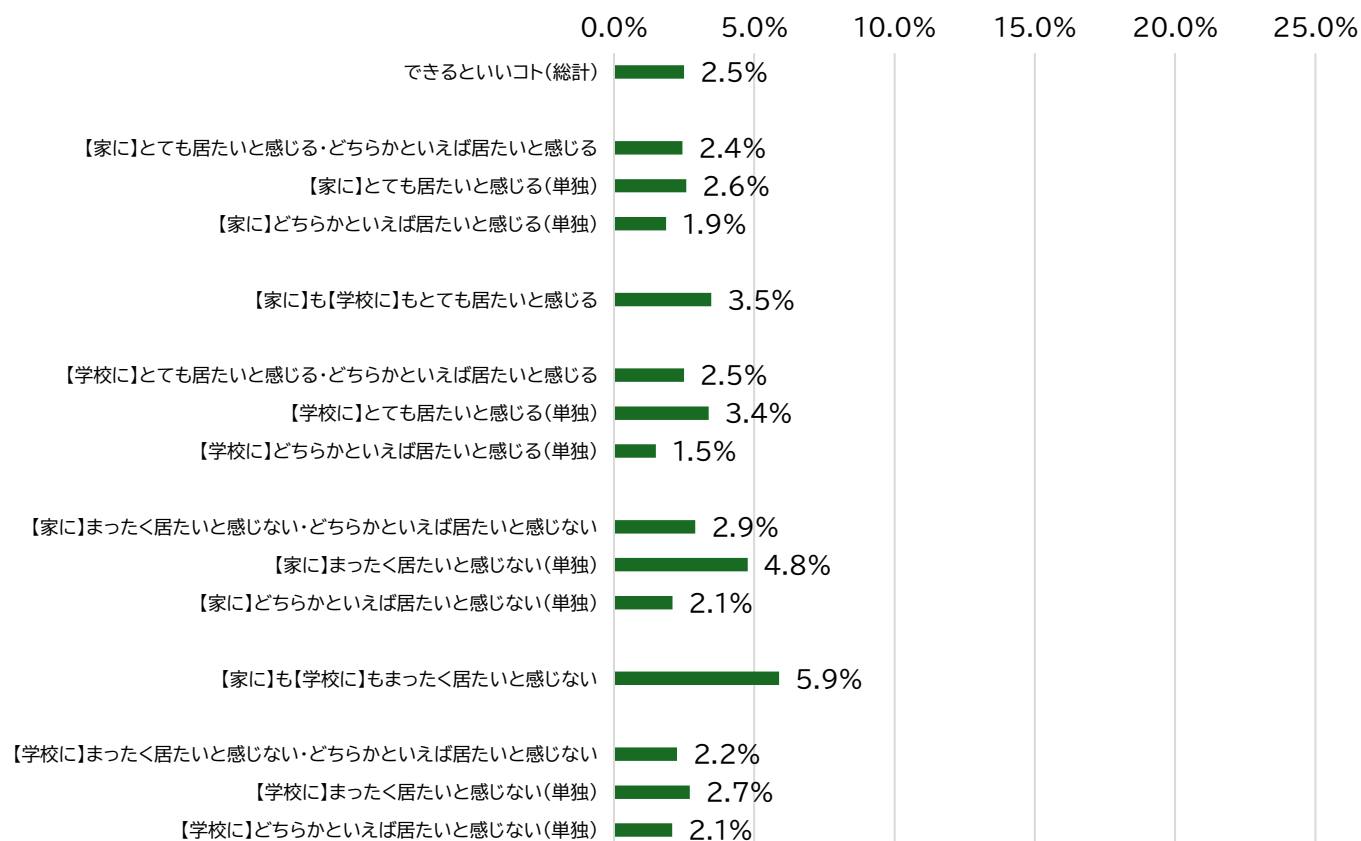
静かな所



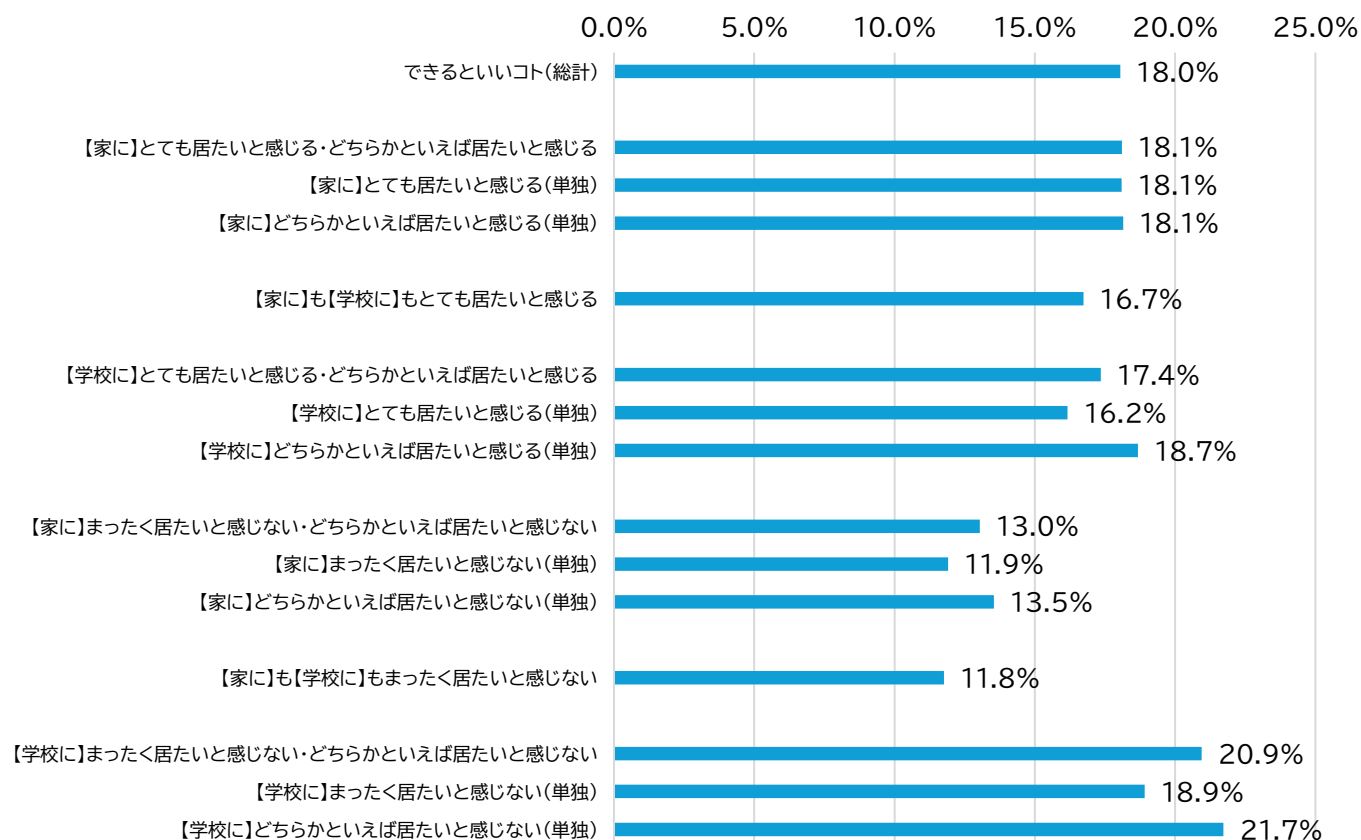
クロス分析【できるといいコト別（割合の比較）】



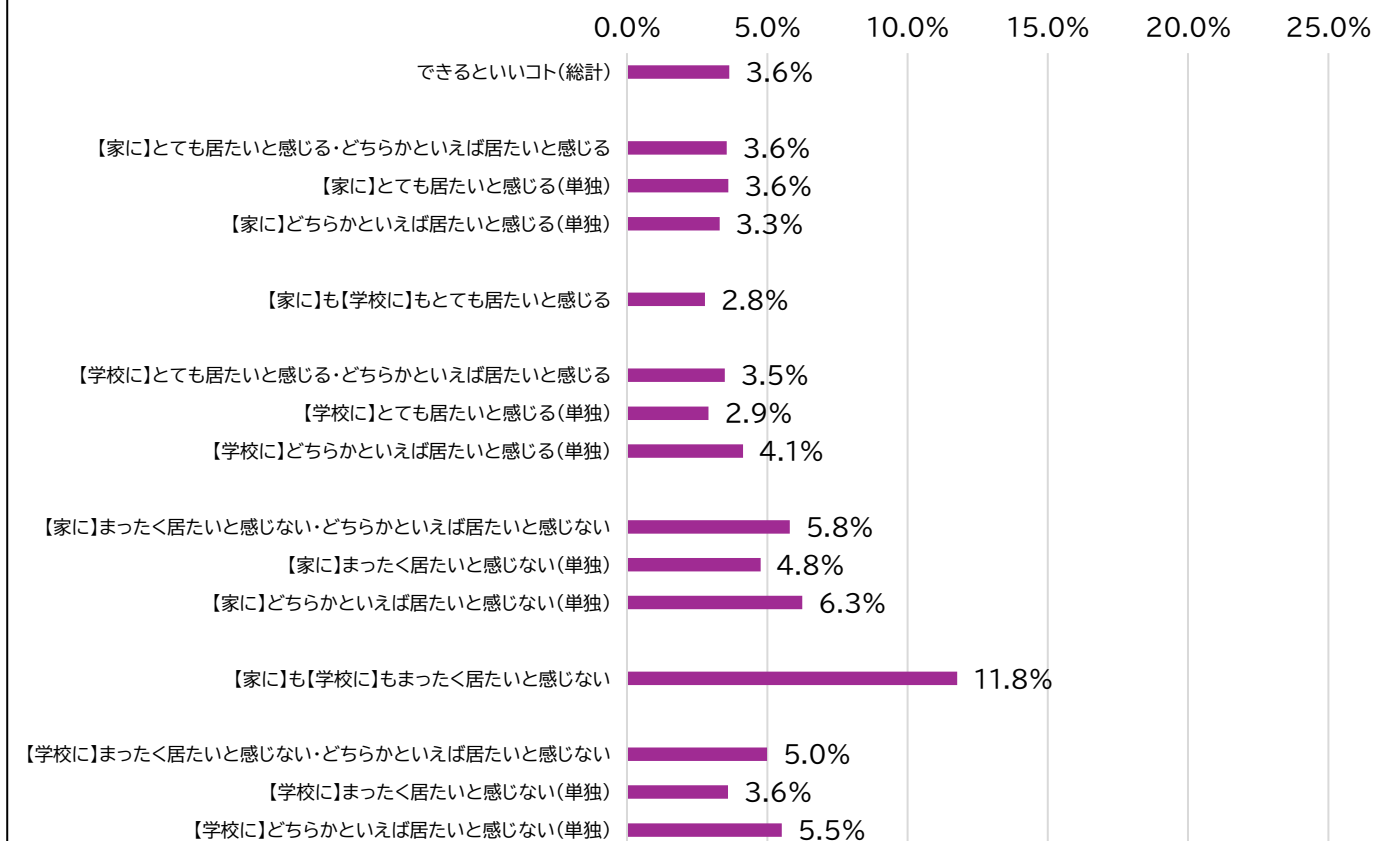
みんなに知ってほしいことを教えてあげることができる



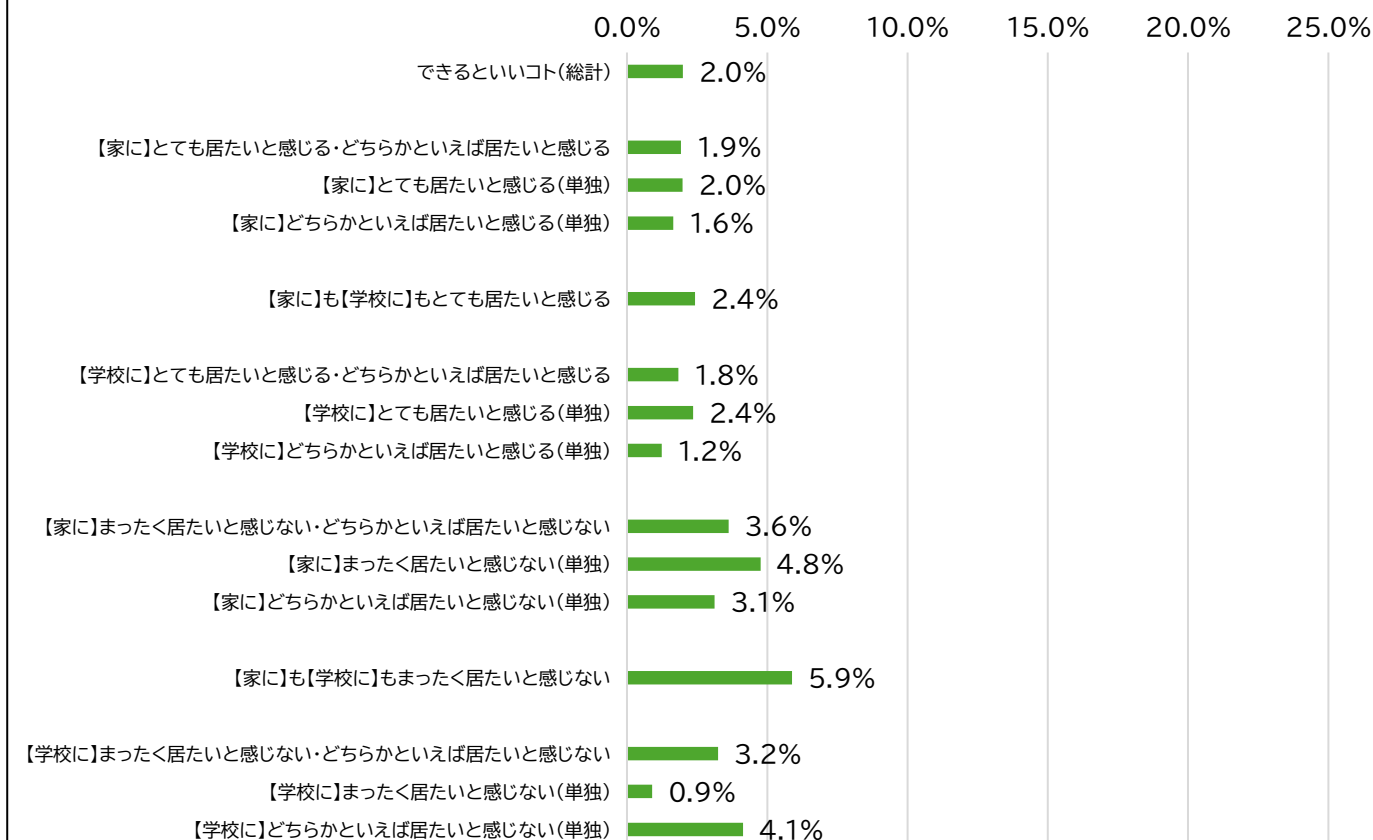
リラックスできる・くつろげる



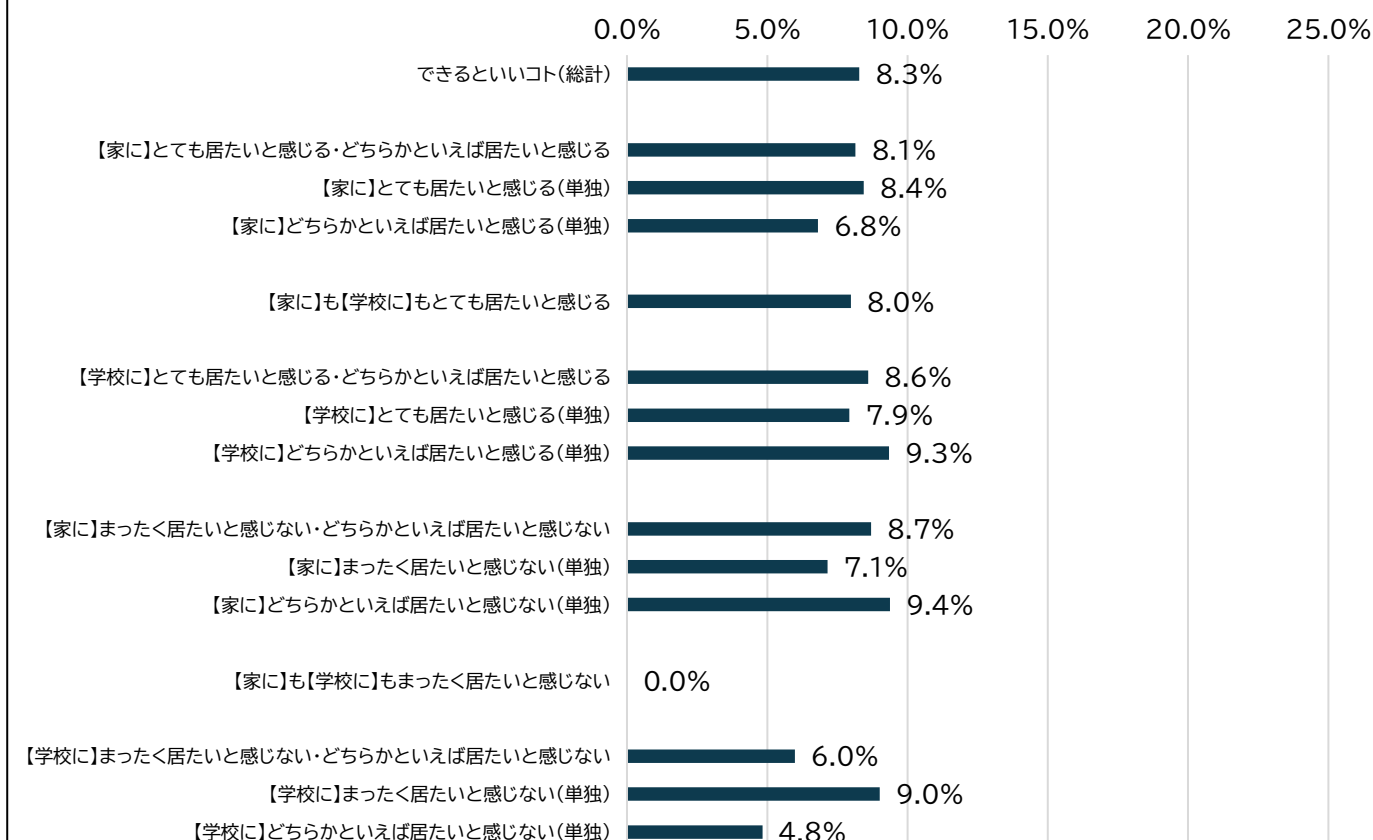
送り迎えをしてもらえる



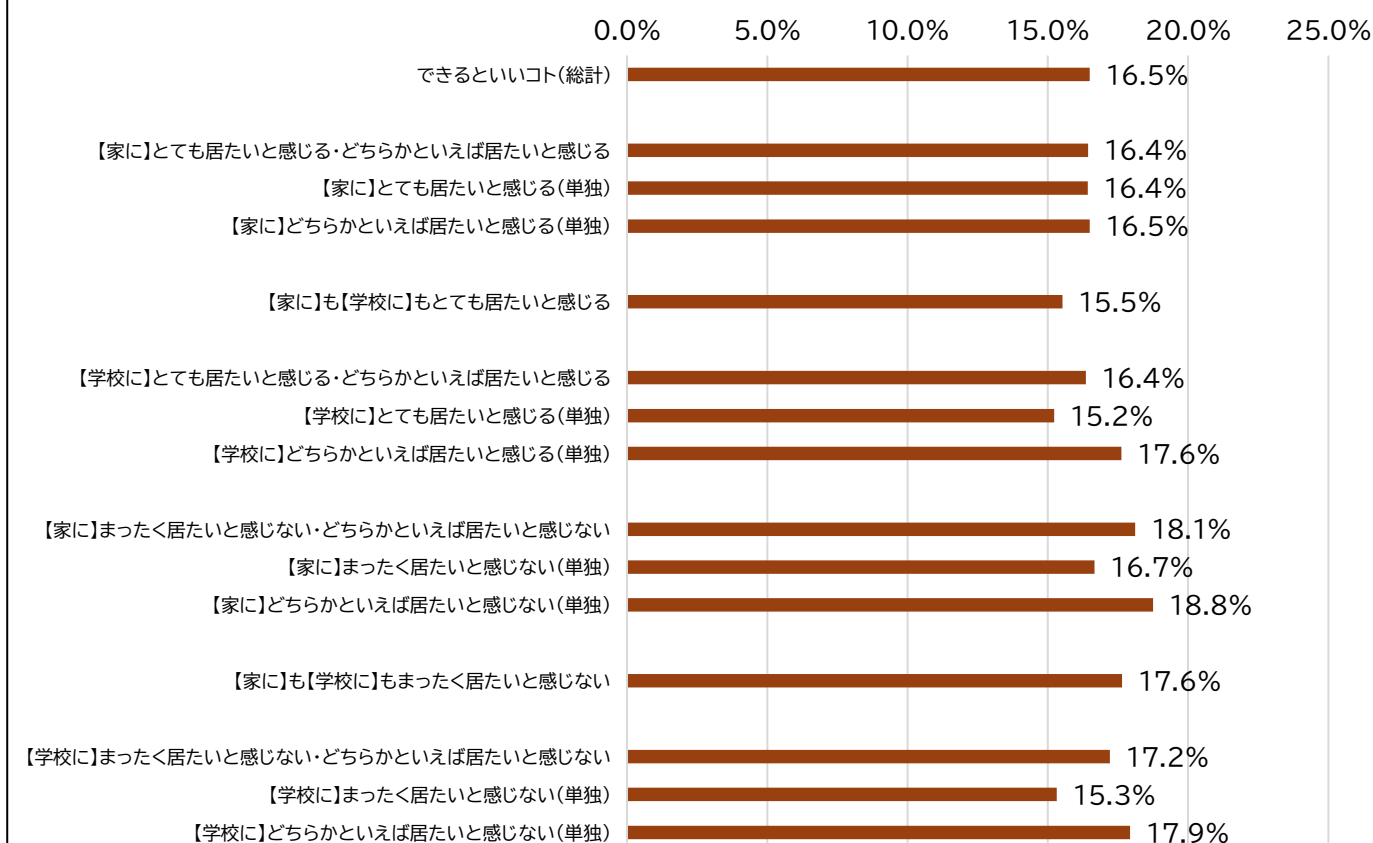
いろいろな国の言葉で話することができる



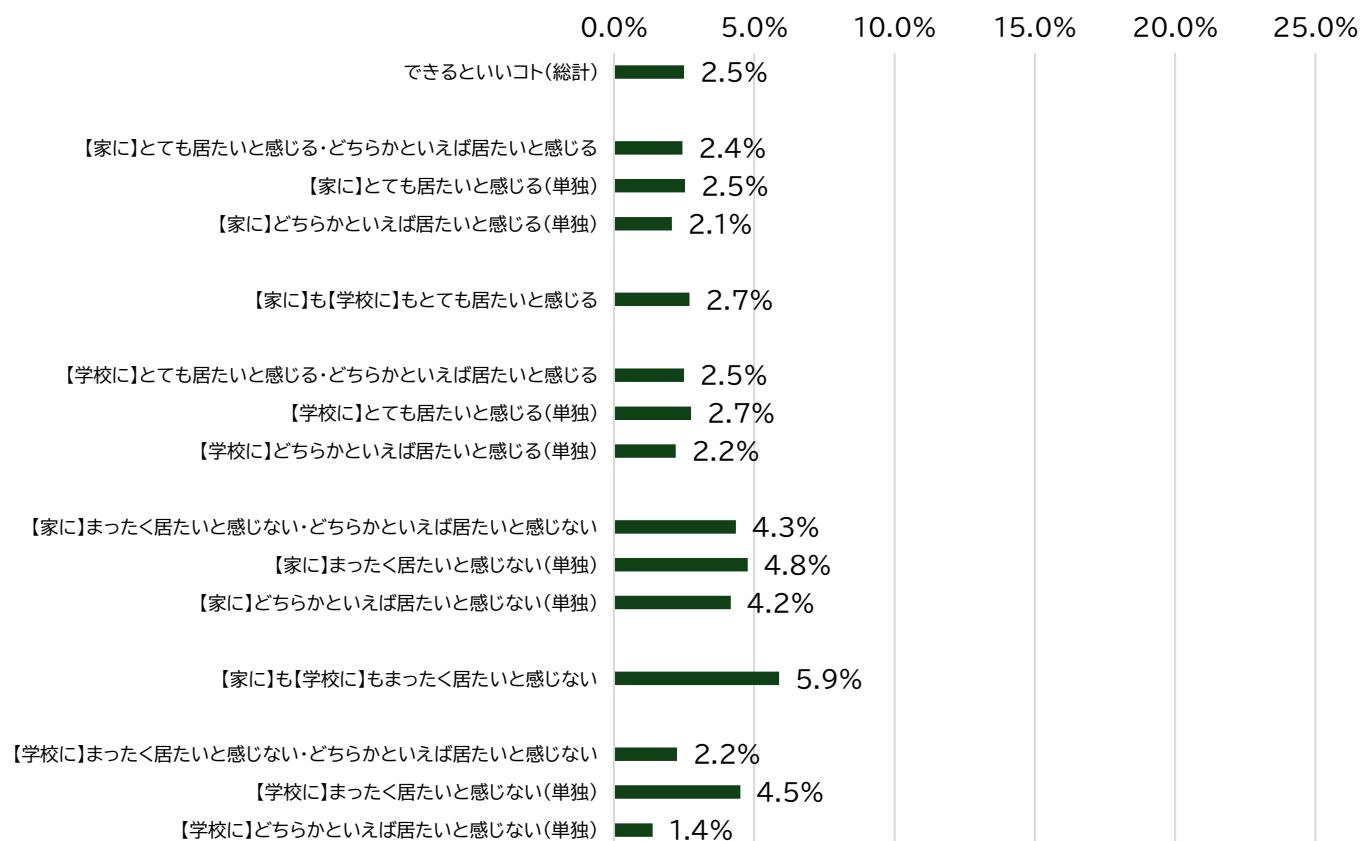
みんなで楽しいことを体験できる



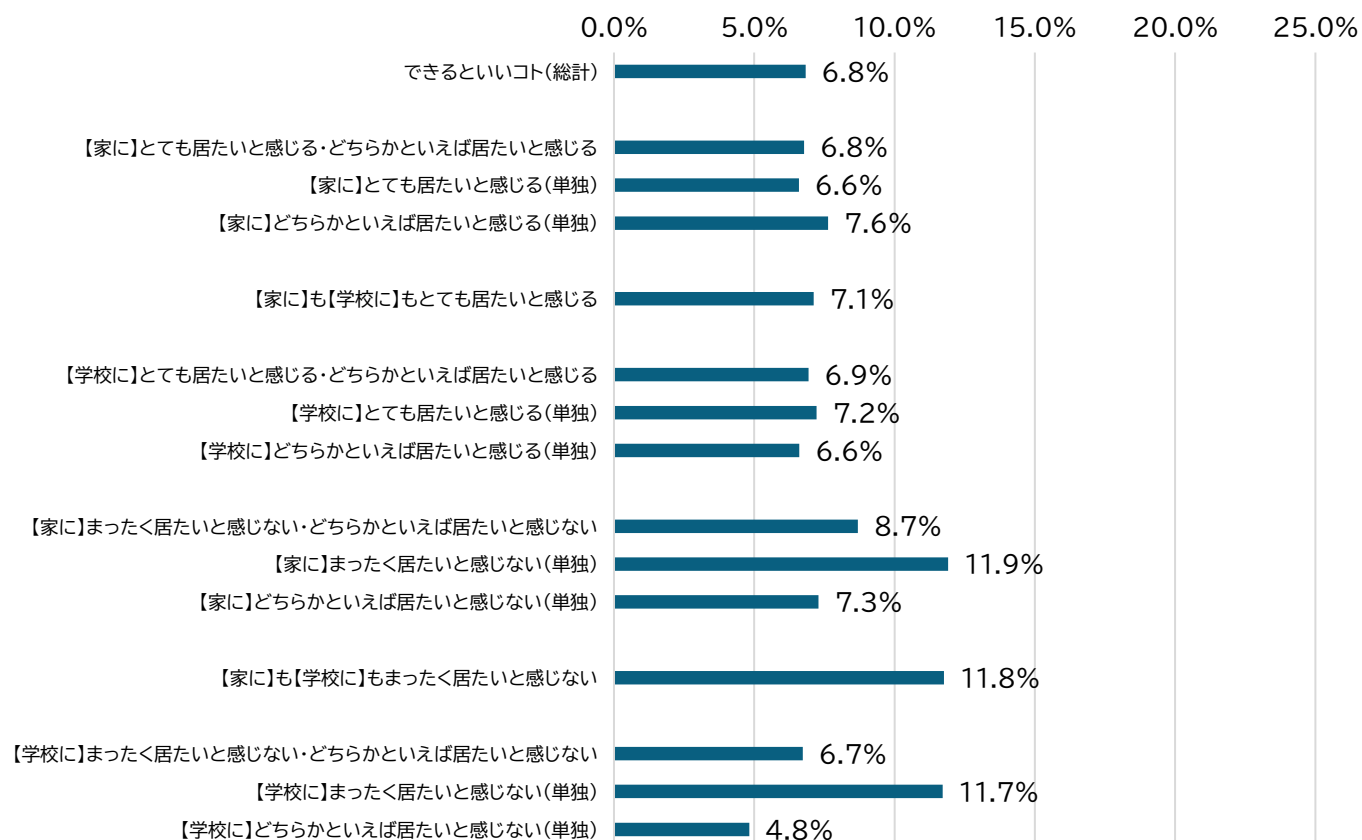
自由にやりたいことや遊びができる



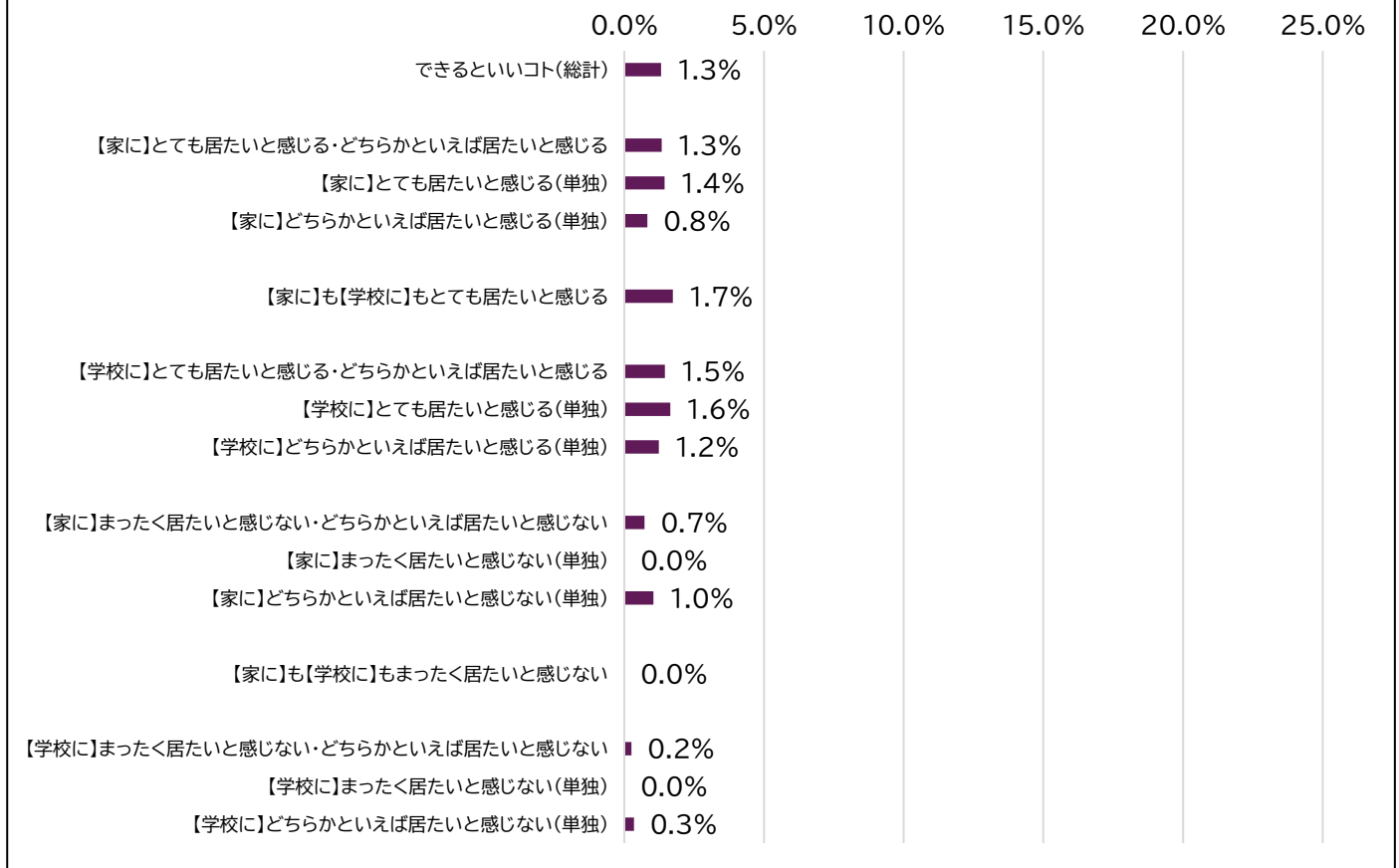
知りたいことを教えてもらえる



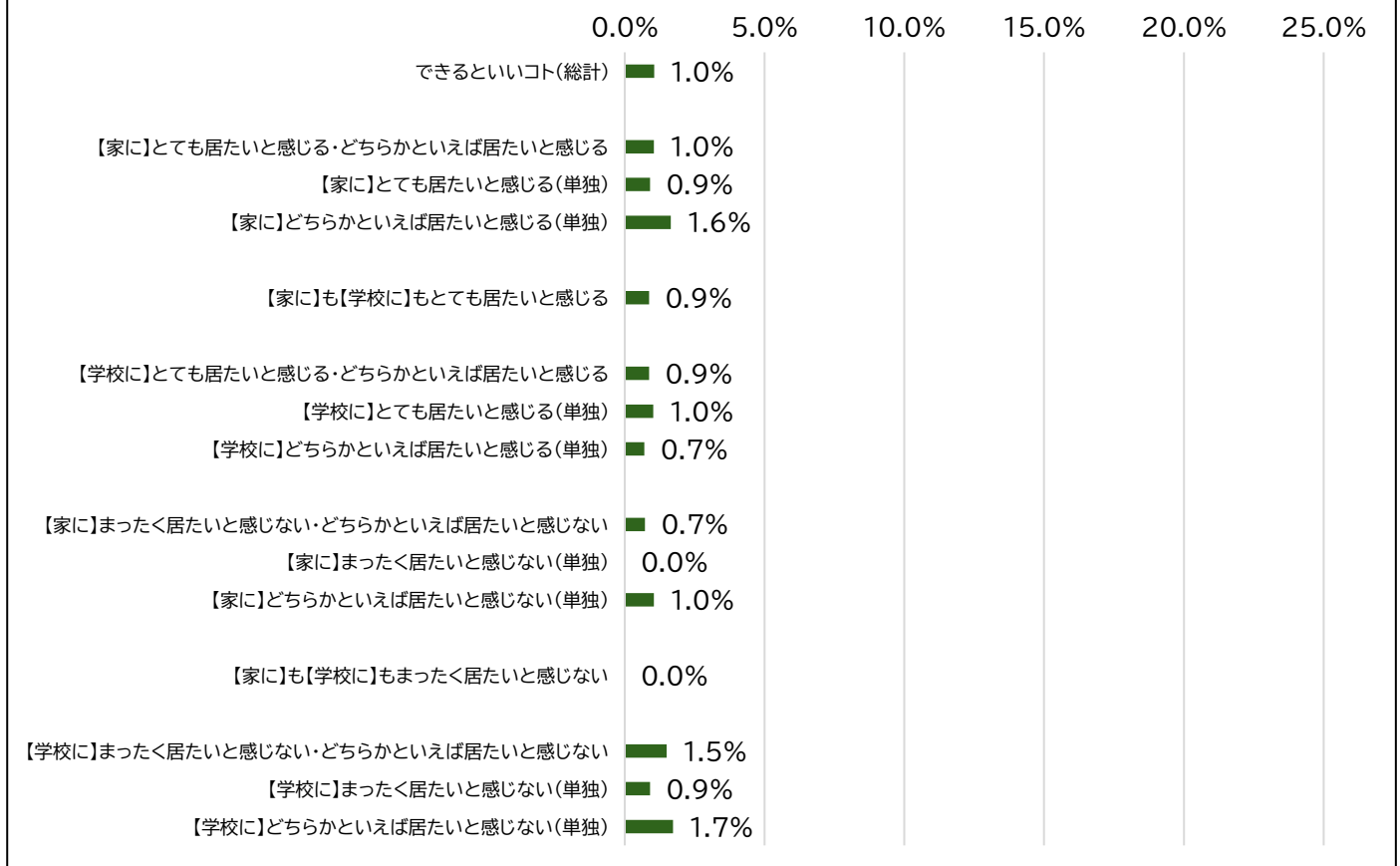
やってみたいことにチャレンジできる



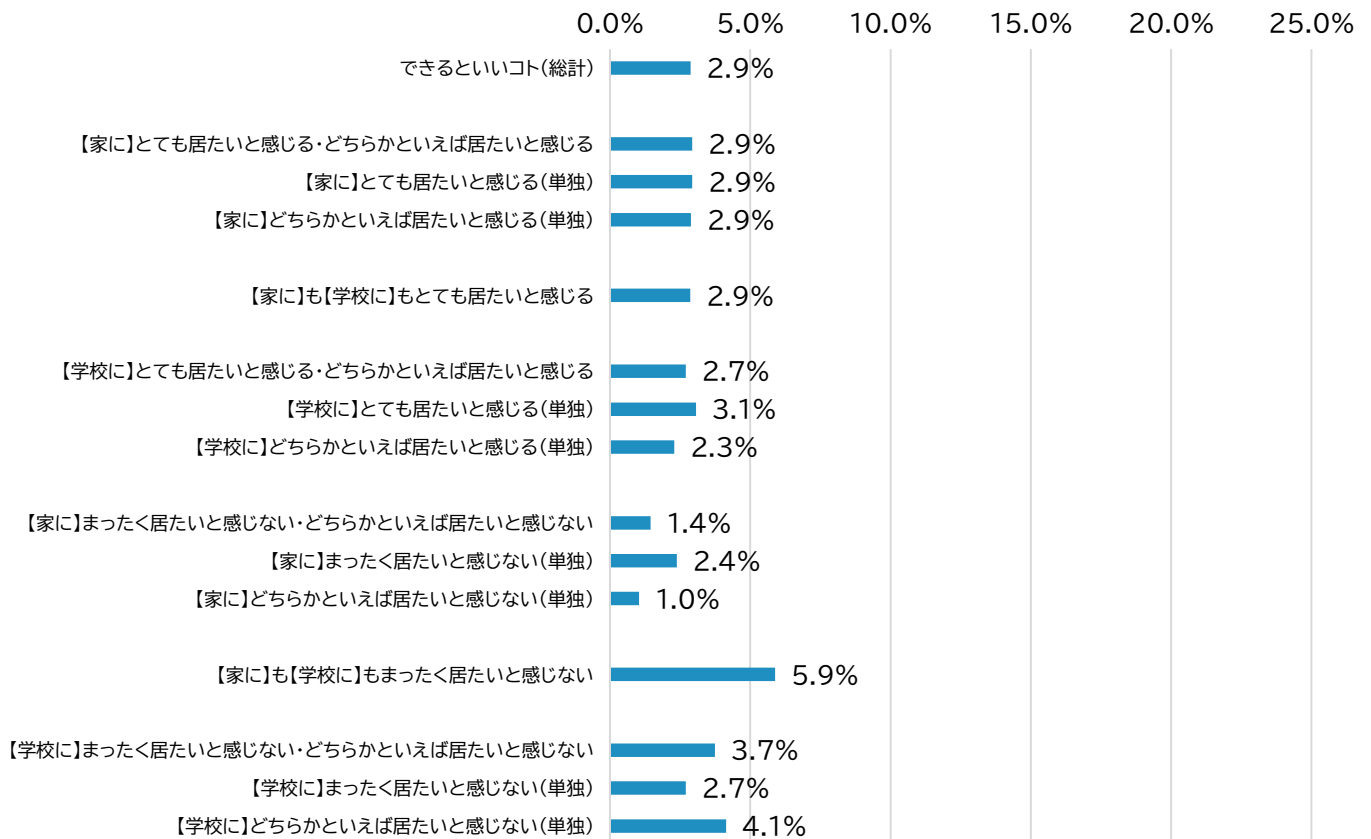
役割や仕事をもつことができる



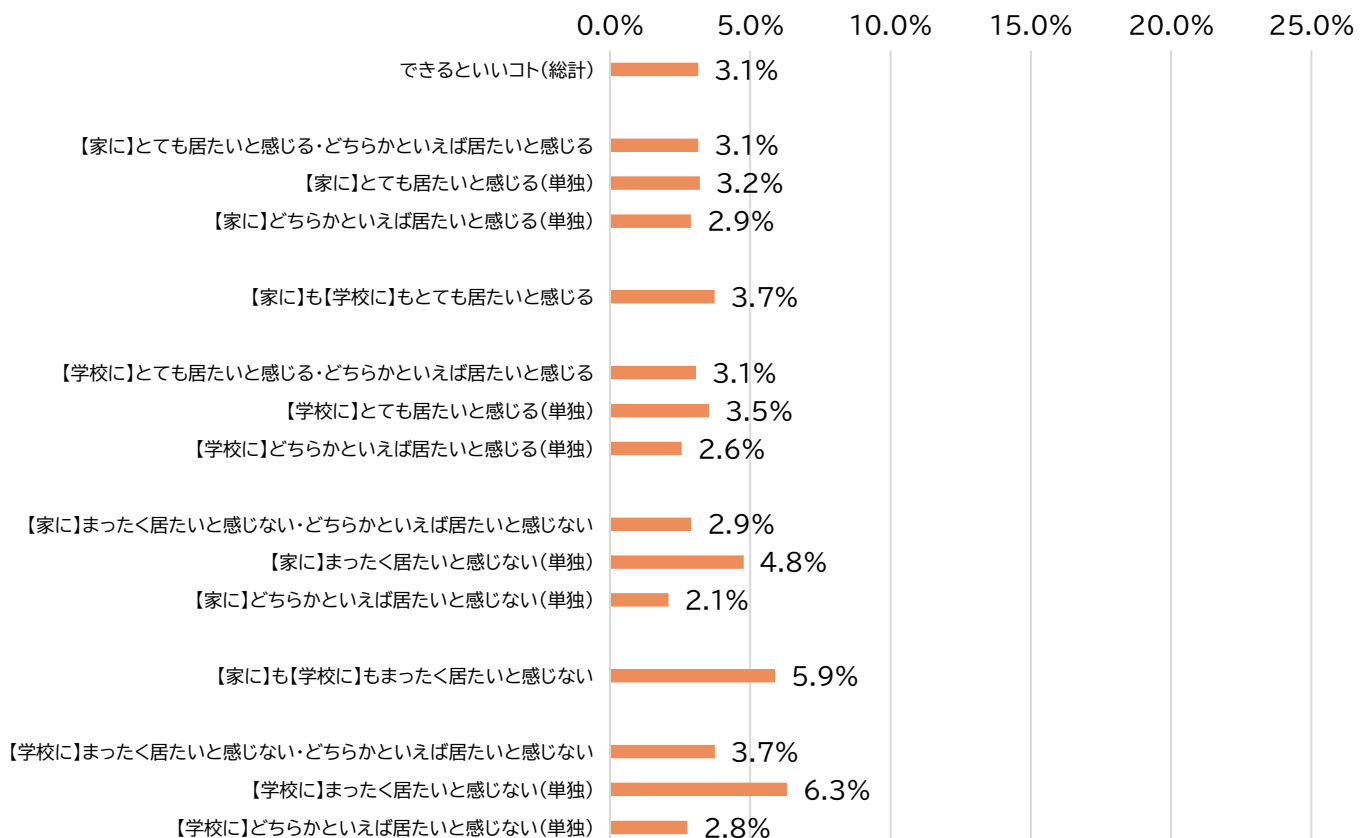
ボランティアや人の役に立つことができる



静かに集中して勉強できる



勉強を教えてもらえる



自分の将来について考えることができる

